

三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-01	特記仕様書（1）	A-24	外構図（2）	S-01	構造特記仕様書	E-01	電気設備工事特記仕様書 1
A-02	特記仕様書（2）	A-25	外構図（3）	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	E-02	電気設備工事特記仕様書 2
A-03	特記仕様書（3）	A-26	各部詳細図（1）	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	E-03	電気設備工事特記仕様書 3
A-04	特記仕様書（4）	A-27	各部詳細図（2）	S-04	鉄骨構造工作標準図	E-04	盤図・照明器具姿図
A-05	特記仕様書（5）	A-28	既設倉庫解体 平面図・立面図・構造図	S-05	ベースバック柱脚工法標準図	E-05	配置図、看的室・倉庫平面図
A-06	特記仕様書（6）	A-29	既設射場解体 平面図・構造図 既設の場矢止め塀解体 断面図	S-06	基礎伏図・基礎詳細図・リスト	E-06	幹線設備・弱電設備平面図
A-07	特記仕様書（7）			S-07	梁伏図・部材リスト	E-07	コンセント設備 平面図
A-08	解体工事特記仕様書（1）			S-08	鉄骨詳細図	E-08	電灯設備 平面図
A-09	解体工事特記仕様書（2）			S-09	軸組図（1）		
A-10	建築概要・附近見取図・配置図兼仮設計画図			S-10	軸組図（2）		
A-11	求積図・求積表						
A-12	仕上表					M-01	機械設備工事特記仕様書 1
A-13	平面図・屋根伏図					M-02	機械設備工事特記仕様書 2
A-14	立面図・断面図					M-03	給排水設備 配置図
A-15	断面詳細図					M-04	器具表
A-16	平面詳細図					M-05	給排水設備 平面図（屋外）
A-17	展開図（1）					M-06	給排水設備 平面図（屋内）
A-18	展開図（2）					M-07	空調・換気設備 機器表
A-19	建具指示図・天井伏図					M-08	空調・換気設備 平面図
A-20	建具表					M-09	合併浄化槽 詳細図（参考）
A-21	看的室平面図他						
A-22	現況図						
A-23	外構図（1）						

工事特記仕様書

I. 工事名 三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事

II. 工事概要

1. 工事場所	三重県津市栗真中山町 地内	
2. 敷地面積	3968.39 m ²	
3. 工事内容		
標名称	三重武道館弓道場（遠的）	
構造	鉄骨造平家建	
建築面積	222.80 m ² （道場：214.80 m ² 看的室兼倉庫：8.00 m ² ）	
延べ面積	202.50 m ² （道場：194.50 m ² 看的室兼倉庫：8.00 m ² ）	
工事項目	新築	

III. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」最新版）(以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事編」最新版）

2. 特記仕様

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
- 項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 <ol style="list-style-type: none"> 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成28年版） 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成24年版） 津市公共建築物等木材利用方針
	②施工条件	<p>施工方法及び検査に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 工事期間中についても、同敷地内の津市北部市民センターは運営するため、支障をきたさないよう、工事の遂行に必要な施工体制を確保し安全対策に十分注意し、施設運営に配慮すること。 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 工事着手前には、現状状況把握の為に破損箇所等があれば、市監理立合いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 工事用水、電力については既存の施設を利用できない。

③発生材の処理等 (1.3.11)

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	○有・無	○手作業 ○手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	○有・無	○手作業 ○手作業、機械作業の併用
屋根	○有・無	○手作業 ○手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○有・無	○手作業 ○手作業、機械作業の併用
その他（外構）	○有・無	○手作業 ○手作業、機械作業の併用

- 引渡を要するもの（・無）
- 特別管理産業廃棄物・有（ ）処理方法（ ）
- アスベスト成形板等解体時の留意点

- 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
- 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。
- 飛散されない様にする。
- 保護具及び作業着を着用すること。
- 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
- 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

- 再資源化を図るもの
 - コンクリート塊
 - アスファルトコンクリート塊
 - 建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調査を作成し監督員へ提出すること。

引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告する。（マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。）

4. 建設副産物情報交換システムの利用

受注者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。また、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

⑤三重県産業廃棄物税

本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

適用する

6. 電気保安技術者 (1.3.3)

7. 技能士 (1.5.2)

職種別に可能なものについては積極的に活用のこと

⑧建築材料等

- 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。
- 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
- 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

⑨化学物質の濃度測定 (1.5.9)

測定対象化学物質（●で示したものととする。）		ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	イソペンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
適用	施設用途						
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
○	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所（・図示（図面番号：A-13） ・（ ））

測定方法（○パッシブ法 ・アクティブ法）

報告書提出部数 2部

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑩特別な材料の工法

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑪騒音・振動の防止

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

⑫工事写真

- 作成する（○完成図 ○保全に関する資料 ・（ ））
- 完成図作図範囲（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上等等）完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部により提出すること。

⑬完成写真

- デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑮設備工事との取合い

- 施工範囲
- 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
 - 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
 - 駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図
 - 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑯設計GL

- 図示のベンチマーク(B.M) +50 mm
(現状地盤はB.M +50~+530 mm)

⑰養生その他

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。

⑱事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑲不当介入を受けた場合の措置

- 暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について
- 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
 - (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
 - 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

⑳消防法関係の手続き

- 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
 - 本工事 ○建築工事 ○電気設備工事 ・機械設備工事）
 - ・別途工事
- 防火対象物使用開始届出書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

㉑労働安全衛生法に基づく労働衛生防止措置

1) 一般事項

市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。

2) 調査の協力

受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。

3) 是正措置

受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

㉒屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

㉓社会保険等未加入対策

適用除外でないにも関わらず、社会保険等が未加入である建設業者を下請契約（受注者が直接締結する請負契約に限る。）の相手方としてはならない。下請契約に先立って、選定の候補となる業者について社会保険等の加入状況を確認し、適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である場合には、早期に加入手続きを進めるよう指導を行うこと。受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により、下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年 月 日	縮尺	三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事	NO.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計			特記仕様書（1）	
			登録番号（1）第2118号	内田 貴之					原図：A2

	<p>スランブ ・ 15cm ・ () 混和剤 ・ 標準仕様書 [6.13.2] (b) (1) ・ ()</p> <p>12. 無筋コンクリート (6.14.1) 適用箇所 標準仕様書 [6.14.1] ・ 上記以外の適用箇所 () 設計基準強度 ・ 18 (N/mm²) ・ () (N/mm²) スランブ ・ 15cm ・ 18cm</p> <p>13. 流動化コンクリート (6.15.1) 適用箇所 ・ 図示 (図面番号:)</p>	<p>10. デッキプレート (7.2.7) (7.7.8) 材質、形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号:) 溶接方法 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>11. 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2) 柱底均しモルタルの工法、厚み ・ A種 (30)mm ・ B種 ()mm 無収縮モルタルの材料及び調合 ・ 標準仕様書 [7.2.9] (b) ・ ()</p> <p>12. 材料試験等 (7.2.10) 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・ JIS G 0901により行う</p> <p>13. 仮組 (7.3.10) ・ 行わない ・ 行う 仮組を行う範囲 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>14. 溶接作業における技能資格者 (7.6.3) 溶接作業の技量付加試験 ・ 行わない ・ 行う</p> <p>15. 溶接部の開先 (7.6.4) 開先の形状 ・ 図示 (図面番号: S-04)</p> <p>16. 溶接施工 (7.6.7) エンドタブの切除 ・ 適用箇所 図示 (図面番号: S-04) 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:) スカラップの形状 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>17. 溶接部の試験 (7.6.11) 試験の種類 ・ 超音波探傷試験 ・ ()</p> <table border="1" data-bbox="973 821 1442 961"> <thead> <tr> <th>溶接区分</th> <th>AQQL (%)</th> <th>検査水準</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場溶接</td> <td>・ 2.5 ・ 4.0</td> <td></td> <td>・ 計数連続生産型抜取検査</td> </tr> <tr> <td>工場溶接</td> <td>・ 2.5 ・ 4.0</td> <td>・ 6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>18. 錆止め塗装 (7.8.3) 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) ・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] (A) 種 ・ 行わない ・ 行う 適用箇所 図示 (図面番号:)</p> <p>19. 耐火被覆 (7.9.2) 種類 ・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] () 種 ・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.2] () 種</p> <table border="1" data-bbox="973 1199 1442 1276"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>種別</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>20. 軽量形鋼構造 (7.11.2) 接合部 (ボルト接合の場合) ・ 普通ボルト接合 ・ ()</p>	溶接区分	AQQL (%)	検査水準	備考	現場溶接	・ 2.5 ・ 4.0		・ 計数連続生産型抜取検査	工場溶接	・ 2.5 ・ 4.0	・ 6		部位	種別	仕様							<p>3. ALCパネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)</p> <table border="1" data-bbox="1673 96 2175 352"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">単位荷重 (N/mm²)</th> <th colspan="2">呼び寸法</th> <th rowspan="2">構法</th> <th rowspan="2">耐火性能</th> </tr> <tr> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 外壁パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100 ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100 ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ C種 ・ D種 ・ E種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100 ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ F種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 床パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100 ・ 120 ・ 150</td> <td>・ ()</td> <td>・ F種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル幅を300mm以下とする部分 ・ 適用あり 外壁、屋根及び床パネル構法 風圧力に対応した工法 ・ 適用あり 出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 (mm) ・ () 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する (材料:)</p> <p>4. 押出成形セメント板 (8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (8.5.5) (表8.5.2)</p> <table border="1" data-bbox="1673 541 2175 741"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状及び原料区分</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>働き幅 (mm)</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 外壁パネル</td> <td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁パネル</td> <td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ B種 ・ C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル相互の目地幅 (mm) ・ 長辺 8以上、短辺 15以上 ・ () 出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 (mm) ・ 15 ・ () 目地及び隙間の処理 ・ () 外壁パネル構法 風圧力に対応した工法 ・ 適用あり 間仕切壁パネル構法 パネルに欠き込みを行う場合 ・ パネル開口の限度 ・ 図示 (図面番号:)</p>	種類	単位荷重 (N/mm ²)	呼び寸法		構法	耐火性能	厚さ (mm)	幅 (mm)	・ 外壁パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ () 時間 ・ 無し	・ 間仕切壁パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ C種 ・ D種 ・ E種	・ () 時間 ・ 無し	・ 屋根パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し	・ 床パネル	・ ()	・ 100 ・ 120 ・ 150	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し	種類	表面形状及び原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ B種 ・ C種	<p>(9.2.4) 屋根露出防水絶縁断熱工法 ルーフドレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>(9.2.5) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下 80mm以上 ・ () 床タイル張り ・ 水下 60mm以上 ・ () 屋上排水溝 ・ 図示 (図面番号:)</p> <table border="1" data-bbox="2368 327 2873 428"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1) ~ (表9.3.3)</p> <p>改質アスファルトシート 種類 ・ 標準仕様書 [表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示 () 厚さ ・ 標準仕様書 [表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示 () 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 標準仕様書 [表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示 () 厚さ ・ 標準仕様書 [表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示 ()</p> <p>(9.3.3) 仕上塗料 ・ 図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 () 脱気装置 ・ 設置数量 図示 (図面番号:) 種類 () 断熱材 ・ 屋根露出防水絶縁断熱工法 種類 () 厚さ () mm</p> <table border="1" data-bbox="2368 800 2873 900"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.4.3) (9.4.2)</p> <p>ルーフィングシート 種類 ・ 標準仕様書 [表9.4.1] ~ [表9.4.3] ・ 図示 () 厚さ ・ 標準仕様書 [表9.4.1] ~ [表9.4.3] ・ 図示 () 絶縁用シート ・ 発砲ポリエチレンシート ・ () 固定金具 材質、寸法形状 () ・ 図示 (図面番号:) 断熱材 材質、厚さ () ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>(9.4.3) 仕上塗料 ・ 図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 () S-M2又はSI-M2で立上りを接着工法 立ち上がり面のシート厚さ ・ 15mm ・ () mm 屋内保護密着工法 モルタル塗り厚さ ・ () mm (9.4.4) 床塗りの工法 ・ 標準仕様書 [15.2.5] (b) (2) (3) ・ () 保護コンクリートの厚さ ・ () mm 立上り部の保護モルタル塗厚さ ・ 7mm以下 ・ () mm (9.4.4) 目地処理 (S-F1、S-F2、SI-F1、SI-F2、S-C1) PC下地、ALC下地でS-C1の場合 ・ 図示 (図面番号:) 増張り (S-F1、SI-F1、S-C1) PC入隅部、ALC下地でS-C1の場合 ・ 図示 (図面番号:) 機械的固定工法 風圧力に対応した工法 ・ 図示 (図面番号:)</p> <table border="1" data-bbox="2368 1545 2873 1671"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>X-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>X-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Y-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Y-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)</p> <p>脱気装置 (X-1) ・ 設置数量 図示 (図面番号:) 種類 () 保護層 (Y-2) ・ 図示 (図面番号:) 仕上塗料 ・ 図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()</p> <p>5. ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1) (9.6.3) (9.6.4)</p> <p>適用部位 ・ 図示 (図面番号:) 防水層の種類及び工程 ・ C-UI ・ C-UP 下地処理 (b) (1) から (3) 以外の場合) ・ 図示 (図面番号:)</p>	種別	施工箇所					種別	施工箇所					施工箇所	種別		X-1		X-2		Y-1		Y-2
溶接区分	AQQL (%)	検査水準	備考																																																																																											
現場溶接	・ 2.5 ・ 4.0		・ 計数連続生産型抜取検査																																																																																											
工場溶接	・ 2.5 ・ 4.0	・ 6																																																																																												
部位	種別	仕様																																																																																												
種類	単位荷重 (N/mm ²)	呼び寸法		構法	耐火性能																																																																																									
		厚さ (mm)	幅 (mm)																																																																																											
・ 外壁パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ () 時間 ・ 無し																																																																																									
・ 間仕切壁パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ C種 ・ D種 ・ E種	・ () 時間 ・ 無し																																																																																									
・ 屋根パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し																																																																																									
・ 床パネル	・ ()	・ 100 ・ 120 ・ 150	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し																																																																																									
種類	表面形状及び原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法																																																																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																																																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ B種 ・ C種																																																																																										
種別	施工箇所																																																																																													
種別	施工箇所																																																																																													
施工箇所	種別																																																																																													
	X-1																																																																																													
	X-2																																																																																													
	Y-1																																																																																													
	Y-2																																																																																													
<p>7. 鉄骨工事</p> <p>1. 施工管理技術者 (7.1.4) 2. 製作工場 (7.1.3) 3. 鋼材 (7.2.1) 4. 高カボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7) 5. 普通ボルト (7.2.3) (7.3.2) (7.4.2) 6. 溶融亜鉛めっき高カボルト (7.3.2) (7.4.2) (7.12.4) 7. アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1) (表7.2.3) 8. 溶接材料 (7.2.5) 9. ターンバックル (7.2.6)</p>	<p>1. 適用する (株) 日本鉄骨評価センター又は (株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S</p> <p>材質、形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号: 構造図)</p> <p>種類 ・ トルシア形高カボルト2種 (S10T) ・ JIS形高カボルト2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高カボルト1種 (F8T相当)</p> <p>高カボルトの径 ・ 図示 (図面番号: S-07)</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示 (図面番号: S-07)</p> <p>すべり係数試験 ・ 行わない ・ 行う 試験方法等 ・ () JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合 ・ 回転量 () °</p> <p>ボルト及びナットの材料等、ボルトの径 ・ 図示 (図面番号: S-04)</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示 (図面番号: S-04)</p> <p>摩擦面の処理 ・ プラスト処理 (表面粗度 50 μm Rz 以上) ・ リン酸塩処理</p> <p>すべり耐力等の確認方法 ・ すべり耐力試験 試験方法等 ・ ()</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>適用箇所及び種類 構造用 ・ 図示 (図面番号: S-06) ・ SNR400B ・ () 建方用 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</p> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・ 標準仕様書 [表7.2.3] ・ 図示 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法 ・ 図示 (図面番号: S-05)</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示 (図面番号: S-05)</p> <p>材料 ・ 標準仕様書 [7.2.5] (a) (b) 以外の溶接材料 ()</p> <p>種類及びねじの呼び等 ・ 図示 (図面番号: S-07)</p> <p>建築用ターンバックル胴 ・ 割枠式 ・ () 建築用ターンバックルボルト ・ 羽子板ボルト ・ ()</p>	<p>8. ブロック・押出成形セメント板</p> <p>1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.4) (8.2.5) (8.3.3) 種類 ・ 空洞ブロック16 ・ 図示 (図面番号:) 圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法 ・ 図示 (図面番号:) 各部の配筋 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの調合 ・ 標準仕様書 [表8.2.2] 以外のとき ・ 21N/mm² ・ ()</p> <p>2. コンクリートブロック塀及び塀 (8.3.2) (8.3.3) ブロックの種類 ・ 標準仕様書 [表8.3.1] ・ 図示 (図面番号:) 圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ ・ 図示 (図面番号:) 各部の配筋 ・ 図示 (図面番号:) 化粧 ・ 有り ・ 無し</p>	<p>9. 防水工事</p> <p>1. アスファルト防水 (表9.2.3) ~ (表9.2.8) (9.2.2) (9.2.3)</p> <p>改質アスファルトシート 種類 ・ 標準仕様書 [表9.2.3] ~ [表9.2.8] ・ 図示 () 厚さ ・ 標準仕様書 [表9.2.3] ~ [表9.2.8] ・ 図示 () 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 標準仕様書 [表9.2.5] ~ [表9.2.8] ・ 図示 () 厚さ ・ 標準仕様書 [表9.2.5] ~ [表9.2.8] ・ 図示 () 絶縁用シート ・ ポリエチレンフィルム (厚さ 0.15mm 以上) ・ フラットヤークロス (70g/m²) 押え金物 ・ アルミ製 L30×15×2.0 ・ 図示 ()</p> <p>断熱材 ・ 屋根保護防水断熱工法 種類 () 厚さ () mm ・ 屋根露出防水断熱工法 種類 () 厚さ () mm</p> <p>屋根保護防水 立ち上がり部の保護コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 乾式保護材 ・ 使用する 立上り部保護れんが ・ JIS R 1250 ・ ()</p> <p>脱気装置 ・ 設置数量 図示 (図面番号:) 種類 ()</p> <p>屋根露出防水における仕上塗料 ・ 図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()</p> <p>屋内防水密着工法における保護層 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>防水層の下地モルタル塗り ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>立ち上がりのコンクリート打放し仕上げの種類 種類 ・ B種 ・ ()</p>	<p>設計番号 年月日 縮尺</p> <p>U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号 (1) 第2118号 内田 貴之</p> <p>設計</p> <p>三重武道館弓道場 (遠的) 新築その他工事</p> <p>特記仕様書 (3)</p> <p>NO. A-03 原図: A2</p>																																																																																										

10 石 工 事	⑥シーリング (9.7.2) (9.7.3) (表9.7.1) (9.7.5)	①標準仕様書[表9.7.1]による <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>目地寸法</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>外部建具廻り等</td> <td>15×10</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> 接着性試験 ・簡易接着性試験 ・引張接着性試験	施工箇所	目地寸法	種類	外部建具廻り等	15×10	MS-2																												
	施工箇所	目地寸法	種類																																	
外部建具廻り等	15×10	MS-2																																		
1.天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2) (10.1.3) (10.1.5) (表10.2.1) (10.3.2)	<table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>種類(名称)</th> <th>品質</th> <th>寸法・厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>工法</th> <th>形状</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td> </td> <td>・2等</td> <td> </td> <td>・粗磨き ・()</td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td> </td> <td>・1等</td> <td> </td> <td>・水磨き ・()</td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table> 割付 ・標準仕様書[10.1.3](a) ・図示(図面番号:) 粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ ・() 清掃における床面ワックス ・使用する ジェットバーナー仕上げ面 ・手加工あり ・機械加工バフ仕上げあり 石表面処理 ・適用する 石裏面処理 ・適用する	使用部位	種類(名称)	品質	寸法・厚さ(mm)	表面仕上げ	工法	形状	床		・2等		・粗磨き ・()			壁		・1等		・水磨き ・()																
使用部位	種類(名称)	品質	寸法・厚さ(mm)	表面仕上げ	工法	形状																														
床		・2等		・粗磨き ・()																																
壁		・1等		・水磨き ・()																																
2.テラゾ (10.2.1) (表10.2.2)	テラゾタイル <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>・大理石</td> <td>・1.5~12mm</td> <td>・300型 ・400型</td> <td>・()</td> </tr> </table> テラゾブロック <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ</th> <th>形状</th> <th>仕上げ面</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面仕上</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>・大理石</td> <td>・1.5~12mm</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td>・()</td> <td>・()</td> </tr> </table> 割付 ・標準仕様書[10.1.3](a) ・図示(図面番号:) 清掃における床面ワックス ・使用する	使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上		・大理石	・1.5~12mm	・300型 ・400型	・()	使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上		・大理石	・1.5~12mm	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・()	・()											
使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上																																
	・大理石	・1.5~12mm	・300型 ・400型	・()																																
使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上																														
	・大理石	・1.5~12mm	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・()	・()																														
3.その他の材料 (10.3.2)	取付用モルタル ・図示(図面番号:) 目地用モルタル ・図示(図面番号:) 石裏面処理材 ・図示(図面番号:) 裏打ち処理材 ・図示(図面番号:) ドレンパイプ ・図示(図面番号:) 充填材料 ・図示(図面番号:)																																			
4.外壁湿式工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3)	受け金物の材質、形状、寸法 ・図示(図面番号:) ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ ・() 下地ごしらえ ・流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー横筋流し工法 アンカーの材質及び径 ・SS400 M12 ・() あと施工アンカーの材質及び形状 ・() 目地 一般目地 目地幅(mm) ・6以上 ・() シーリング材 ・適用する 伸縮調整目地 位置 ・標準仕様書[表11.1.1] ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号:)																																			

5.内壁空積工法 (10.2.2) (10.3.3) (10.4.2)	受け金物の材質、形状、寸法 ・図示(図面番号:) 下地ごしらえ ・あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 あと施工アンカーの材質及び形状 ・() 目地 一般目地 目地幅(mm) ・6以上 ・() シーリング材 ・適用する 伸縮調整目地 位置 ・6mごと ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号:)
6.乾式工法 (10.2.2) (10.5.2) (10.5.3)	取り付け工法 ・スライド方式 ・ロッキング方式 たぼり穴の位置 ・図示(図面番号:) 風圧力に対応した工法 ・図示(図面番号:) あと施工アンカーの材質及び形状 ・() 目地 一般目地 目地幅(mm) ・8以上 ・() シーリング材 ・適用する
7.床及び階段の石張り (10.3.3) (10.6.2) (10.6.3)	目地 一般目地 目地幅(mm) ・屋内4mm以上、屋外3~6mm ・図示(図面番号:) シーリング材 ・適用する 伸縮調整目地 位置 ・標準仕様書[10.6.2](e)(2)(i) ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号:)
8.アーチ、上げ裏等の石張り (10.2.2) (10.3.3) (10.7.1) (10.7.2)	取付工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 取付け金物 ・標準仕様書[10.2.2](c) ・() 吊金物及び化粧吊りボルト ・設ける 吊金物 ・ステンレス(SUS304) 径6mm長さ80mm(加工物) 吊りボルト ・ステンレス(SUS304) M10 化粧ナット付き 及び他の部材と取り合う箇所 アンカーの材質及び径 ・() あと施工アンカーの材質及び形状 ・() 目地 一般目地 目地幅(mm) ・6以上 ・() 伸縮調整目地 位置 ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号:)
9.笠木、甲板等 (10.2.2) (10.3.3) (10.5.3) (10.7.1) (10.7.3)	取付工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 取付け金物 ・標準仕様書[10.2.2](c) ・() 取付け材(乾式工法の場合)(mm) ・標準仕様書[10.5.3](b) ・() アンカーの材質及び径 ・() あと施工アンカーの材質及び形状 ・() 石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合) ・適用する 図示(図面番号:) 目地 一般目地 目地幅(mm) ・() シーリング材 ・適用する 伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合) 位置 ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号:)
10.隔て板 (10.7.4)	石材の厚さ ・()

⑪ タ イ ル 工 事	①伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)	位置 ①標準仕様書[表11.1.1] ・図示(図面番号:)																																			
	②陶磁器質 タイル張り (表11.2.3) (11.2.2) (11.3.2) (11.3.4) (表11.3.2)	タイルの種類 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th colspan="3">区分(きじ)</th> <th rowspan="2">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">標準・特注色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> </tr> <tr> <th>I類(磁器)</th> <th>II類(磁器)</th> <th>III類(陶器)</th> </tr> <tr> <td>ポーチ玄関</td> <td>100×100</td> <td> </td> <td> </td> <td>○</td> <td> </td> <td> </td> <td>無釉</td> <td>○</td> <td>標準</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>スロープ</td> <td>100×100</td> <td> </td> <td>○</td> <td>○</td> <td> </td> <td> </td> <td>無釉</td> <td> </td> <td>標準</td> <td>○</td> </tr> </table> ・役物 () ・タイルの試験張りを行う ・見本焼きを行う セメントモルタル塗り又は接着剤あと張り工事 コンクリート素地面の処理 ・適用箇所 図示(図面番号:) ・目荒し工法 ・MCR工法 接着剤あと張り工事 シーリング材 打継、ひび割れ誘発目地 ・PU-2 ・() 伸縮、その他目地 ・MS-2 ・() 種別 ・タイルシート法 ・目地樹法 ・棧木法 タイル型枠先付け面のせき板の種別 ・()	施工箇所	形状寸法	工法	耐滑り性	区分(きじ)			うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性	I類(磁器)	II類(磁器)	III類(陶器)	ポーチ玄関	100×100			○			無釉	○	標準	○	スロープ	100×100		○	○			無釉		標準
施工箇所	形状寸法	工法					耐滑り性	区分(きじ)						うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性																				
			I類(磁器)	II類(磁器)	III類(陶器)																																
ポーチ玄関	100×100			○			無釉	○	標準	○																											
スロープ	100×100		○	○			無釉		標準	○																											
3.陶磁器質 タイル型枠先付 (表11.4.1) (11.4.2) (11.4.3)	①木材 (12.1.4) (表12.1.1) (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) (表12.2.1)	見え掛り部の表面仕上げ ・A種 ①B種 ・C種 適用箇所 () 木材の含水率 <table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>下地材</td> <td>①A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>①A種 ・B種</td> </tr> </table> 樹種 ①図示(図面番号: A-16, A-17, A-18)	部材名称	種別	下地材	①A種 ・B種	造作材	①A種 ・B種																													
部材名称	種別																																				
下地材	①A種 ・B種																																				
造作材	①A種 ・B種																																				
⑫ 木 工 事	②製材 (12.2.1)(b)(1)	製材 「製材の日本農林規格」による製材 <table border="1"> <tr> <th> </th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>下地用 針葉樹製材</td> <td>①図示(図面番号:)</td> <td>①(1等)</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>造作用 針葉樹製材</td> <td>①図示(図面番号:)</td> <td>①(1等)</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・図示(図面番号:)</td> <td>・()</td> <td>・10%以下</td> </tr> </table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・図示(図面番号:) 造作材の材面の品質 ・A種 ・() 樹種 <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>樹種</th> <th>県産材</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> ①長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1) ②折板葺 (13.3.2) (13.3.3)		樹種・寸法・形状	等級	含水率	下地用 針葉樹製材	①図示(図面番号:)	①(1等)		造作用 針葉樹製材	①図示(図面番号:)	①(1等)		広葉樹製材	・図示(図面番号:)	・()	・10%以下	部位	樹種	県産材																
	樹種・寸法・形状	等級	含水率																																		
下地用 針葉樹製材	①図示(図面番号:)	①(1等)																																			
造作用 針葉樹製材	①図示(図面番号:)	①(1等)																																			
広葉樹製材	・図示(図面番号:)	・()	・10%以下																																		
部位	樹種	県産材																																			
⑬ 屋 根 及 び と い 工 事	①長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1) ②折板葺 (13.3.2) (13.3.3)	屋根葺形式 <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>下葺の種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板</td> <td>・0.4</td> <td>・アスファルトルーフィング940</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>横葺き ①おがくし鋼板</td> <td>①0.4</td> <td>①アスファルトルーフィング940</td> <td> </td> </tr> </table> 耐風圧及び積雪荷重に対応した工法 ・図示(図面番号:) 雪止め ・図示(図面番号:) 緊結方法 <table border="1"> <tr> <th>緊結方法</th> <th>板厚(mm)</th> <th>山の高さ(mm)</th> <th>山のピッチ(mm)</th> <th>耐力区分</th> </tr> <tr> <td>①重ね形</td> <td>・0.8 ①0.6</td> <td>①88程度 ・()</td> <td>・()</td> <td>・()</td> </tr> <tr> <td>・はげ締め形</td> <td> </td> <td>①塗装溶融55%アルミニウム(素地) 亜鉛合板めっき鋼板 ・()</td> <td> </td> <td>①あり ・なし</td> </tr> </table> 断熱材 種別 ①ガラス繊維シート ・() 厚さ(mm) ①5 ・() 防火性能 ・() 風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・図示(図面番号:)	材種	厚さ(mm)	下葺の種類	備考	・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板	・0.4	・アスファルトルーフィング940		横葺き ①おがくし鋼板	①0.4	①アスファルトルーフィング940		緊結方法	板厚(mm)	山の高さ(mm)	山のピッチ(mm)	耐力区分	①重ね形	・0.8 ①0.6	①88程度 ・()	・()	・()	・はげ締め形		①塗装溶融55%アルミニウム(素地) 亜鉛合板めっき鋼板 ・()		①あり ・なし								
材種	厚さ(mm)	下葺の種類	備考																																		
・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板	・0.4	・アスファルトルーフィング940																																			
横葺き ①おがくし鋼板	①0.4	①アスファルトルーフィング940																																			
緊結方法	板厚(mm)	山の高さ(mm)	山のピッチ(mm)	耐力区分																																	
①重ね形	・0.8 ①0.6	①88程度 ・()	・()	・()																																	
・はげ締め形		①塗装溶融55%アルミニウム(素地) 亜鉛合板めっき鋼板 ・()		①あり ・なし																																	

<p>3. 粘土瓦葺 (13. 4. 2) (13. 4. 3)</p> <p>雪止め瓦 ・ 使用する 瓦棧木の材種、寸法 ・ 杉又は桧 21×15 ・ () 棟補強用心材の材質、寸法 ・ 杉又は桧 40×30 ・ () 下葺材料の種類 ・ () 風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ 図示 (図面番号:) 棧木の留付け工法 ・ 図示 (図面番号:) 棟の工法 ・ 標準仕様書 [13. 4. 3] (d) ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>4. とい (13. 5. 2) (表13. 5. 1) (表13. 5. 3) (表13. 5. 5)</p> <p>1. あと施工アンカー (14. 1. 3) 2. ステンレス (14. 2. 1) 3. アルミニウム (14. 2. 2) (表14. 2. 1) 4. 鉄鋼の垂鉛めっき (14. 2. 3) 5. 軽量鉄骨 (14. 4. 2) (表14. 4. 1) (表14. 4. 3) (表14. 4. 2) (表14. 4. 4) 6. 軽量鉄骨壁 (14. 5. 3) (表14. 5. 1) 7. 金属成形板 (14. 6. 2) (表14. 6. 3) 8. アルミニウム製笠木 (14. 7. 2) (表14. 7. 1) 9. 手すり (14. 8. 2) 10. タラップ (14. 8. 3)</p>	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>大きさ</th> <th>産地</th> <th>役物の種類</th> <th>棟の工法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>鋼管製といの防露巻工法 ・ 標準仕様書 [表13. 5. 5] ・ ()</p>	種類	大きさ	産地	役物の種類	棟の工法						<p>11. 天井見切縁 (11. 2. 1) (表11. 2. 1)</p> <p>12. 点検口 (11. 2. 2) (表11. 2. 2)</p> <p>15. 左官工事 (15. 5. 2) (表15. 5. 1)</p>	<p>材種 ○アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製</p> <table border="1"> <tr> <th>取付箇所</th> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> </tr> <tr> <td>○天井</td> <td>○アルミニウム製</td> <td>○450角 ○600角</td> <td>○額縁タイプ ○目地タイプ</td> </tr> <tr> <td>○床</td> <td>○アルミニウム製</td> <td>○450角 ○600角</td> <td></td> </tr> </table> <p>既製目地材 ・ 使用する 図示 (図面番号:) 床の目地 ○図示 (図面番号: A-16) 下地モルタルの接着力試験 (外壁タイル張り等) ・ 実施する</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上形状</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">薄付仕上塗材</td> <td>・ 外装薄塗材E</td> <td>・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材E</td> <td>・ 砂壁状ジュラク</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">厚付け仕上塗材</td> <td rowspan="2">・ 外装厚塗材C</td> <td rowspan="2">スタックコ状</td> <td>・ 吹放し ・ 凸部処理</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td> <td>・ こて</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 外装厚塗材Si</td> <td rowspan="2">スタックコ状</td> <td>・ 吹放し ・ 凸部処理</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし</td> <td>・ こて ・ ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複層仕上塗材</td> <td>・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水型複層塗材E ・ 防水型複層塗材RE</td> <td>・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状</td> <td>・ ローラー ・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ () ・ () ・ ()</td> <td>・ () ・ () ・ ()</td> <td>・ () ・ () ・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軽量骨材仕上塗材</td> <td>・ 吹付用軽量塗材 ・ こて塗用軽量塗材</td> <td>・ 砂壁状 ・ 平たん状</td> <td>・ 吹付け ・ こて</td> </tr> </table> <p>内装薄塗材、内装厚塗材 (吸放湿性を有するもの) ・ JIS A 6909 調湿形 複層仕上塗材の耐候性 ・ 耐候形 3種 ・ () 外装厚塗材Cの上塗材 ・ セメントスタッコ以外の場合 材所要量 (kg/m²)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th>外観</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ シリカ系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ アクリルシリコン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ふっ素系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> </table> <p>ALCパネルの内壁目地 ・ V形目地付き ・ () 仕上塗材の所要量等の確認方法 ・ 標準仕様書 [表15. 5. 4] ・ ()</p> <p>4. マスチック塗材塗り (15. 6. 2) (表15. 6. 1) 5. ロックウール吹付け (15. 8. 3)</p>	取付箇所	材種	寸法	形式	○天井	○アルミニウム製	○450角 ○600角	○額縁タイプ ○目地タイプ	○床	○アルミニウム製	○450角 ○600角		種類	呼び名	仕上形状	工法	薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け	・ 内装薄塗材E	・ 砂壁状ジュラク		厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	スタックコ状	・ 吹放し ・ 凸部処理	・ 吹付け	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ こて	・ 外装厚塗材Si	スタックコ状	・ 吹放し ・ 凸部処理	・ 吹付け	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	・ こて ・ ローラー	複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水型複層塗材E ・ 防水型複層塗材RE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状	・ ローラー ・ 吹付け	・ () ・ () ・ ()	・ () ・ () ・ ()	・ () ・ () ・ ()	軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材 ・ こて塗用軽量塗材	・ 砂壁状 ・ 平たん状	・ 吹付け ・ こて	樹脂種類	溶媒種類	外観	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶無	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	<p>1. 防火戸 (16. 1. 3) 2. 見本の製作等 (16. 1. 4) 3. 防犯建物部品 (16. 1. 6) 4. アルミ製建具 (16. 2. 2) (表16. 2. 1) (表14. 2. 1) (表16. 2. 5) 5. 網戸 (16. 2. 3) 6. 樹脂製建具 (16. 3. 2) (表16. 3. 3) (表16. 3. 4) (表16. 3. 2) 7. 鋼製建具 (16. 4. 2) (表16. 4. 1) (表16. 4. 2) 8. 鋼製軽量建具 (16. 5. 2) (表16. 5. 3) (表16. 5. 4) 9. ステンレス製建具 (16. 6. 2) (表16. 6. 4) (表16. 6. 5)</p>	<p>防火戸の指定 ・ 図示 (図面番号:) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>建具見本の製作 ・ 実施する 特殊な建具の仮組 ・ 実施する</p> <p>防犯建物部品 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>外部建具の性能等級等 ・ A種 ○B種 ・ C種 ・ () 表面処理 種別 ・ B-2 ・ () ○標準色 ・ 特注色</p> <p>内部建具 表面処理 種別 ・ B-2 ・ () ・ 標準色 ・ 特注色</p> <p>防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ (等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ (等級) 耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ (等級) 建具の見込み寸法 ・ [表16. 2. 1] ○ 図示 (図面番号: A-20) 結露水の処理方法 ・ () 水切り板、ぜん板等 ○ 図示 (図面番号: A-20)</p> <p>形式 ○可動式 ・ 固定式 網の材質 ・ 合成樹脂 ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ○ステンレス (SUS316) ・ () 網目 ・ 16メッシュ ○18メッシュ ・ ()</p> <p>外部建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ ()</p> <p>外部建具の遮音性能等級 ・ T-A種 ・ T-B種 ・ ()</p> <p>外部建具の断熱性能等級 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 ・ () ガラス ・ 複層ガラス ・ () 建具枠見込み寸法 ・ 図示 (図面番号:) 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 水切り板 ぜん板 ・ 図示 (図面番号:) 丁番 ・ [表16. 8. 3] ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>簡易気密型ドアセット ・ 図示 (図面番号:) 外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ (等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ (等級) 耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ (等級) 鋼板の種類、めっき付着量 ・ JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ () ・ JIS G 3317 ・ Y08 ・ () 鋼板類の厚さ ・ [表16. 4. 2] ・ 図示 (図面番号:) H>2400超 又は W>950超 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>簡易気密型ドアセット ・ 図示 (図面番号:) 防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ (等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ (等級) 耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ (等級) 鋼板類の表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (HL・鏡面) 召し合せ、縦小口包み板等の材質 ・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出形材 鋼板類の厚さ ・ [表16. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:) H>2400超 又は W>950超 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>簡易気密型ドアセット ・ 図示 (図面番号:) 外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ (等級) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ (等級) 耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ (等級) ステンレス鋼板 ・ SUS304 ・ () 表面仕上げ ・ HL ・ 鏡面仕上げ 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ</p>	<p>10. 木製建具 (16. 7. 2) (表16. 7. 1) (表16. 7. 6) (表16. 7. 3) (表16. 7. 4) 11. 建具用金物 (16. 8. 2) (表16. 8. 1) (表16. 8. 3) (表16. 8. 4) 12. 自動ドア開閉装置 (16. 9. 2) (表16. 9. 1) (表16. 9. 2) (表16. 9. 2) 13. 自閉式上吊り引戸装置 (16. 10. 3) 14. 重量シャッター (16. 11. 2) (表16. 11. 1) 15. 軽量シャッター (16. 12. 2) (表16. 12. 1) (表16. 12. 3) (表16. 12. 4) 16. オーバーヘッドドア (16. 13. 2) (表16. 13. 3) 17. ガラス (16. 14. 2) (表16. 14. 3) (表16. 14. 4) (表16. 14. 1) 18. ガラスブロック積み (16. 14. 5)</p>	<p>建具材の含水率 ・ A種 ○B種 ・ C種 フラッシュ戸、戸ふすまの合板 種類、材面の品質 ○ 図示 (図面番号: A-20) 接着の程度 ・ 1類 (水掛り)、2類 (その他) ・ () フラッシュ戸の形状 表面板の厚さ ○ 標準仕様書 [表16. 7. 6] ・ () 引戸の召合わせ ・ いんろう付き 図示 (図面番号:) かまち戸 かまち、鏡板の種類 ・ 図示 (図面番号:) ふすま 上張の種類 ・ 図示 (図面番号:) 縁の仕上げ ・ 図示 (図面番号:) 枠及びびくつずりの材料 ○ 図示 (図面番号: A-20) 戸の見込み寸法 ○ 図示 (図面番号: A-20)</p> <p>マスターキー ○ 製作する ・ 製作しない ・ 監督員と協議の上システムを決定する</p> <p>キーボックス ・ 要 ・ 不要</p> <p>金物の種類、見え掛り部等の材質等 ○ 標準仕様書 [表16. 8. 1] ・ 図示 (図面番号:) レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ○ 監督員と協議の上システムを決定する</p> <p>開閉方法 ・ スライディングドア ・ スイングドア ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>センサー種類 ・ 図示 (図面番号:) 性能値 スライディングドア ・ 標準仕様書 [表16. 9. 1] ・ () スイングドア ・ 標準仕様書 [表16. 9. 2] ・ ()</p> <p>性能値 標準仕様書 [表16. 10. 1] ・ ()</p> <p>シャッターの種類 ・ 図示 (図面番号:) 開閉機能による種類 ・ 図示 (図面番号:) 管理用シャッター、外壁用防火シャッター ・ 耐風圧強度 (Pa 以上) 管理用シャッターのシャッターケース ・ 図示 (図面番号:) 鋼板の種類 ・ 図示 (図面番号:) ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()</p> <p>開閉機能による種類 ○ 図示 (図面番号: A-20) ・ 耐風圧強度 (Pa 以上) スラットの材質、めっき付着量 ・ JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () ・ JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()</p> <p>スラットの形状 ・ インターロック形 ○ オーバーラッピング形</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレール</th> </tr> <tr> <td>・ スチールタイプ</td> <td>・ バランス式</td> <td>・ スタンダード形</td> <td>・ 溶融亜鉛</td> </tr> <tr> <td>・ アルミニウムタイプ</td> <td>・ チェーン式</td> <td>・ ローヘッド形</td> <td>めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ ファイバーグラスタイプ</td> <td>・ 電動式</td> <td>・ ハイリフト形</td> <td>・ ステンレス</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ パーチカル形</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐風圧性能の区分 JIS A 4715 ・ ()</p> <p>板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等 ○ 図示 (図面番号: A-20) 留め材 ○ シーリング ・ ガスケット () ガラス溝の寸法、形状等 ○ 標準仕様書 [表16. 14. 1] ・ 図示 (図面番号:) 熱線反射ガラスの映像調整 ・ 実施する</p> <p>表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 壁用金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:) 骨格の材質等 ・ SUS304、φ5.5はしご形状複筋、単筋 ・ () 化粧目地モルタルの色 ・ () シーリング材の種類 ・ () 化粧カバーの材質、形状等 ・ 図示 (図面番号:) 風圧力に対応した工法 ・ 図示 (図面番号:) 目地幅、伸縮調整目地 ・ 標準仕様書 [表16. 14. 5] (b) (2) ・ ()</p>	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	・ スチールタイプ	・ バランス式	・ スタンダード形	・ 溶融亜鉛	・ アルミニウムタイプ	・ チェーン式	・ ローヘッド形	めっき鋼板	・ ファイバーグラスタイプ	・ 電動式	・ ハイリフト形	・ ステンレス			・ パーチカル形		<p>特記</p> <p>月 日</p> <p>U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号 (1) 第2118号 内田 貴之</p> <p>設計番号 年月日 縮尺</p> <p>三重武道館弓道場 (遠的) 新築その他工事</p> <p>特記仕様書 (5)</p> <p>NO. A-05 原図: A2</p>
	種類	大きさ	産地	役物の種類	棟の工法																																																																																																																		
	取付箇所	材種	寸法	形式																																																																																																																			
	○天井	○アルミニウム製	○450角 ○600角	○額縁タイプ ○目地タイプ																																																																																																																			
	○床	○アルミニウム製	○450角 ○600角																																																																																																																				
	種類	呼び名	仕上形状	工法																																																																																																																			
	薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け																																																																																																																			
		・ 内装薄塗材E	・ 砂壁状ジュラク																																																																																																																				
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	スタックコ状	・ 吹放し ・ 凸部処理	・ 吹付け																																																																																																																		
・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし				・ こて																																																																																																																			
・ 外装厚塗材Si		スタックコ状	・ 吹放し ・ 凸部処理	・ 吹付け																																																																																																																			
			・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	・ こて ・ ローラー																																																																																																																			
複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水型複層塗材E ・ 防水型複層塗材RE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状	・ ローラー ・ 吹付け																																																																																																																				
	・ () ・ () ・ ()	・ () ・ () ・ ()	・ () ・ () ・ ()																																																																																																																				
軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材 ・ こて塗用軽量塗材	・ 砂壁状 ・ 平たん状	・ 吹付け ・ こて																																																																																																																				
	樹脂種類	溶媒種類	外観																																																																																																																				
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																					
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																					
	・ 水系	・ 艶無																																																																																																																					
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																					
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																					
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																					
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																					
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																					
・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																						
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール																																																																																																																				
・ スチールタイプ	・ バランス式	・ スタンダード形	・ 溶融亜鉛																																																																																																																				
・ アルミニウムタイプ	・ チェーン式	・ ローヘッド形	めっき鋼板																																																																																																																				
・ ファイバーグラスタイプ	・ 電動式	・ ハイリフト形	・ ステンレス																																																																																																																				
		・ パーチカル形																																																																																																																					

17 カーテンウォール工事	1. 種類 (17.1.1) (17.1.3)	・メタルカーテンウォール(種類) ・PCカーテンウォール
	2. 性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)	耐風圧性() 耐震性() 水密性() 気密性() 耐火性() 耐温度差性() 遮音性() 断熱性() 性能の確認・判定方法() シーリング材の種類 断熱材()
	3. メタルカーテンウォール (17.2.3) (表17.2.1) (17.2.5) (17.2.6)	カーテンウォールの材料 材料 規格等 見え掛り部の仕上げ 映像調整 ・アルミニウム製 標準仕様書[16.2.3] ・A-1 ・ () ・ () ・A-2 製品の寸法許容差 標準仕様書[表17.2.1] ガラス溝の寸法、形状等 カーテンウォール製作所の仕様による ・ 図示(図面番号:) 取付け 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 標準仕様書[表17.2.2] () カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 標準仕様書[表17.2.3] () ガラスの取付け 構造用ガスケット(図示(図面番号:))
4. PCカーテンウォール (17.3.3) (17.3.4) (17.3.5) (17.3.6) (17.3.9)	カーテンウォールの材料 コンクリートの種類及び品質 鉄筋 SD295A () 補強鉄線 3.2 () 耐火目地材 () 配筋 図示(図面番号:) 先付け材料 ・ サッシ枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール () 製品の寸法許容差 標準仕様書[17.3.13]による () 表面仕上げ材 磁器質タイル 石材(・ 花こう岩 ・ 大理石 ()) 取付け カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 標準仕様書[表17.3.2] () ガラスの取付け 構造用ガスケット(図示(図面番号:))	
18 塗装工事	1. 材料 (18.2.2) ~ (18.14.2)	防火材料の指定箇所() 塗料塗り 種類 種類 施工箇所 下地の種類 素地ごしらえ 錆止め塗料の種類 SOP ・A種 ・B種 EP ・A種 ・B種 軒裏 ボード面 ・A種 ・B種 CL ・A種 ・B種 枠 木 ・A種 ・B種
	2. 耐候性塗料塗り(DP) (18.7.2) (表18.7.1) (18.7.4)	下地の種類 施工箇所 上塗り等級 2ヶ所以上、EOP面における種別 鉄鋼面 ボーチ柱 ・1級 ・2級 ・A種 ・B種 ・3級 ・C種

19 内装工事	1. ビニルシート張り (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 継目 ・NC ・NF ・無地 ・2.5 ・ (FS) ・柄物(マ-アル) ・ () ・ 溶接 ・ 突付け
	2. ビニル床タイル張り (19.2.2)	寸法 種類 厚さ(mm) ・300×300 ・コンポジションビニル 半硬質 ・2.0 床タイル ・450×450 ・コンポジションビニル 軟質 ・ () 床タイル ・ホモジニアスビニルタイル ・ ()
	3. 特殊機能床材 (19.2.2)	・帯電防止ビニルシート・床タイル 寸法(mm) 厚さ(mm) 種類() ・視覚障害者用床タイル 材質(・ビニル床タイル ()) 寸法(・300×300 ()) ・耐動荷重性床シート 種類() 寸法() 厚さ(mm) ・ゴム床タイル 種類() 寸法() 厚さ(mm) ・防滑り性床シート 種類() 性能() 厚さ()
	4. ビニル幅木 (19.2.2)	高さ () 図示(図面番号: A-18) () 60mm 厚さ () 図示(図面番号:) 1.5mm以上 下地 ・モルタル ・セムレタリング ・木造 (・ボ-ド面)
	5. 施工 (19.2.3)	継目 ・突付け ・熱溶接工法
	6. カーペット敷き (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.1) (表19.3.2)	織りじゅうたん 種類 色柄 パイル形状 織り方 ・A種 ・無地 ・ループ ・ウィルトンカーペット ・B種 ・柄物 ・カット ・ダブルフェースカーペット ・C種 (標準品) ・カット、ループ併用 ・アキスミンスターカーペット
		種類 色柄 パイル形状 パイル長・総厚 工法 ・タフテット ・無地 ・ループ パイル長 ・グリッパー カーペット ・柄物 ・カット ・5~7mm ・全面接着 ・4~6mm ・ニードル ・無地 総厚さ ・全面接着 パンチ ・柄物 ・ () カーペット ・タイル ・無地 ・ループ 総厚さ、サイズ ・全面接着 カーペット ・柄物 ・カット ・6.5mm ・ ・500角
7. 合成樹脂塗床 (19.4.2) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)	・弾性ウレタン塗床材(JISK 5970) 仕上げ ・平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材(JISK 5970) 仕上げ ・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ(・平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ(・平滑 ・防滑) ・塗膜型塗床材仕上げ	

8. フローリング 張り (19.5.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.5.6) (19.5.7)	材料 ・単層フローリング ・フローリングボ-ド(1等) ・フローリングブロック(1等) ・モザイクカット(1等) ・複合フローリング ・釘留め工法	材料 種類 樹種 ・フローリングボ-ド(根太張用) ・なら ・ () ・複合フローリング(根太張用) ・A種 ・B種 ・C種	
	防湿処理 図示(図面番号:)	接着工法 材料 樹種 厚さ(mm) 大きさ(mm) 裏面緩衝材 ・フローリングボ-ド(直張用) ・なら () ・12 303×1,818 ・合成樹脂緩衝シート ・フローリングブロック(直張用) () 複合フローリング(直張用) ・C種 ・A種 ・B種 モザイクカット(直張用) ・図示 () ・図示 () ・図示 ()	
	現場塗装 仕上げ ・ウレタン樹脂ワニス塗り(・A種 ・B種) ・オイルステイン塗りのうエワックス塗り ・生地のままワックス塗り ()	現場塗装 仕上げ ・ウレタン樹脂ワニス塗り(・A種 ・B種) ・オイルステイン塗りのうエワックス塗り ・生地のままワックス塗り ()	現場塗装 仕上げ ・ウレタン樹脂ワニス塗り(・A種 ・B種) ・オイルステイン塗りのうエワックス塗り ・生地のままワックス塗り ()
	9. 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)	種類 ・A種 () ・B種 () ・C種 () ・D種 () ・D種の畳床TK- (・I ・II ・III ・IV)	種類 樹種 厚さ(mm) ・せっこうボード 壁 9.5(準不燃) 12.5(不燃) 天井 12.5(不燃) ・化粧せっこうボード ・トラバーチン模様 ・9.5(不燃) ・木目模様 9.5(準不燃) ・ロックウール化粧吸音板 ・普通 9 () ・立体模様 () ・けい酸カルシウム板 ・タイプII 0.8FK 6 ・耐水石膏ボード () 9.5
10. せっこうボード、その他のボード及び合板張り (19.7.2) (表19.7.1) (19.7.3) (表19.7.4) (表19.7.5)	合板張り 普通合板 表面の樹種 () 生地そのまま (透明塗料塗り)ラワン (不透明塗料塗り)しな () 品質 1類(湿潤箇所)、2類 厚さ(9 mm) 接着の程度 1類(湿潤箇所) () m 防虫処理 () 天然化粧合板 化粧板の種類 (2類) 厚さ(5 mm) 接着の程度 1類(湿潤箇所) () m 防虫処理 () 特殊加工合板 化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 () 表面性能 () 厚さ(mm) 接着の程度 1類(湿潤箇所) () m	合板張り 普通合板 表面の樹種 () 生地そのまま (透明塗料塗り)ラワン (不透明塗料塗り)しな () 品質 1類(湿潤箇所)、2類 厚さ(9 mm) 接着の程度 1類(湿潤箇所) () m 防虫処理 () 天然化粧合板 化粧板の種類 (2類) 厚さ(5 mm) 接着の程度 1類(湿潤箇所) () m 防虫処理 () 特殊加工合板 化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 () 表面性能 () 厚さ(mm) 接着の程度 1類(湿潤箇所) () m	

11. 吸音材張り (19.7.2)	遮音シール材 ・適用する(・シーリング材 ・ジョイコンパウンド) 合板類の張付け () B種 () A種 せっこうボードの目地工法 () 継目処理 () 突付け () 目透し 下地 () 軽量鉄骨 () 木造 ()	材種 種類 厚さ(mm) 工法 ・吸音用グラスウールボード ・2号32K ・25 ・グラスクロス19メッシュ張り(小口共) ・グラスウール成型板 (タテ、ヨコ共@300程度)	
	特定フロンを含まないもの	施工箇所 材料 防火性能 品質 壁 ビニルクロス 不燃一般 量産生	
	12. 壁紙張り (19.8.2)	素地ごしらえ せっこうボード面 () B種 () A種 コンクリート面 () B種 () A種 モルタル・プラスター面 () B種 () A種	施工箇所 材種 種類 厚さ(mm) ・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 床下 () 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン無し) 25 ・縦貫ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキン無し) ・縦貫ウレタンフォーム保温材 ・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)
13. 断熱材 (19.9.2)	壁、天井 () グラスウール 24kg/m2 100	壁、天井 () グラスウール 24kg/m2 100	
20 ユニット及びその他工事	1. フリーアクセスフロア (20.2.2)	施工箇所 所定荷重 高さ(mm) 床仕上材及び厚さ(mm) 備考 ・タイルカーペット ・6.5mm () ・ () ・ビニル床タイル () mm ・タイルカーペット ・6.5mm () ・ () ・ビニル床タイル () mm	試験方法 20.2.2(2)(i) ~ (iv) 寸法精度 20.2.2(5)(i) ~ (iii)
	2. 可動間仕切 (20.2.3)	組立て方式 ・スタッド式 ・パネル式 ・スタッドパネル式 寸法及び形状 図示(図面番号:) 表面材の材質及び仕上げ 図示(図面番号:) 遮音性 高遮音	
	3. 移動間仕切 (20.2.4)	操作方法 ・手動式 ・電動式 表面材の材質及び仕上げ 図示(図面番号:) 遮音性 高遮音 ハンガーレールの取付け下地の補強 ・標準仕様書[20.2.4](3) ・図示(図面番号:) ハンガーレールの固定方法 ・溶接 ・あと施工アンカー(材質: 、寸法:)	
	4. トイレブース (20.2.5)	表面仕上 () メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 幅木 () 図示(図面番号: A-20) 扉小口の材質 () ステンレス製 ・アルミ製	

<p>②⑤ ユニット及びその他工事</p> <p>5. 階段滑り止め (20.2.6) ・ ステンレスSUS304製 ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き) ・ () 寸法 ・ 約35mm ・ 図示(図面番号:) 工法 ・ 接着工法 ・ 埋込み工法</p> <p>6. 黒板及びホワイトボード (20.2.8) 黒板の種類 ・ 焼付け ・ () 黒板の色 ・ 緑 ・ ()</p> <p>7. 鏡 (20.2.14) 厚さ 5mm ・ (mm)</p> <p>8. 表示 (20.2.10)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>寸法</th> <th>印刷等の種類</th> <th>取付方法</th> </tr> <tr> <td>室名札</td> <td>アルミHL</td> <td>5mm</td> <td>220x80</td> <td>シルクスクリーン印刷 ・ ()</td> <td>ビス止め</td> </tr> <tr> <td>表示板</td> <td>アルミ複合板</td> <td>5mm</td> <td>570x450</td> <td>プリントシート張り ・ ()</td> <td>ビス止め</td> </tr> </table> <p>・ 衝突防止表示 図示(図面番号:) ・ 非常用進入口表示 図示(図面番号:)</p> <p>9. 煙突ライニング (20.2.11) 煙突用成形ライニング材 ・ ガライト系けい酸カルシウム ライニング材 ・ 心材付き繊維積層 適用安全使用温度 ・ (°C)</p> <p>10. ブラインド (20.2.12)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>スラット</th> <th>開閉方式</th> <th>スラットの成形幅(mm)</th> <th>ヘッドボックス・ボトムレールの種類</th> </tr> <tr> <td>横形ブラインド</td> <td>アルミニウム合金 ・ ()</td> <td>ギヤ式 ・ コード式 ・ ()</td> <td>25 ・ ()</td> <td>鋼製 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>縦形ブラインド</td> <td>アルミニウム合金 ・ ()</td> <td>ギヤ式 ・ コード式 ・ ()</td> <td>80 ・ 100 ・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>11. ロールスクリーン (20.2.13) 操作方法 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式 寸法及び材質種 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>12. カーテン及びカーテンレール (20.2.14)</p> <table border="1"> <tr> <th>きれ地</th> <th>ひだの種類</th> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> </tr> <tr> <td>ドレープ ・ レース ・ 図示()</td> <td>フランスひだ ・ 箱ひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ</td> <td>片引き ・ 引分け</td> <td>手引き ・ ひも引き ・ 電動</td> </tr> <tr> <td>暗幕(遮光()級)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>カーテンレール ・ アルミ製 ①ステンレス製 強さ区分 ①10-90 ・ () 形状 ・ シングル ①ダブル 断面形状 ①角形 ・ C形 ・ D形</p> <p>13. プレキャストコンクリート工事 (20.3.2) 補強鉄線の径 ・ 3.2mm ・ () (20.3.3) 設計基準強度Fc ・ 図示(図面番号:) (20.3.4) 配筋 ・ 図示(図面番号:) 取付方法 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>14. 間知石 (20.4.2) 種類及び質量区分 ・ () (20.4.3) 積み方 ・ 谷積み ・ 布積み 目塗り ・ () 伸縮調整目地 ・ 材種() ・ 厚さ(mm)</p> <p>15. ミニキッチン (22.3.2) ①W1200型 参考メーカー タカラスタンダード ミニキッチン KUM型) ①IHヒーター(①100Vタイプ ・ 200Vタイプ) ①オプション(・ 冷蔵庫 ①換気扇 ・ グリスフィルター)</p> <p>16. 消火器 ①床置きタイプ ステール製</p>	区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法	室名札	アルミHL	5mm	220x80	シルクスクリーン印刷 ・ ()	ビス止め	表示板	アルミ複合板	5mm	570x450	プリントシート張り ・ ()	ビス止め	形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類	横形ブラインド	アルミニウム合金 ・ ()	ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	25 ・ ()	鋼製 ・ ()	縦形ブラインド	アルミニウム合金 ・ ()	ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	80 ・ 100 ・ ()	・ ()	きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作	ドレープ ・ レース ・ 図示()	フランスひだ ・ 箱ひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ	片引き ・ 引分け	手引き ・ ひも引き ・ 電動	暗幕(遮光()級)	・ ()	・ ()	・ ()	<p>②⑥ 排水工事</p> <p>1. 排水管 (21.2.1) (表21.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>VP</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2. 排水樹等 (21.2.1)</p> <p>①排水樹 種類及び寸法 ①図示(図面番号: A-15, A-16) ②適用荷重(歩行用) ③排水溝 種類及び寸法 ①図示(図面番号: A-15, A-16)</p> <p>④ふた/グレーチングの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインパーピッチ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>コンクリート製</td> <td>溝蓋</td> <td>歩行用</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>③地業の材料 (21.2.1) ①再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砕石 ・ 砂の粒度試験</p> <p>④埋め戻し土 (21.2.1) ①B種 ・ A種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</p> <p>5. 施工 (21.2.2) 遠心力鉄筋コンクリート管 厚さ、種類 ・ 図示(図面番号:) 硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ、種類 ・ 図示(図面番号:) 継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪</p> <p>⑥街きよ 緑石、側溝 (21.3.1) 形状、寸法 ①図示(図面番号: A-23) (21.3.2) 地業 材料 ①標準仕様書[4.6.2] ・ 図示(図面番号:) 厚さ ①100mm ・ 図示(図面番号:)</p>	材種	管の種類	呼び径	備考	硬質ポリ塩化ビニル管	VP			材質	用途	適用荷重	メインパーピッチ	備考	コンクリート製	溝蓋	歩行用			<p>③⑦ 舗装工事</p> <p>1. 路床 (22.2.2) 路床の材料(厚さは図示(図面番号:)) (22.2.3) ・ 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 (表22.2.2) ・ 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () (22.2.4) ・ フィルター層 ・ 砂 (22.2.5) 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰()号 ・ 消石灰()号 添加量()kg/m³(目標CBR ・ 5以上 ・ ())</p> <p>ジオテキスタイル ・ 適応する 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量()m³ 片道の運搬距離()km 試験 ・ 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">舗装の種類</th> <th colspan="2">舗装の厚さ(mm)</th> <th rowspan="2">路盤材料</th> </tr> <tr> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> <tr> <td>①アスファルト舗装</td> <td>・ ()</td> <td>①(50)</td> <td>①再生クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>・ カラー舗装</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性アスファルト舗装</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td>・ インターロッキングブロック舗装</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ クラッシュラン ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>2. 路盤 (22.3.2) (表22.3.1) ①アスファルト舗装 ・ () (22.3.3) ①カラー舗装 ・ () (表22.3.2) ①透水性アスファルト舗装 ・ () (22.3.5) ①インターロッキングブロック舗装 ・ ()</p>	舗装の種類	舗装の厚さ(mm)		路盤材料	車道部	歩道部	①アスファルト舗装	・ ()	①(50)	①再生クラッシュラン	・ カラー舗装	・ ()	・ ()	・ クラッシュラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ ()	・ ()	鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ ()	・ ()	・ クラッシュラン ・ ()	・ ()	・ ()	・ ()		<p>③⑧ 植栽工事</p> <p>1. 植栽地の確認 (23.1.3) ・ 土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・ 行う ・ 電気伝導率(EC)の試験 ・ 行う ()の試験 ・ 行う</p> <p>2. 植栽基盤 (23.2.2) 植栽基盤整備工法 (23.2.3) ・ 樹木 (・ A種 ・ ()) ・ 芝及び地被類 (・ B種 ・ ()) (表23.2.2) 有効土層 面積 ・ 図示(図面番号:) 厚さ ・ 図示(図面番号:)</p> <p>排水設備 ①設ける (・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ ()) 埋込み用土 ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 土壌改良材 ・ ()</p> <p>3. 植樹 (23.3.2) 樹木の種類 ・ 図示(図面番号:) (23.3.3) 寸法 ・ 図示(図面番号:) 株立数 ・ 図示(図面番号:) 刈込み ・ あり ・ なし</p> <p>支柱材 ・ 丸太(防腐処理方法 ・ 加圧式防腐処理方法 ・ ()) ・ () 支柱形式 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け系 ・ () 幹巻き用材料 ・ 幹巻き用テープ ・ わら ・ もこ</p>	<p>④⑨ 外構工事</p> <p>1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ(m) ・ 5 ・ 6 ・ 7</p> <p>②⑩ フェンス ①ネットフェンス ①網材種(①ビニル被覆鉄線 ・ ()) ・ メッシュフェンス 網材種(・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ()) ・ 格子フェンス 網材種(・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())</p>	<p>特記</p> <p>月 日</p> <p>U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之</p> <p>設計番号 年月日 縮尺</p> <p>三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事</p> <p>特記仕様書(7)</p> <p>NO. A-07 原図:A2</p>
	区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法																																																																																								
	室名札	アルミHL	5mm	220x80	シルクスクリーン印刷 ・ ()	ビス止め																																																																																								
	表示板	アルミ複合板	5mm	570x450	プリントシート張り ・ ()	ビス止め																																																																																								
	形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類																																																																																									
	横形ブラインド	アルミニウム合金 ・ ()	ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	25 ・ ()	鋼製 ・ ()																																																																																									
	縦形ブラインド	アルミニウム合金 ・ ()	ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	80 ・ 100 ・ ()	・ ()																																																																																									
	きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作																																																																																										
	ドレープ ・ レース ・ 図示()	フランスひだ ・ 箱ひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ	片引き ・ 引分け	手引き ・ ひも引き ・ 電動																																																																																										
	暗幕(遮光()級)	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																										
材種	管の種類	呼び径	備考																																																																																											
硬質ポリ塩化ビニル管	VP																																																																																													
材質	用途	適用荷重	メインパーピッチ	備考																																																																																										
コンクリート製	溝蓋	歩行用																																																																																												
舗装の種類	舗装の厚さ(mm)		路盤材料																																																																																											
	車道部	歩道部																																																																																												
①アスファルト舗装	・ ()	①(50)	①再生クラッシュラン																																																																																											
・ カラー舗装	・ ()	・ ()	・ クラッシュラン																																																																																											
・ 透水性アスファルト舗装	・ ()	・ ()	鉄鋼スラグ																																																																																											
・ インターロッキングブロック舗装	・ ()	・ ()	・ クラッシュラン ・ ()																																																																																											
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																												

解体工事特記仕様書

- I. 工事名 三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事
- II. 工事概要
- 1 工事場所 三重県津市栗真中山町 地内
- 2 工事内容 棟名称 三重武道館弓道場（遠的）
構造 鉄骨造平屋建
建築面積 67.00 m²（倉庫：27.00 m² 射場：40.00 m²）
延べ面積 67.00 m²（倉庫：27.00 m² 射場：40.00 m²）
工事項目 解体
- III. 解体工事仕様
- 1 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、最新版）による。
- 2 特記仕様
- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 特記事項は、○の付いたものを適用する。
 - 項目欄に記載の（ ）内表示番号は解共仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項																	
① 一般共通事項	① 適用基準	<p>本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説」（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準詳細図」（最新版） 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 その他関係法令 																	
	② 発生材の処理等 (1.3.10) (4.4.1) (5.4.1)	<p>本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事等であって、その規模が、建設リサイクル法施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築設備・内装材等</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根ふき材</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>外装材・上部構造部分</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他（ ）</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・手作業 ・手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>引き渡しを要するもの ・ 無 ・ 金属類 ・ PCB含有物 ・ （ ） 特別管理産業廃棄物 ・ 有（ ） 処理方法（ ） 木材の縮減 ・ 実施する （最も近い再資源化施設までの距離が50Kmを超える場合に限り） 再資源化し現場で利用する建設廃棄物 ・ （ ） 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ○ 金属類 ・ 小形二次電池 ○ 蛍光灯及びH I Dランプ ○ 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ○ ガラス 引き渡しを要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。</p>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	その他（ ）	・ 有 ・ 無
工程	作業の有無	分別解体等の方法																	
建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																	
屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																	
外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																	
基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																	
その他（ ）	・ 有 ・ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用																	

③ 建設副産物情報交換システムの利用	<p>引渡しを要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。（マニフェストA、B2、D票、E票を提示すること。）</p> <p>受注者は受注時において延べ面積が80㎡以上の解体工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。</p> <p>また、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。</p>
④ 三重県 産業廃棄物税	<p>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して、支払請求を行うことができる。</p> <p>なお、この期間を超えて請求することはできない。</p> <p>また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。</p>
⑤ 工事実績情報の登録 (1.1.4)	<ul style="list-style-type: none"> 適用する（請負金額が500万円以上の場合） 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督員に提出すること。
6 電気保安技術者 (1.3.3)	<ul style="list-style-type: none"> 適用する
⑦ 疑義	<p>設計図書に明記のない場合、または、疑義が生じた場合は、監督員と協議し、その指示を受けてから施工すること。</p>
⑧ 施工条件 (1.3.5)	<ul style="list-style-type: none"> 監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ～ 時 部位別の施工順序 ・ 指定なし ・ （ ） 工事車両の駐車場 ・ 指定なし ・ 図示（図面番号： ） 資機材置場 ・ 指定なし ・ 図示（図面番号： ）
⑨ 官公庁手続	<p>工事に必要な手続きは受注者が速やかに処理し、この手続きに関する諸費用は受注者負担とする。</p>
⑩ 危険災害の防止	<ol style="list-style-type: none"> 工事期間中、現場内入場者、近隣居住者および周辺建物に危害を与えぬよう注意すること。万一、紛争が生じた場合は、受注者が誠意をもって解決すること。 なお、近隣等との折衝は、あらかじめその概要を監督員に報告し、その経過については記録し、遅滞なく監督員に報告する。 重機搬出入時、発生材搬出時、仮設材搬出入時には、交通整理のための誘導員を配置すること。
⑪ 工事進入路	<p>重機搬出入、産業廃棄物搬出経路については事前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。また、工事現場から搬出入する土砂により工所用進入路を汚した場合は、速やかに清掃を行うこと。</p>
⑫ 工事写真	<ol style="list-style-type: none"> 着工前：解体建物・敷地周辺・付近道路・工作物の撮影を行うこと。 工事中：随時撮影を行うほか、監督員の指示による。
⑬ 完成写真	<p>写真は着工前・施工中・完成を同一場所から黒板なして撮影すること。</p>
⑭ 事故報告	<p>工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により、工事故報告書を監督員が指示する期日までに、提出すること。</p> <p>また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。</p>
⑮ 提出書類	<p>施工計画書、仮設計図書、工事写真、工事日報、マニフェストの写し(A、B2、D票、及びE票)その他市監督員の指示するものとする。</p> <p>施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他市監督員の指示するものを添付すること。</p>
⑯ 産業廃棄物	<p>施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他監督員の指示するものを添付すること。</p>

⑰ 不当介入を受けた場合の措置	<p>暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について</p> <ol style="list-style-type: none"> 受注者は、暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不ともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 受注者は、暴力団員等により不当介入を受けたことから、工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
⑱ 不正軽油の使用の禁止	<ol style="list-style-type: none"> 一般事項 県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 調査の協力 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は、下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。
19 地下埋設物の確認	<p>中間検査又は完成検査において、地下埋設物の確認を受けること。 確認時期は、監督員と協議し決定する。</p>
⑳ 社会保険等未入対策	<p>適用除外でないにも関わらず、社会保険等が未加入である建設業者を下請契約（受注者が直接締結する請負契約に限る。）の相手方としてはならない。</p> <p>下請契約に先立って、選定の候補となる業者について社会保険等の加入状況を確認し、適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である場合には、早期に加入手続きを進めるよう指導を行うこと。</p> <p>受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況をまた、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。</p>
21 その他	

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年 月 日	縮尺	三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事	NO.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計			解体工事特記仕様書（1）	原図：A2
			登録番号（1）第2118号	内田 貴之					

章	項目	特記事項																																																							
② 仮設 工事	① 仮設トイレ	構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない																																																							
	② 仮囲い	位置 ○ 図示 (図面番号: A-10) ・ その他 () 仕様 ○ 図示 (図面番号: A-10) ○ 成形鋼板H=3000 ・ 成形鋼板H=2000 ○ その他 (ガードフェンス)																																																							
	3 監督員事務所 (2.3.1)	・ 設置する。 監督員事務所の規模 (単位: m ²) <table border="1"> <tr> <th>適用規模</th> <th>10程度</th> <th>20程度</th> <th>35程度</th> <th>65程度</th> <th>100程度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 監督職員事務所の仕上げ <table border="1"> <tr> <th>部位等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニール床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </table> 備品等の設置 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>長靴</th> <th>雨合羽</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ロッカー</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>消火器</th> <th>掃除具</th> <th>受注者加入電話・FAX</th> <th>インターネット</th> <th>冷暖房機器</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table>	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度							部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニール床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り	屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器	数量	個	個	台	台
適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																				
部位等	仕 上 げ																																																								
床	合板張り又はビニール床シート張り																																																								
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																																								
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																								
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																				
数量	組	台	個	個	個																																																				
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																				
数量	足	着	個	個	台																																																				
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器																																																				
数量	個	個	台	台	台																																																				
④ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない 取出位置 ・ 図示 (図面番号:)																																																								
⑤ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から、工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。																																																								
⑥ 騒音・粉じん等の対策 (2.2.1)	○ 設ける ・ 防音パネル ・ 防音シート ○ 養生シート 適用範囲、高さ等 図示 (図面番号:) ・ 設けない																																																								
⑦ 仮設鉄板敷	○ 工事用進入路の養生として、鉄板 (t=22) を敷き、養生を行うこと。 位置 ○ 図示 (図面番号: A-10)																																																								
⑧ 使用重機	「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」に基づき指定された建設機械の使用に努めること。																																																								
⑨ 散水養生	解体作業時には粉塵等の飛散を防ぐため、散水養生を行うこと。																																																								
⑩ 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組み立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。																																																								
⑪ 損傷を与えた場合の対応	解体工事により解体建築物以外の建築物や舗装、樹等に損傷を与えた場合には、監督員に報告するとともに、受注者の責任において原形復旧を行うこと。																																																								

③ 解体 施工	1 浄化槽、排水槽等 (3.2.1)	汚水、汚物の回収、洗浄、消毒等 ・ 行う ・ 行わない										
	2 杭の撤去 (3.9.2)	杭の撤去 ・ 行う ・ 行わない 解体方法 ・ 引抜き工法 (・ 振動 ・ ケーシング ・ ()) ・ 破碎 ・ 図示 (図面番号:) 引き抜いた杭の処理 ・ 図示 (図面番号:)										
⑤ 解体撤去後 の整地	3 樹木等 (3.10.1)	樹木の伐採根及び移植 ・ 行う 図示 (図面番号:) ・ 行わない										
	4 地下埋設物及び埋設配管 (3.11.1)	地下埋設物及び埋設配管の解体 ・ 行う 図示 (図面番号:) ・ 行わない										
④ 建設 廃棄物の 処理	1 産業廃棄物 広域認定制度 (4.4.2)	特例による広域的処理 ・ 図示 (図面番号:)										
	② 最終処分 (4.4.4)	最終処分する廃棄物 ・ () 最終処分場 ・ ()										
5 特別 管理 産業 廃棄物 の 処理	3 処理に注意を要する建設廃棄物 (4.5.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ CCA処理木材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ (1)アスベスト含有石膏ボード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ (2)ひ素、カドミウム含有石膏ボード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ (1)(2)以外の石膏ボード</td> <td>・ 埋立処分 ・ 再資源化</td> </tr> </tbody> </table>	建設廃棄物の種類	処理方法	・ CCA処理木材		・ (1)アスベスト含有石膏ボード		・ (2)ひ素、カドミウム含有石膏ボード		・ (1)(2)以外の石膏ボード	・ 埋立処分 ・ 再資源化
	建設廃棄物の種類	処理方法										
・ CCA処理木材												
・ (1)アスベスト含有石膏ボード												
・ (2)ひ素、カドミウム含有石膏ボード												
・ (1)(2)以外の石膏ボード	・ 埋立処分 ・ 再資源化											
1 施工調査 (5.1.2)	特別管理産業廃棄物の分析調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない											
2 PCBを含む機器類 (5.4.3) (5.4.4)	微量PCB、PCB含有シーリング材の分析調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない											
3 廃油、廃酸、 廃アルカリ の処理の有無 (5.4.5) (5.4.6)	・ 廃油 適用箇所 図示 (図面番号:) ・ 廃酸 適用箇所 図示 (図面番号:) ・ 廃アルカリ 適用箇所 図示 (図面番号:)											
4 ダイオキシン類 (5.4.7)	サンプリング調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない 解体方法及び処分方法 ・ () ・ 図示 (図面番号:)											

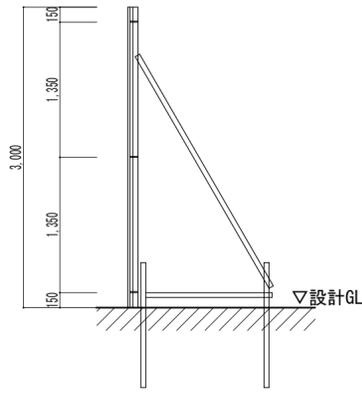
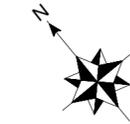
6 アス ベ ス ト 含 有 建 材 の 除 去 及 び 処 理	1 適用範囲 (6.1.1)	建築設備に使用されているアスベスト含有材の処理 ・ 行う 適用箇所 図示 (図面番号:) ・ 行わない														
	2 施工調査 (6.1.2)	分析によるアスベスト含有の調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない														
7 特 殊 な 建 設 副 産 物 の 処 理	3 アスベスト 粉じん濃度測定 (6.1.3)	アスベスト粉じん濃度の測定時期、測定場所及び測定点数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処理作業中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理作業後</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	測定時期	測定場所	測定点数	備考	処理作業中				処理作業後					
	測定時期	測定場所	測定点数	備考												
処理作業中																
処理作業後																
4 アスベスト含有 吹付け材の 除去・処分 (6.3.2) (6.3.3)	除去工法 ・ 共通仕様書[6.3.2](a) ・ 図示 (図面番号:) 除去したアスベストの飛散防止措置 ・ 固化 ・ 湿潤化 除去したアスベストの処分 ・ 埋立処分 ・ 溶融又は無害化による中間処理															
5 アスベスト 含有成形板 (6.5.3)	処分方法 (石綿含有せっこうボードを除く) ・ 埋立処分 ・ 溶融又は無害化による中間処理															
1 施工調査 (7.1.3)	分析調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない															
2 特殊な建設副産物 (7.3.1)	特殊な建設副産物の種類等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> <th>回収及び処分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フロン</td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ハロン</td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table>	種類	適用箇所	回収及び処分	・ フロン		・ ()	・ ハロン		・ ()			・ ()			・ ()
種類	適用箇所	回収及び処分														
・ フロン		・ ()														
・ ハロン		・ ()														
		・ ()														
		・ ()														

建築概要

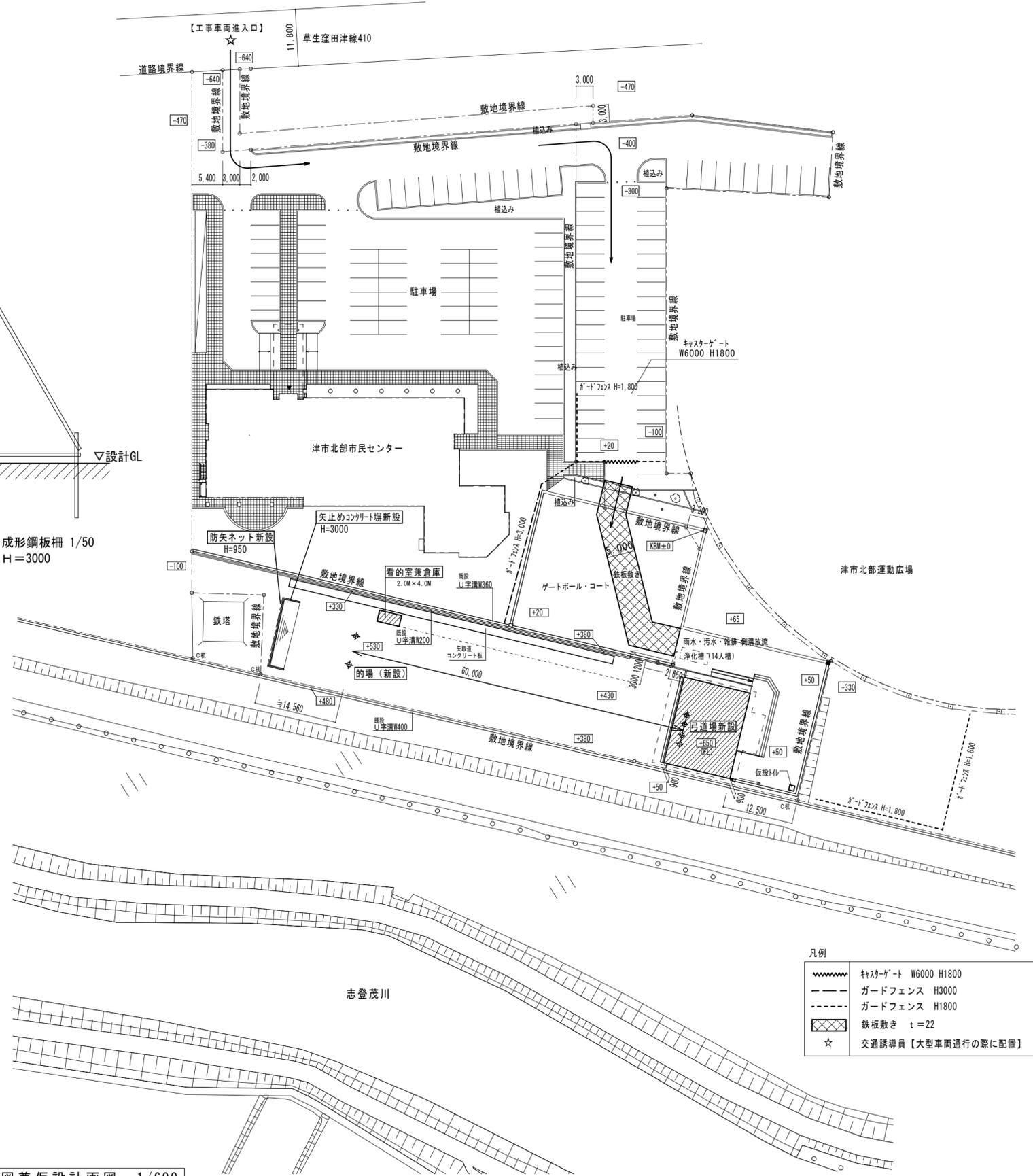
建築場所	三重県津市栗真中山町 地内 (用途地域：市街化調整区域 防火地域・その他の地区・地域：22条地域)
敷地面積	3968.39 m ²
建ぺい率	5.61 % (70 %)
容積率	5.10 % (400 %)
構造	鉄骨造 平家建
延べ床面積	202.50 m ² (道場建屋：194.50m ² 看的室：8.0m ²)
建築面積	222.80 m ² (道場建屋：214.80m ² 看的室：8.0m ²)



附近見取図



成形鋼板柵 1/50
H=3000



配置図兼仮設計計画図 1/600

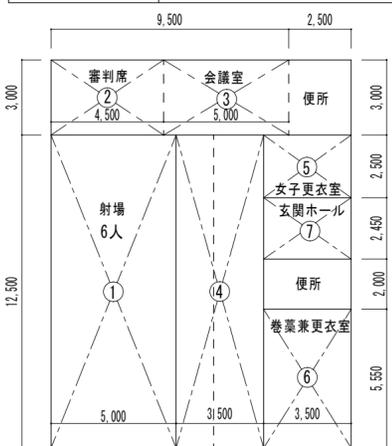
凡例

	キャスターゲート W6000 H1800
	ガードフェンス H3000
	ガードフェンス H1800
	鉄板敷き t=22
	☆ 交通誘導員【大型車両通行の際に配置】

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場 (遠的) 新築その他工事 建築概要・附近見取図・配置図兼仮設計計画図	NO. A-10
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計	1/600		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				原図:A2	

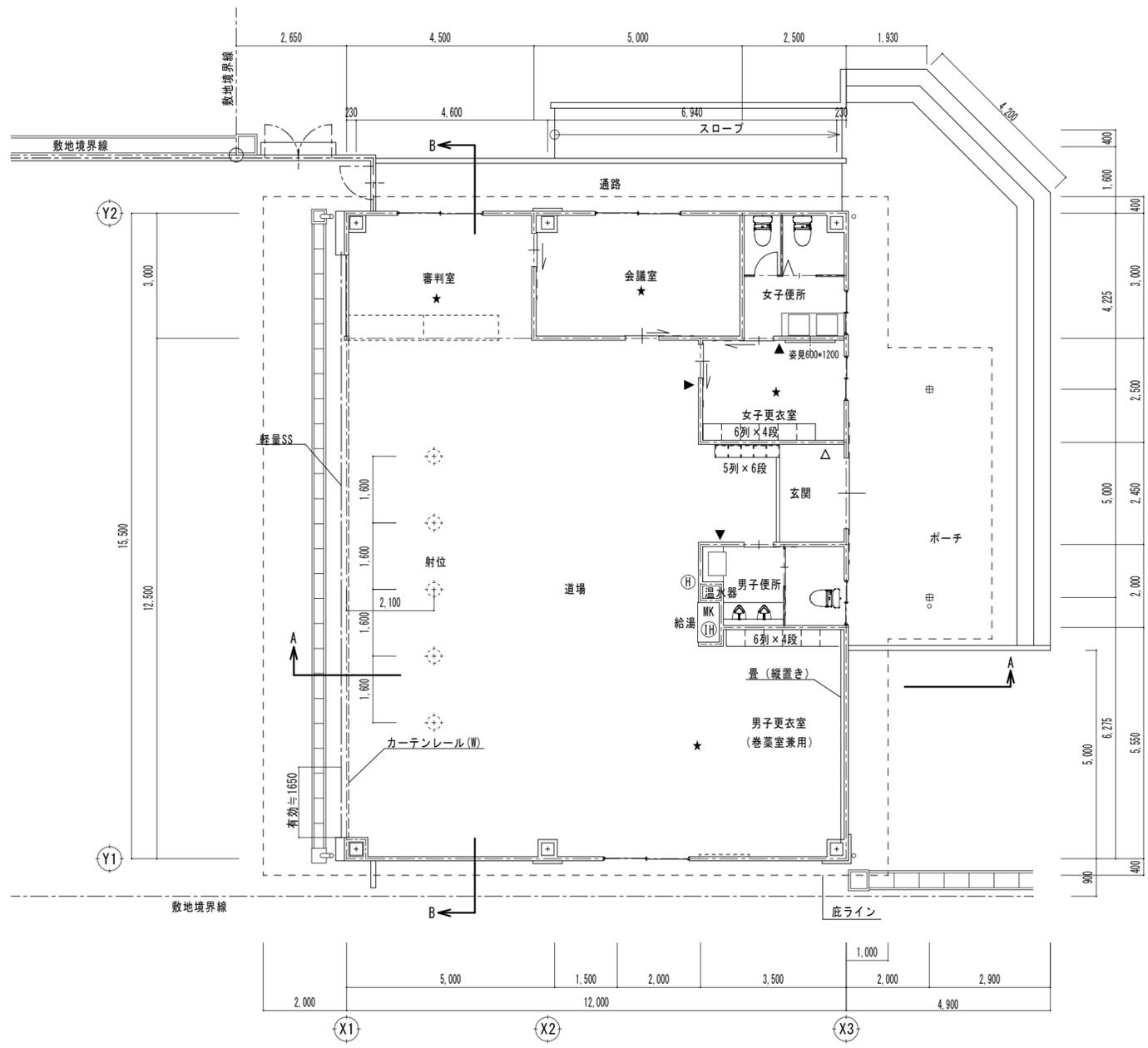
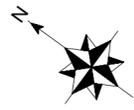
外部仕上表					
屋根 (道場)	金属葺き屋根 (カラーガルバリウム鋼板t=0.4) 軒先包み: ガルバリウム鋼板t=0.4折り曲げ加工 アスファルトルーフィング22kg ケラバ包み: ガルバリウム鋼板t=0.4折り曲げ加工	玄関ポーチ	100角磁器質タイル仕上げ 段鼻タイル	防矢ネット	L=13000 H=1000 支柱4本 アーチェリーネット (取付金具共) 極厚ポリエステル 充実率0.04程度
	野地板 硬質木毛セメント板 t=25 軒裏: ケイカル板 t=6 EP塗装 母屋: C-100*50*2.3 防火認定30分耐火 FP030RF-9289	スロープ	100角スロープタイル張り ステンレス手摺	矢止め コンクリート塀	L=13000 H=3000 コンクリート打ち放し
屋根 (看的室)	折板葺き (90ハゼタイプ)t=0.6 タイルム (けらば共)、17°の面戸、水上及び妻側雨押さえ、水止め面戸	犬走り	コンクリート金こて仕上げ	側溝	道場前: U240(コンクリート蓋) 南側: 既設側溝 (W=360コンクリート蓋付) 一部撤去の上再利用
外壁 (道場)	窯業系サイディング横張り t=16 (コーナー役物同材) 通気工法 (透湿防水シート) 防火構造(PC030BE9202)	巾木	モルタル金こて仕上げ 水切り: カラーアルミ水切り	ネットフェンス	北側ゲートボール場境界: スチールネットフェンス H=1200 (扉付) 南側河川境界、西側武道館連絡路: スチールネットフェンスH=1200
外壁 (看的室)	カラー鋼板 (角波) t=0.6			境界杭	プラスチック杭、金属標、金属釘
縦樋	カラー硬質塩ビ製 VP100φ	7スラット舗装	7スラット舗装 (歩行用)		
軒樋	カラー角型硬質塩ビ製 W=120 前高型 (屋根)	白線引き	既設駐車場区画線 W150 (溶融手動式)		

内部仕上表								
室名	床	床高	巾木	壁 (腰壁)	天井	廻り縁	天井高	備考
道場	軽量鉄骨床下地 体育館用 フローリング張りt=12	GL+600	木製 CL H=60	合板t=9.0下地の天然木化粧合板張り t=5	LGS下地 化粧石膏板-t' t=9.5	塩ビ製	FL+4000	カーテンレール(W)、ミニキッチン(IH)L=1050 (冷蔵庫別途) シート触れ止め金具 (埋込) @500、消火器ABC10型1ヶ所
巻葉室 兼男子更衣室	△	△	△	△	LGS下地 化粧石膏板-t' t=9.5	塩ビ製	FL+4000	姿見 (1200×1800)、木製造り付け棚 畳 (矢止め) 2枚重ね×5列
審判室	△ △	△	△	△ △	△	塩ビ製	FL+3000	
玄関	土間コンクリートt=120こて抑えの上 磁器質100角タイル張り	GL+500	木製 CL H=60 100角タイル	△ △	△	塩ビ製	FL+3100	木製下足箱
会議室	軽量鉄骨床下地 体育館用 ビニール床シート張り t=2.5	GL+600	塩ビ製 H=60	石膏板-t' t=12.5下地の上ビニールクロス貼り	LGS下地 岩綿吸音板t=9.5	塩ビ製	FL+2600	
女子更衣室	△ △	△	塩ビ製 H=60	△	LGS下地 化粧石膏板-t' t=9.5	塩ビ製	FL+2600	木製造り付け棚 パーテーションH=1800(可動)、姿見 (1200×1800)
男子便所	△ △	GL+600	塩ビ製 H=60	耐水石膏板-t' t=12.5下地の上ビニールクロス貼り (一部耐水合板板-t' t=12.5下地)	LGS下地 化粧石膏板-t' t=9.5	塩ビ製	FL+2550	台面: SUS t=1.0 HL 25×150(L=1390) 汚垂れ石(L=1390) 床点検口 450角7&ミ枠 1ヶ所
女子便所	△ △	△	塩ビ製 H=60	△ △	△	塩ビ製	FL+2550	床点検口 450角7&ミ枠 1ヶ所
看的室	土間コンクリートt=120金こて直仕上げ	GL+580	コンクリート 打放し H=100	カラー鋼板 (角波) t=0.6 外壁あらわし	折板葺きそのまま		FL+2200 FL+2300	
備考	化粧石膏ボードt=9.5 準不燃(QM-0524) 石膏ボードt=9.5 準不燃(QM-9828) 化粧ケイ酸カルシウム板t=6 不燃(NM-1217) 化粧石膏ボードt=12.5 不燃(NM-1864) 石膏ボードt=12.5 不燃(NM-0127)			内装使用建材: F☆☆☆☆又は規制対象外の建材をすべて使用する 天井裏等の措置: F☆☆☆☆又は規制対象外の建材をすべて使用する		石綿・クロロピリホス使用不可		



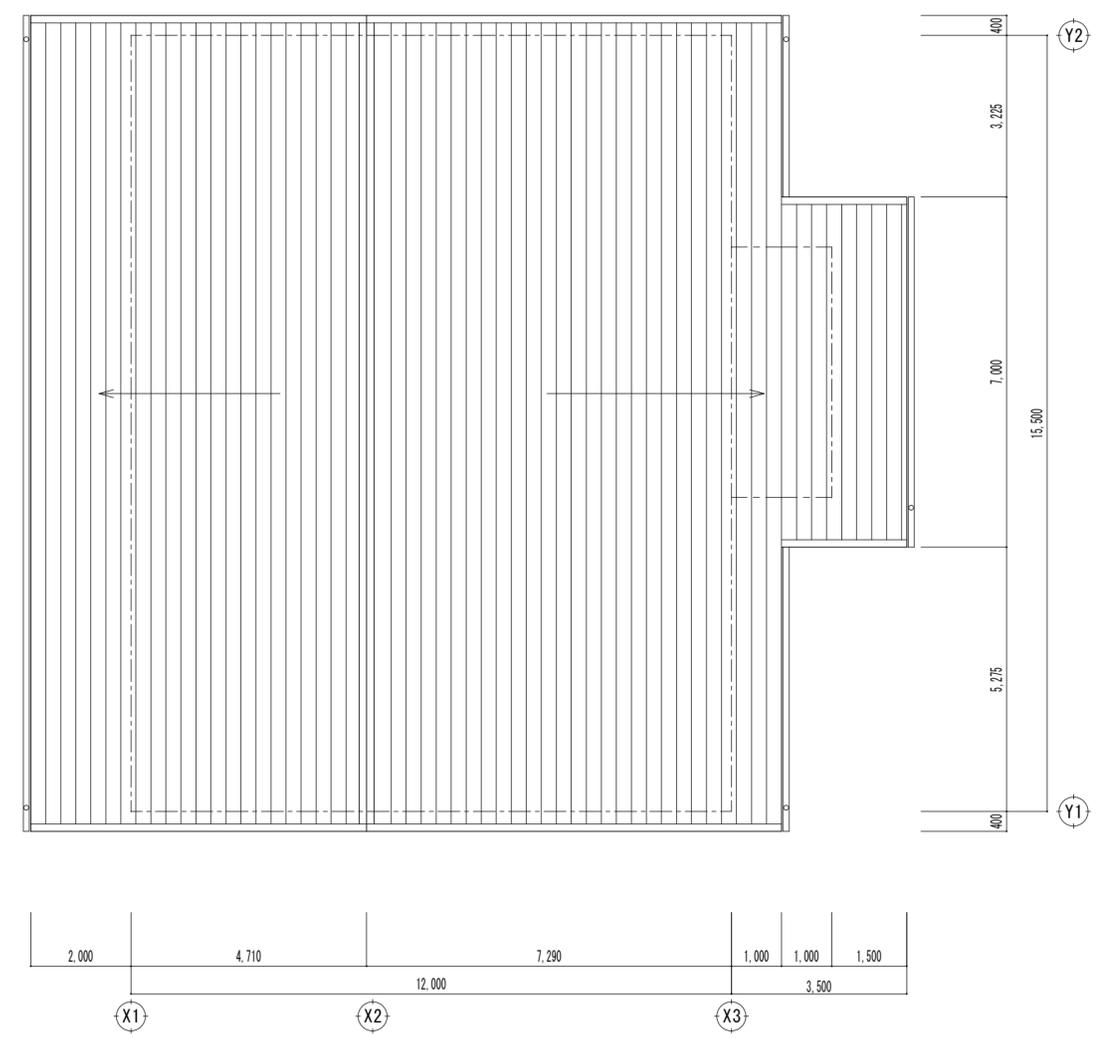
収容人員の算定	無窓階有窓階の判定	換気・排煙検討	採光検討	道場シックハウス検討	
従業員: 2人 ① 射場: 6人 12.5 × 5.0 = 62.5 m ² ② 審判席 4.5 × 3.0 = 13.5 m ² 13.5/3 = 4人 ③ 会議室 5.0 × 3.0 = 15.0 m ² 15.0/3 = 5人 ④ 記録席・控通路 3.5 × 12.5 = 43.75 m ² 43.75/3 = 14人 ⑤ 女子更衣室 3.5 × 2.5 = 8.75 m ² 除外 ⑥ 巻葉兼更衣室 3.5 × 5.55 = 19.425 m ² 19.425/3 = 6人 ⑦ 玄関 3.5 × 2.45 = 8.575 m ² 除外 (①+②+③+④+⑤)/3 = 35 > 50人	床面積: 延床面積 = 194.5 m ² 大型開口部: SS-1 及び AD-1にて算定 SS-1: 12.0 × 3.45 = 41.4 m ² AD-1: 1.8 × 2.3 = 4.14 m ² 計 45.54 m ² 194.5 / 30 = 6.49 < 45.54 m ² OK	換気検討 道場必要換気面積 ①+②+④+⑥+⑦=147.75 m ² 147.75/20=7.3875 m ² 有効換気面積 SS-1にて検討 12.0 × 3.45=41.4 > 7.3875 OK 会議室必要換気面積 ③: 15.0/20=0.75 m ² 有効換気面積 AW-1にて検討 2.0 × 1.3 × 1/2=1.3 > 0.675 OK 女子更衣室必要換気面積 ⑤: 8.75/20=0.4375 m ² 有効換気面積 AW-2にて検討 1.0 × 1.0 × 1/2=0.5 > 0.4375 OK	排煙検討 道場必要排煙面積 147.75/50=2.955 m ² 有効排煙面積 SS-1にて検討 12.0 × 0.25=3.0 > 2.955 OK 会議室必要排煙面積 15.0/50=0.3 m ² 有効排煙面積 AW-1にて検討 2.0 × 0.5 × 1/2=0.5 m ² > 0.3 OK 女子更衣室必要排煙面積 8.75/50=0.175 m ² 有効排煙面積 AW-2にて検討 1.0 × 0.5 × 1/2=0.25 m ² > 0.175 OK	採光検討 道場必要採光面積 ①+②+④+⑥+⑦=147.75 m ² 147.75/20=7.3875 m ² 有効採光面積 SS-1にて検討 12.0 × 3.45=41.40 > 7.3875 OK 会議室必要換気面積 ③: 15.0/20=0.75 m ² 有効換気面積 AW-1にて検討 2.0 × 1.3=2.6 > 0.75 OK 女子更衣室必要採光面積 ⑤: 8.75/20=0.4375 m ² 有効採光面積 AW-2にて検討 1.0 × 1.0=1.0 > 0.4375 OK	道場シックハウス検討 道場必要開口面積 ①+②+④+⑥+⑦=147.75 m ² 147.75 × 15/10000=0.2216 m ² 有効開口面積 SS-1にて検討 (常時開放) 12.0 × 3.45=41.40 > 0.2216 OK 告示第273号第2号による

特記	月 日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場 (遠的) 新築その他工事	NO.
						仕上表	A-12



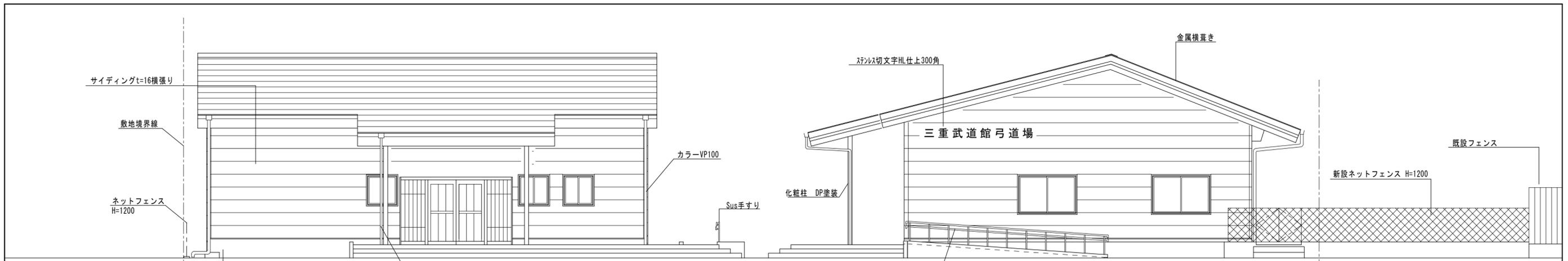
平面図 1/100

- 凡例：(H) 消火器 ABC 10型 格納箱共を示す。
 ★ 室内環境測定箇所を示す。
 △ 表示板 (アルミ複合板 t=5 570×450) を示す。
 ▲ 室名札 (アルミ製 t=5 220×80) を示す。



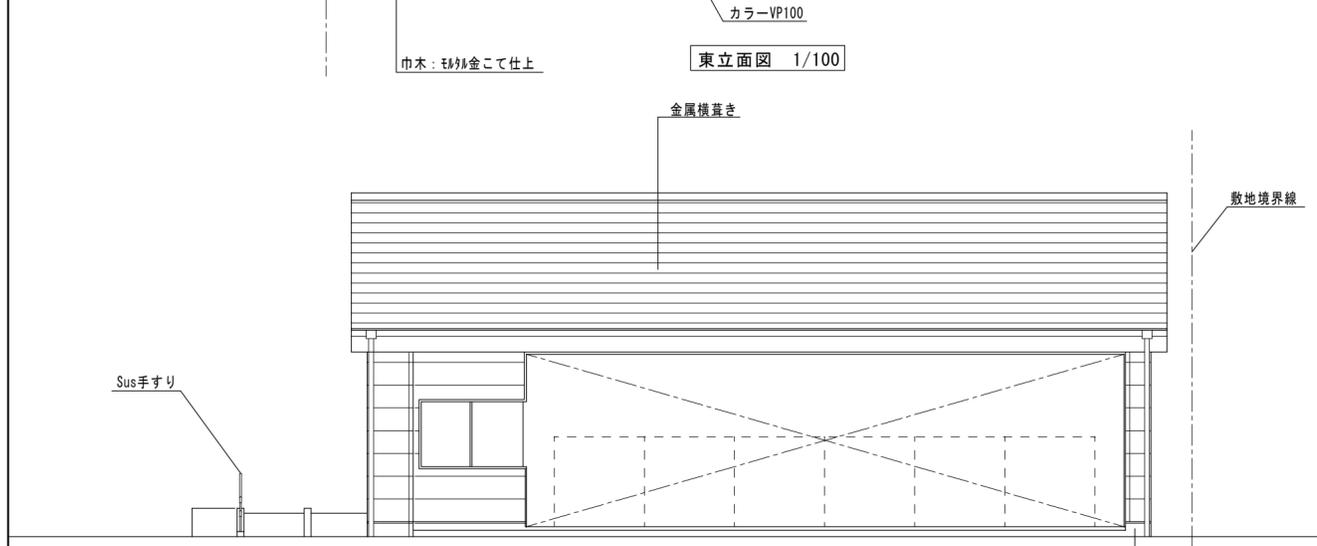
屋根伏図 1/100

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場 (遠的) 新築その他工事	NO. A-13
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/100		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		平面図・屋根伏図		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之			原図:A2		



東立面図 1/100

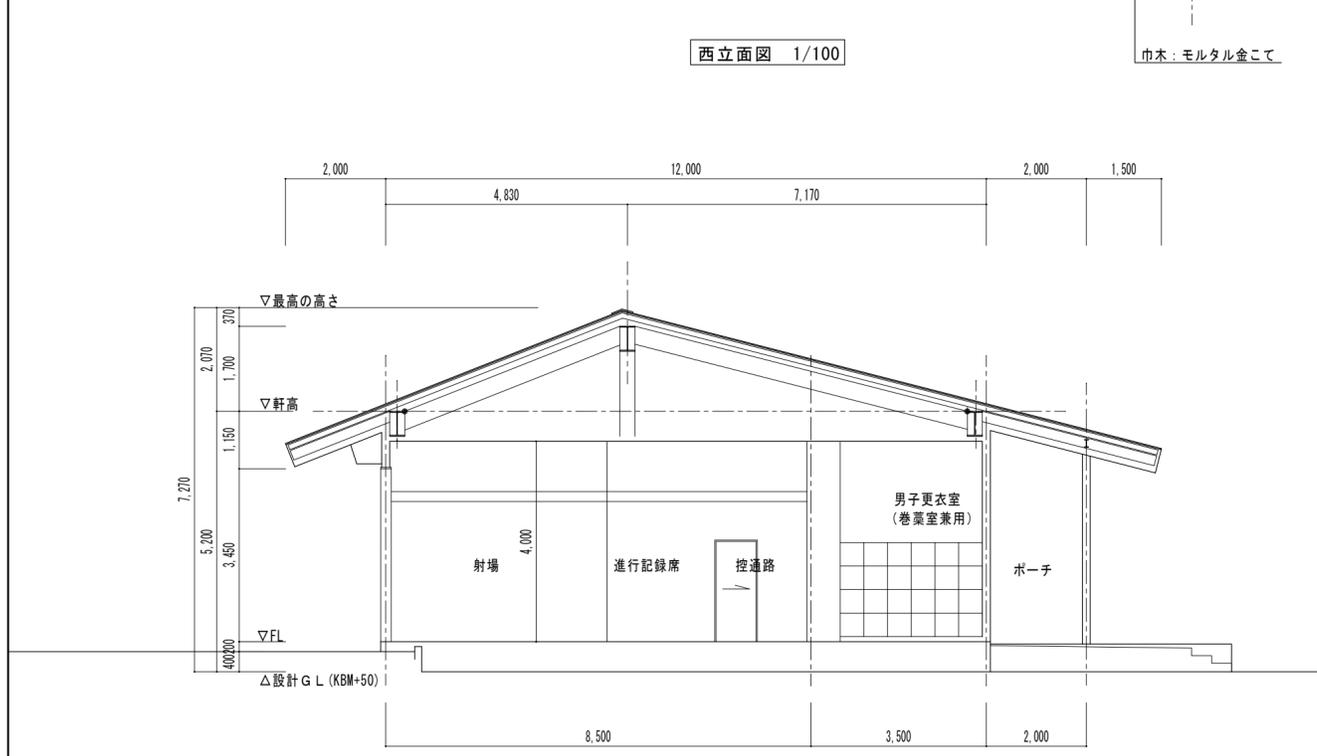
北立面図 1/100



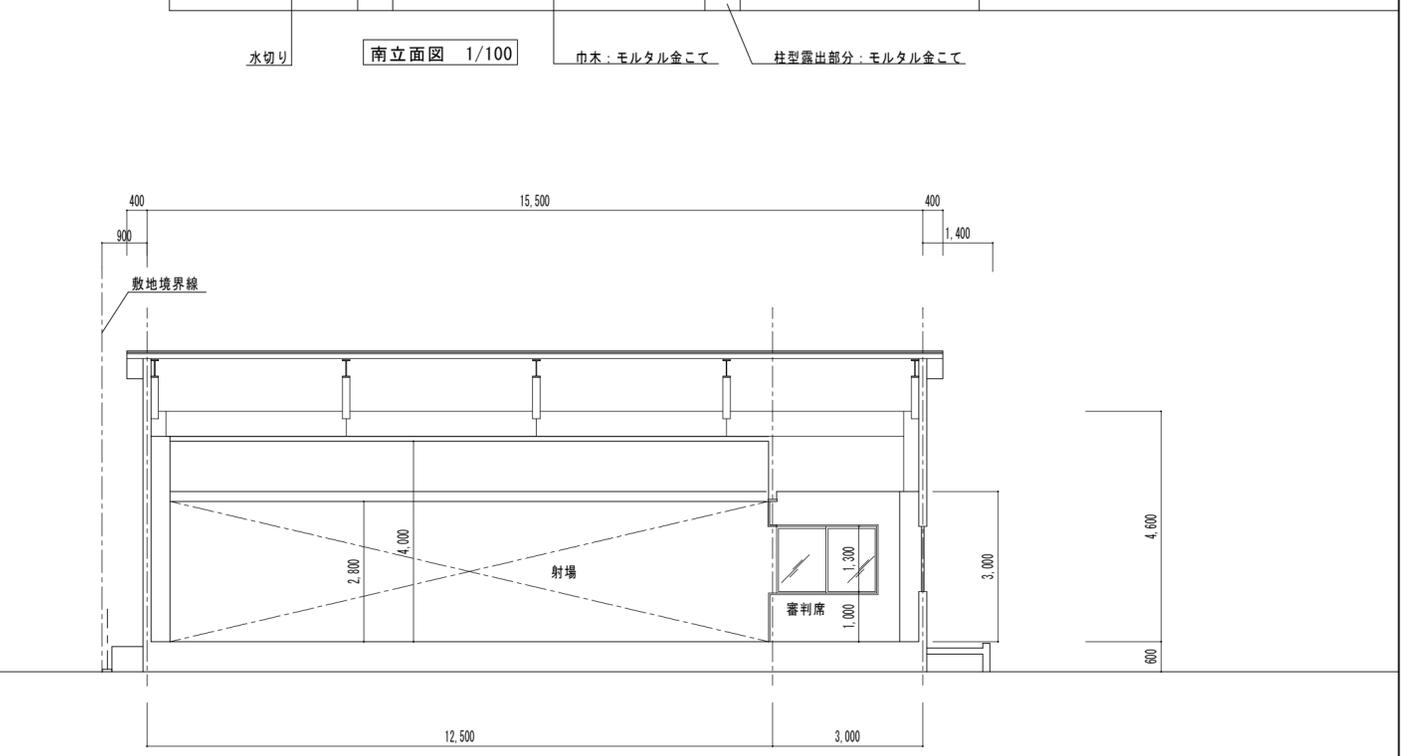
西立面図 1/100



南立面図 1/100

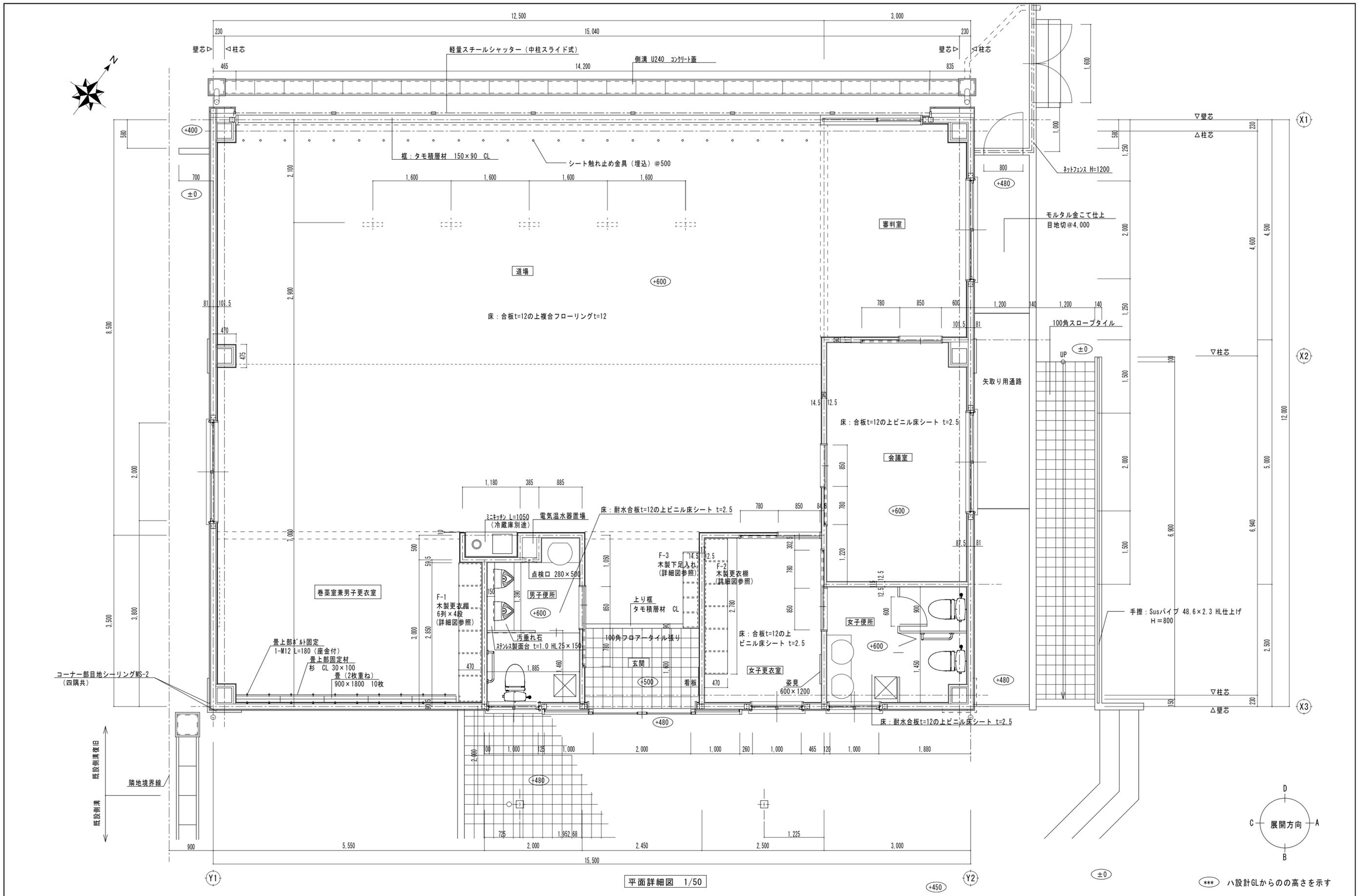


A-A断面図 1/100



B-B断面図 1/100

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事	NO. A-14
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/100		
			一級建築士事務所 一級建築士第248160号		設計				
			登録番号(1)第2118号 内田 貴之						
立面図・断面図								原図:A2	

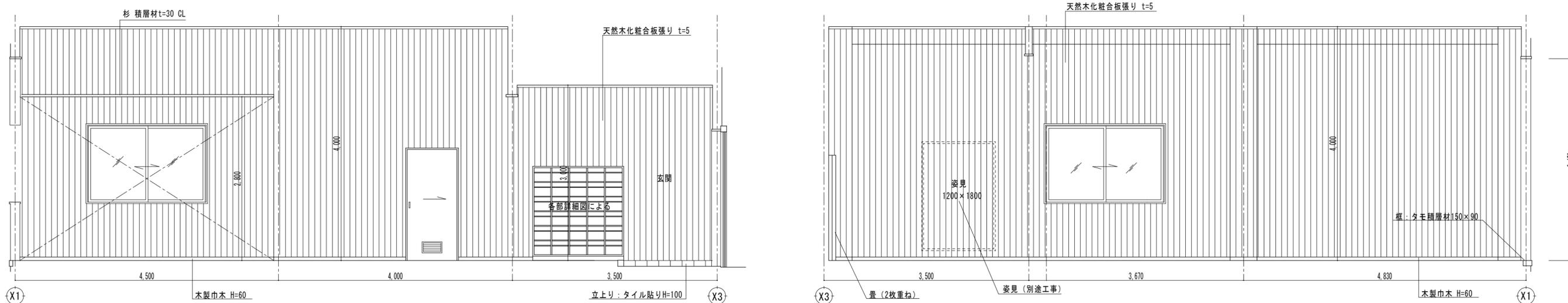


特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事	NO.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/50		
			一級建築士事務所		設計			平面詳細図	原図:A2
			登録番号(1)第2118号						
			内田 貴之						

道場・巻藁室・審判室・玄関

A

C

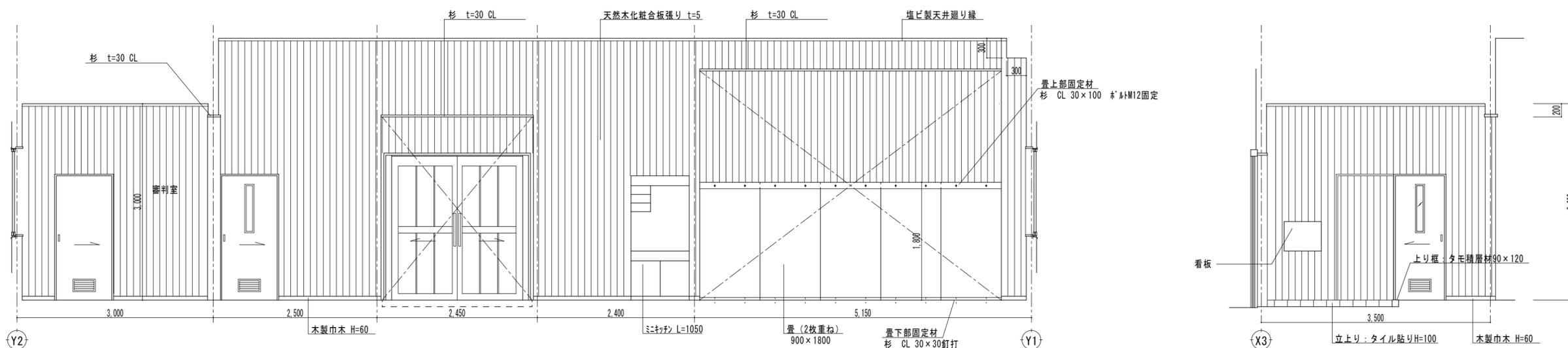


道場・巻藁室・審判室・玄関

B

玄関

C

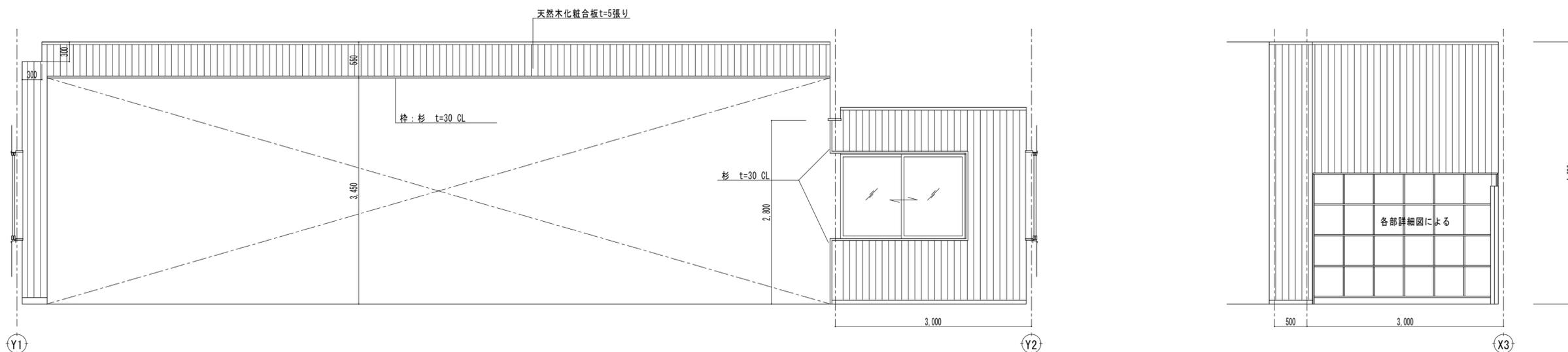


道場・審判室

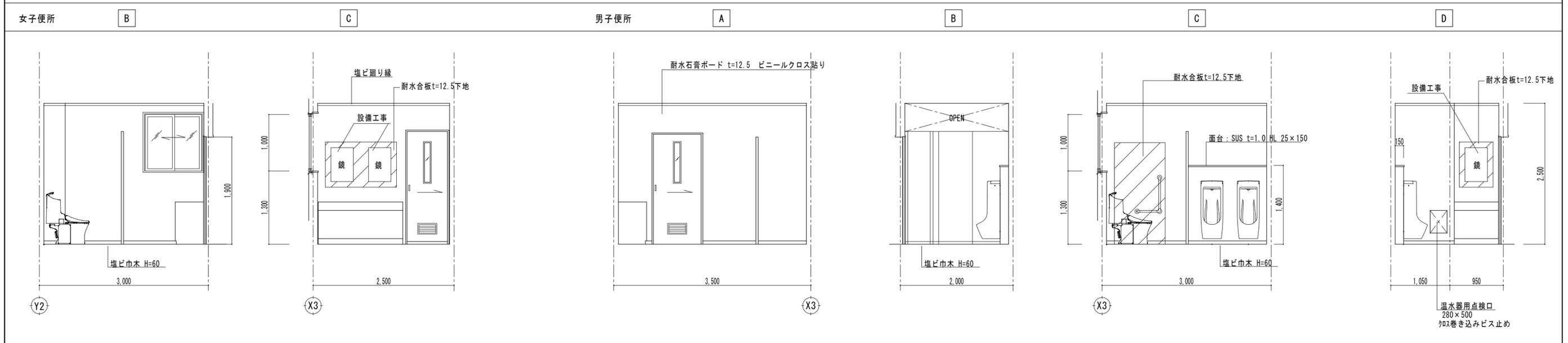
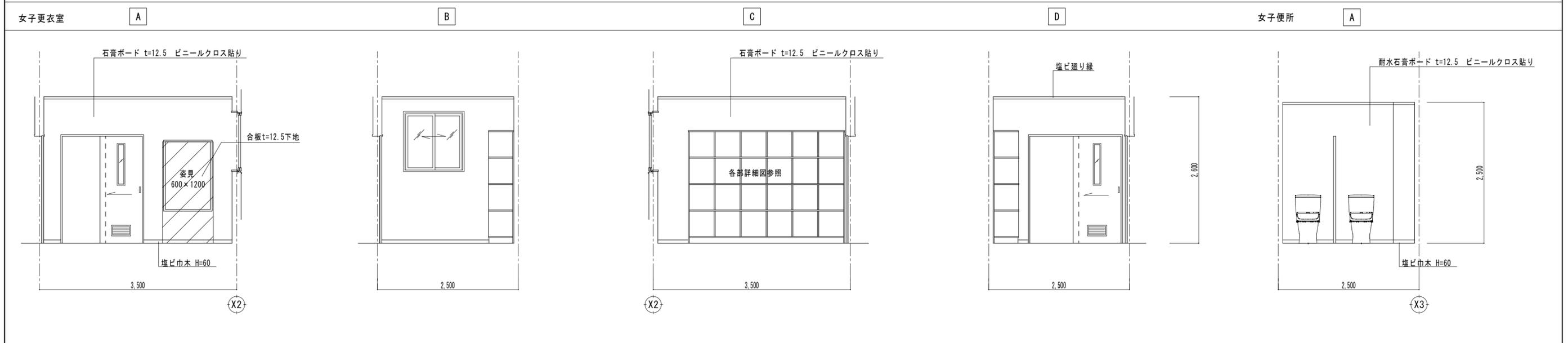
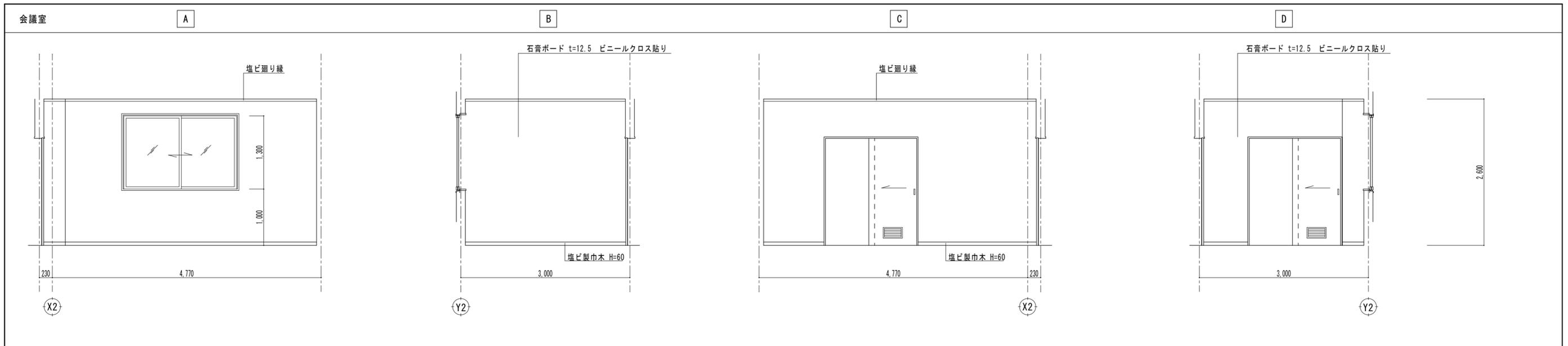
D

巻藁室

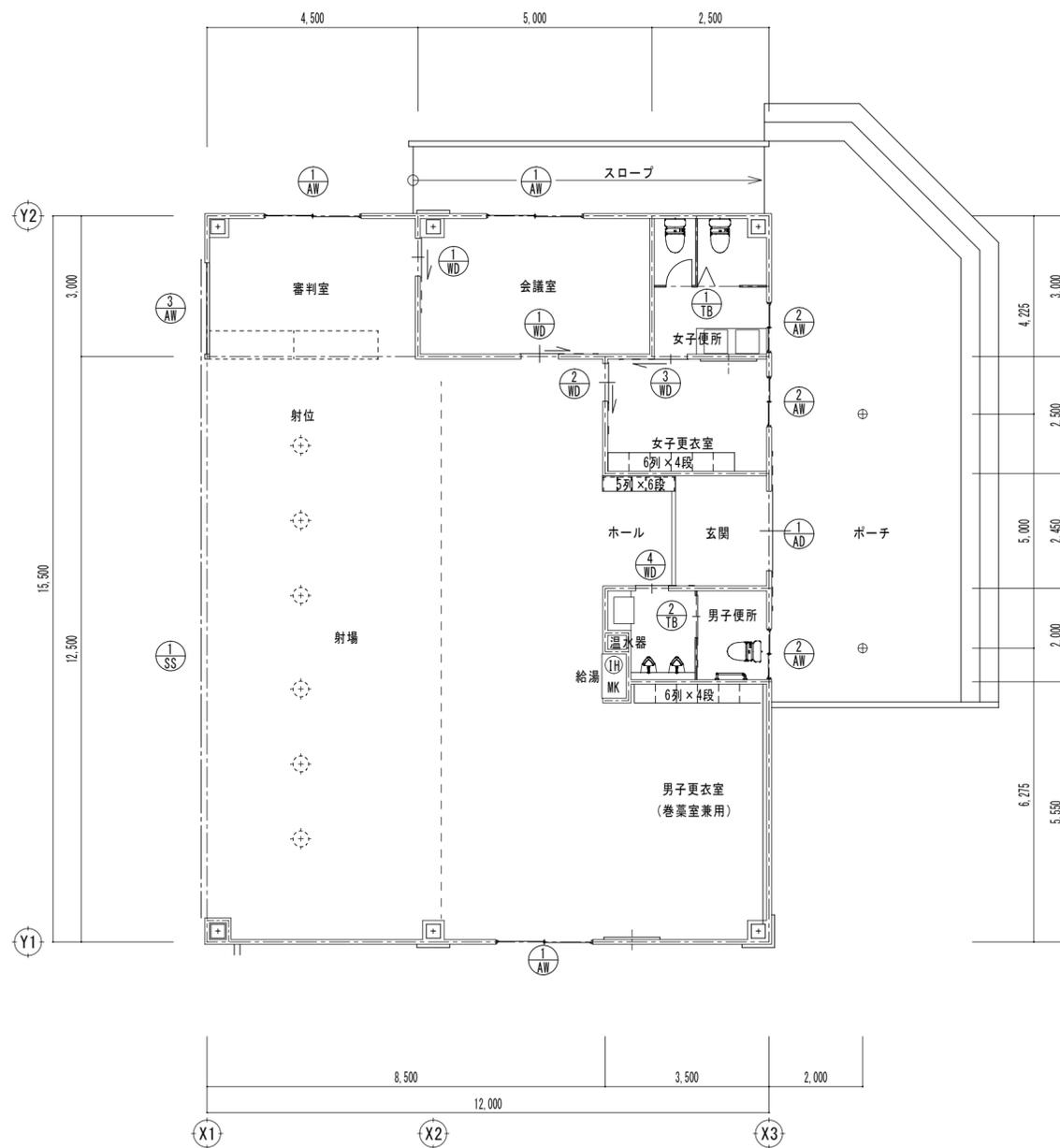
A



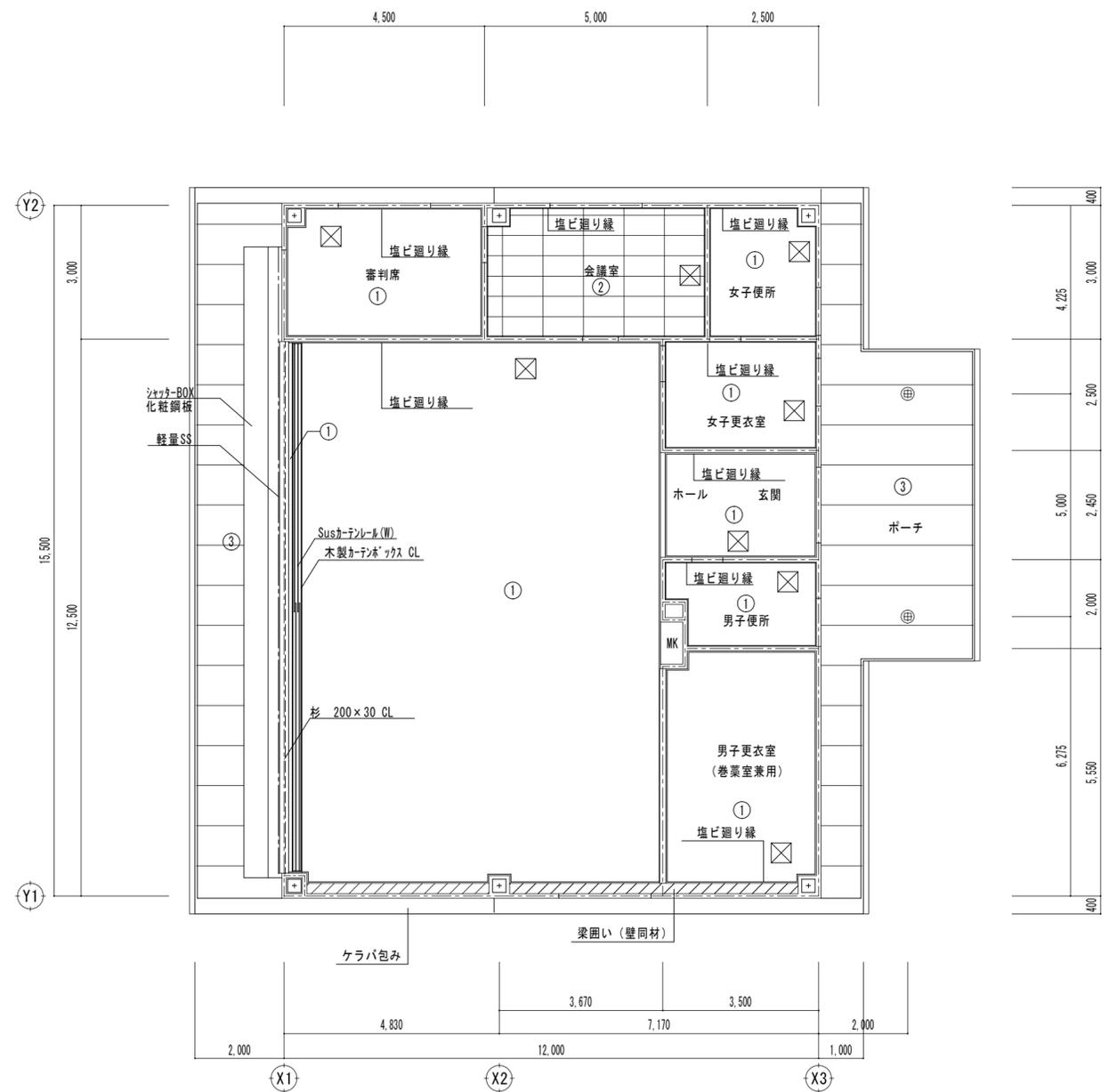
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事 展開図（1）	NO. A-17 原図：A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/50		
			一級建築士事務所		一級建築士第248160号	設計			
			登録番号(1)第2118号		内田 貴之				



特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事 展開図（2）	NO. A-18 原図：A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/50		
			一級建築士事務所		設計				
			登録番号(1)第2118号		一級建築士第248160号				



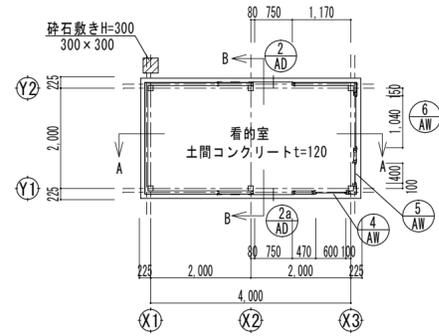
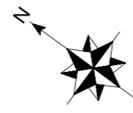
建具指示図 1/100



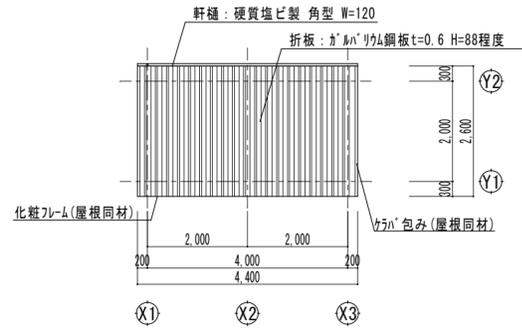
天井伏図 1/100

符号	天井仕上
①	化粧石膏ボード t=9.5
②	ロックウール化粧吸音板 t=9.0
③	ケラ板 t=6の上EP塗り
⊗	天井点検口 450角 7ø枠

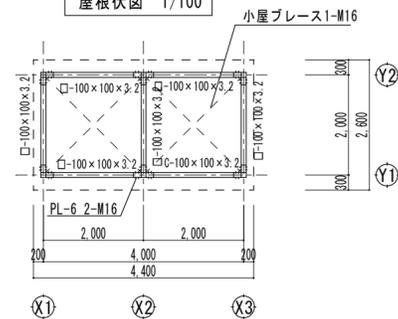
記号・数量	① AW	3	② AW	3	③ AW	1	④ AW	1	⑤ AW	1		
形状												
(改修前)	▽FL		▽FL		▽FL		▽FL		▽FL			
位置	審判室・会議室・巻簾室		男女便所・女子更衣室		審判席		看的室		看的室			
形式	引き違いアルミサッシ		引き違いアルミサッシ		引き違いアルミサッシ		上げ下げアルミサッシ		ハメ殺し窓			
見込	70		70		70		70		70			
材質・仕上	カラーアルミ 内：木製額縁 30×120 CL塗装		カラーアルミ 内：木製額縁 30×120 CL塗装		カラーアルミ 内：木製額縁 30×120 CL塗装		カラーアルミ		カラーアルミ			
ガラス	透明強化ガラス t=5		型板ガラス t=4		透明強化ガラス t=5		透明強化ガラス t=5		透明強化ガラス t=5			
金物	クレセント、水切り、SUS網戸 その他必要金物一式		クレセント、水切り、SUS網戸 その他必要金物一式		クレセント、水切り、SUS網戸 その他必要金物一式		クレセント その他必要金物一式		その他必要金物一式			
備考												
記号・数量	① SS				① AD	1	② AD	②a AD	⑥ AW	1		
形状												
位置	道場				玄関		看的室		看的室			
形式	軽量スチールシャッター（中柱スライド式）				アルミ両開き戸		片引きアルミ戸		ハメ殺し窓			
見込	39				100		70		70			
材質・仕上	カラー鋼板				カラーアルミ 内：木製額縁 30×120 CL塗装		カラーアルミ		カラーアルミ			
ガラス	SK錠 手掛け				透明強化ガラス t=5		シリンダー錠、サムターン、引き手、戸当りゴム		透明強化ガラス t=5			
金物	その他必要金物一式				引き手、 シリンダー錠、サムターン、その他必要金物一式		その他必要金物一式		その他必要金物一式			
備考					カラーアルミパネル、カラーアルミ格子							
記号・数量	① WD	2	② WD	1	③ WD	1	④ WD	1	① TB	1	② TB	1
形状												
位置	会議室		更衣室		女子便所		男子便所		女子便所		男子便所	
形式	片開きフラッシュ戸		額入片引きフラッシュ戸		片引きフラッシュ戸		片引きフラッシュ戸		トイレブース		トイレブース	
見込	30 枠25×135CL塗装		30 枠25×135CL塗装		30 枠25×135CL塗装		30 枠25×135CL塗装		40		40	
材質・仕上	塩ビシート貼り		塩ビシート貼り		塩ビシート貼り		塩ビシート貼り		シナベニア片開きフラッシュドア及び折戸		シナベニア片引きフラッシュ戸	
ガラス	型板ガラス t=4		型板ガラス t=4		型板ガラス t=4		型板ガラス t=4					
金物	引き手、戸車、サムターン 木製ガラリ、戸当りゴム		引き手、戸車、サムターン 木製ガラリ、戸当りゴム		引き手、戸車 木製ガラリ、戸当りゴム、サムターン		引き手、戸車 木製ガラリ、戸当りゴム、サムターン		ラバトリーヒンジ、握り玉及び表示付き錠 その他金物一式		ラバトリーヒンジ、握り玉及び表示付き錠 その他金物一式	
備考	その他必要金物一式		その他必要金物一式		その他必要金物一式		その他必要金物一式					



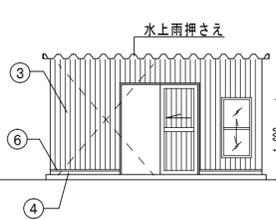
平面図 1/100



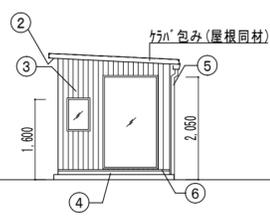
屋根伏図 1/100



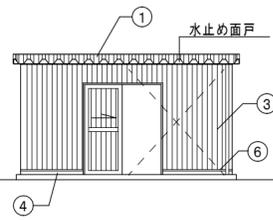
梁伏図 1/100



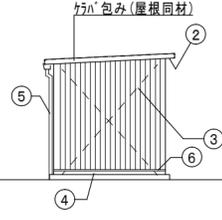
南立面図 1/100



東立面図 1/100



北立面図 1/100



西立面図 1/100

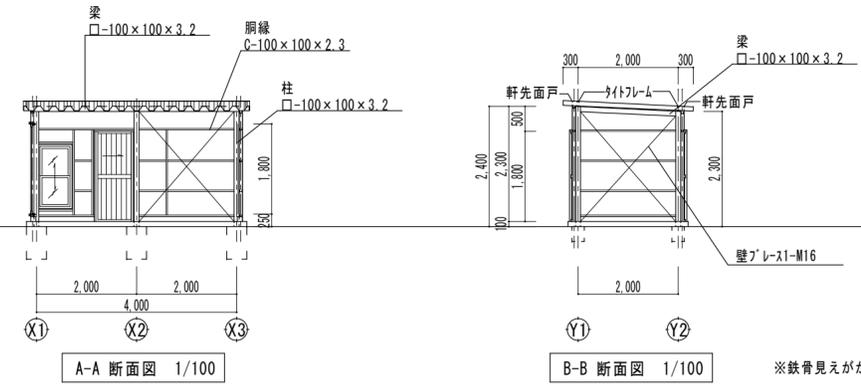
仕上表	
①	屋根：折板 ｶﾞﾙﾊﾞﾘｰｼﾞﾝｸﾞ鋼板 t=0.6 H=88程度、化粧ﾌﾞﾚｰﾑ付
②	軒天：折板のまま
③	外壁：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｰｼﾞﾝｸﾞ鋼板(平板) t=0.4
④	巾木：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修
⑤	堅柱：硬質塩化ビニル(ｶｰ) φ100 つかみ金物：ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS304)
⑥	水切り：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｰｼﾞﾝｸﾞ鋼板(加工) t=0.4

換気検討
必要換気面積 4.0×2.0=8.0 m ² 8.0/20=0.4 m ²
有効換気面積 AD-2にて検討 0.75×1.8=1.35>0.4 OK

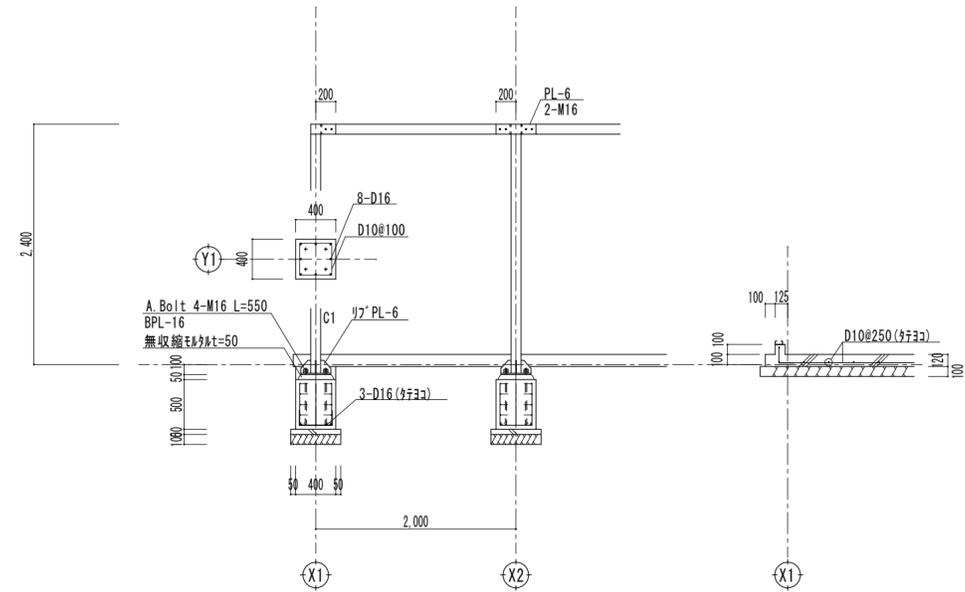
採光検討
必要採光面積 4.0×2.0=8.0 m ² 8.0/20=0.4 m ²
有効採光面積 AN-4にて検討 0.6×1.2=0.72>0.4 OK

排煙検討
必要排煙面積 4.0×2.0=8.0 m ² 8.0/50=0.16 m ²
有効排煙面積 AD-2aにて検討 0.75×0.3=0.225>0.16 OK

シックハウス検討
告示第273号第2号による 床面積：8.0 m ² 必要開口面積 8.0×15/10000=0.012 m ² 有効開口面積 AD-2、2aにて検討(使用時開放) 0.75×1.8×2=2.7>0.012 OK



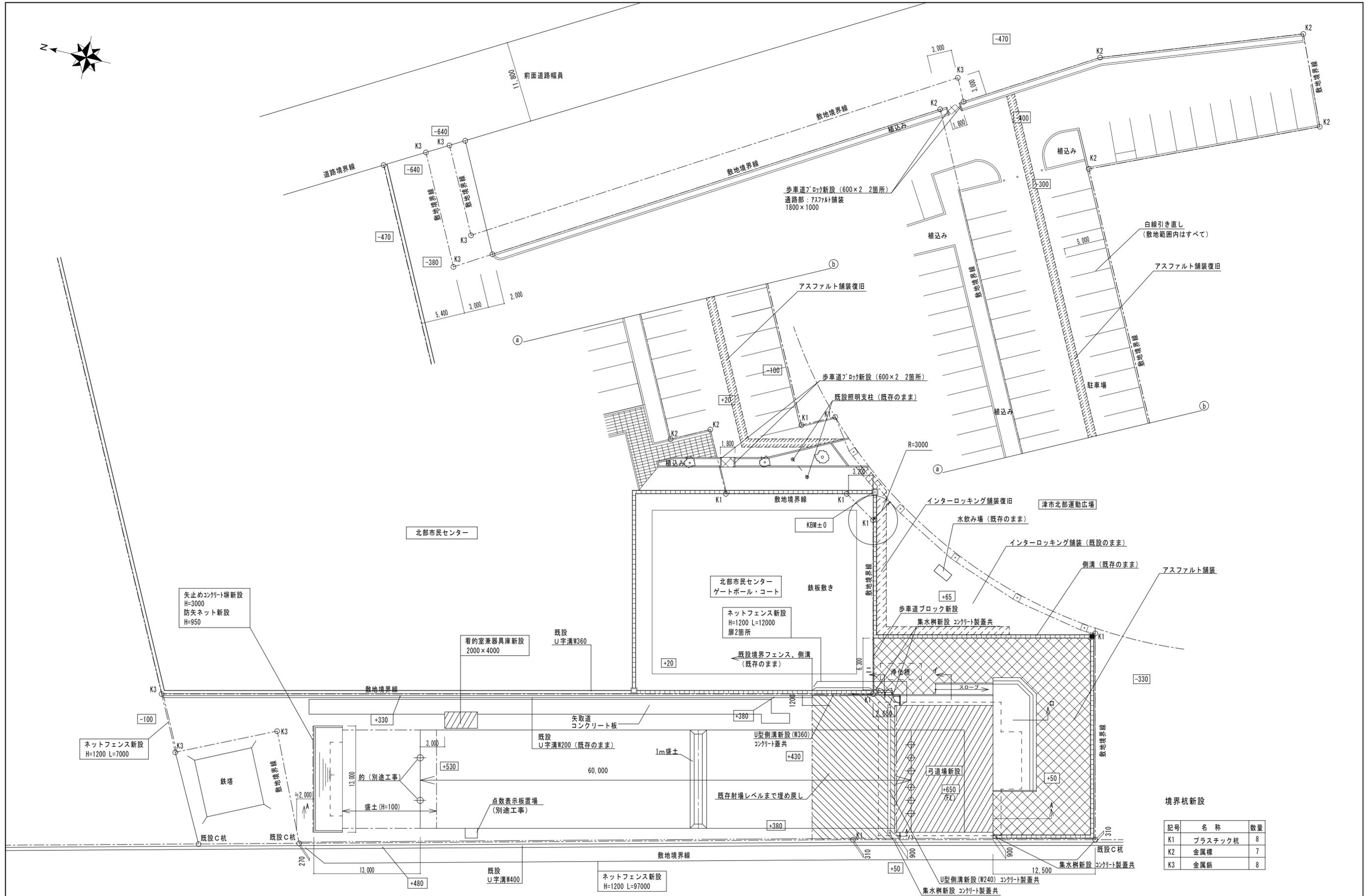
※鉄骨見えがかり部分はDP塗装とする。



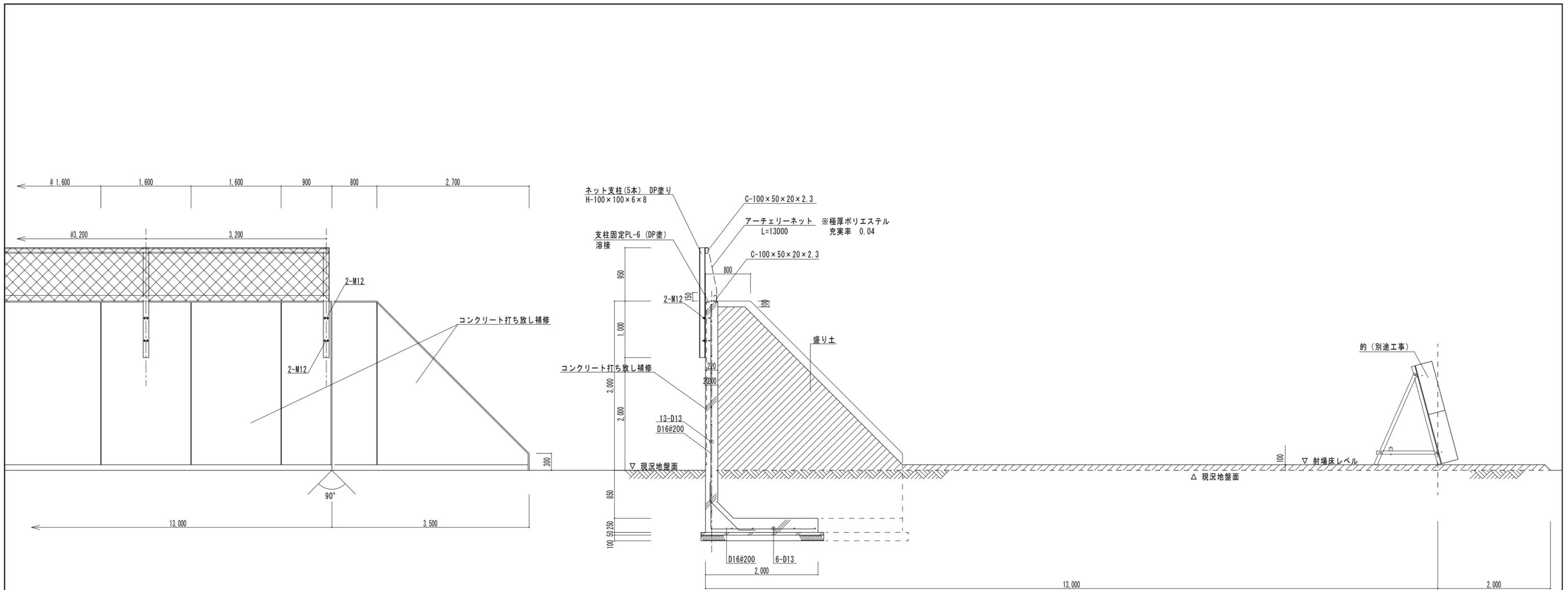
部材リスト

符号	部材	ボルト	プレート	使用材料	備考
柱	□-100×100×3.2			STKR 400	
梁	□-100×100×3.2	2-M16	GPL-6	STKR 400	
鋼縁	C-100×100×20×2.3				溶接 開口補強(ﾀﾞｲﾔｸﾞﾗﾑ)
壁ブレース	1-M16	1-M16	GPL-6		ターンバックル付
小屋ブレース	1-M16	1-M16	GPL-6		ターンバックル付
土間コンクリート	t=120			D10@250(S)	

特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺 1/50 1/100	三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事	NO. A-21

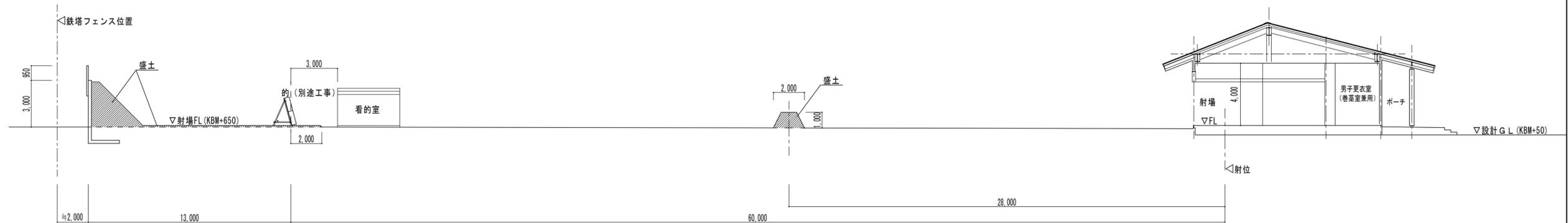


特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事 外構図(1)	NO. A-23 原図:A2
				設計		1/300		



矢止めコンクリート塀 展開図 1/30

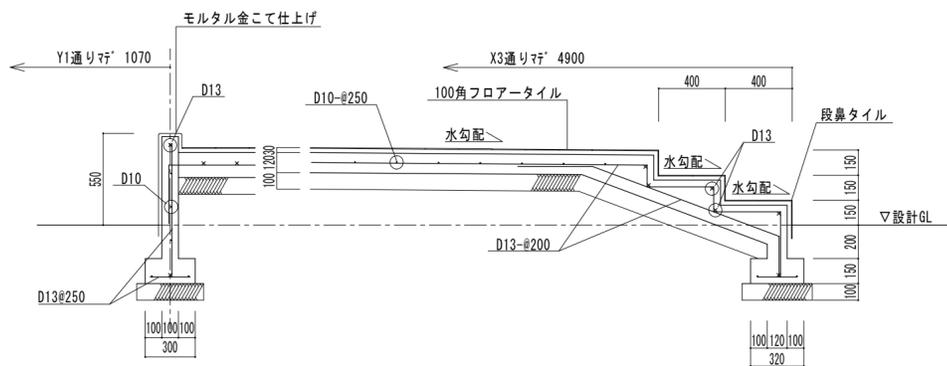
矢止めコンクリート塀 断面詳細図 1/50



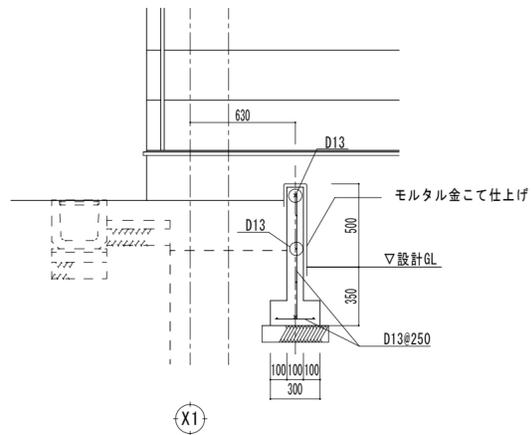
A-A 横断面図 1/200

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場 (遠的) 新築その他工事 外構図 (2)	NO. A-24 原図: A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/30		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		1/200		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

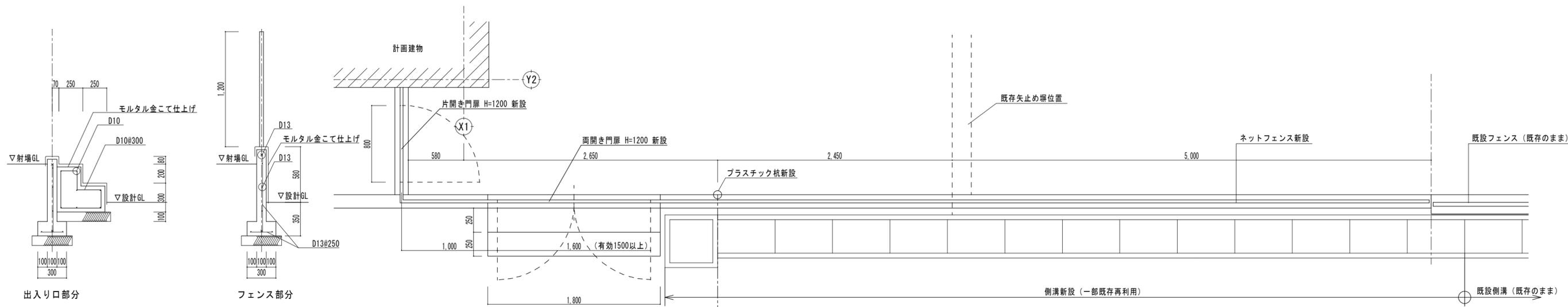
口部 詳細図 1/30



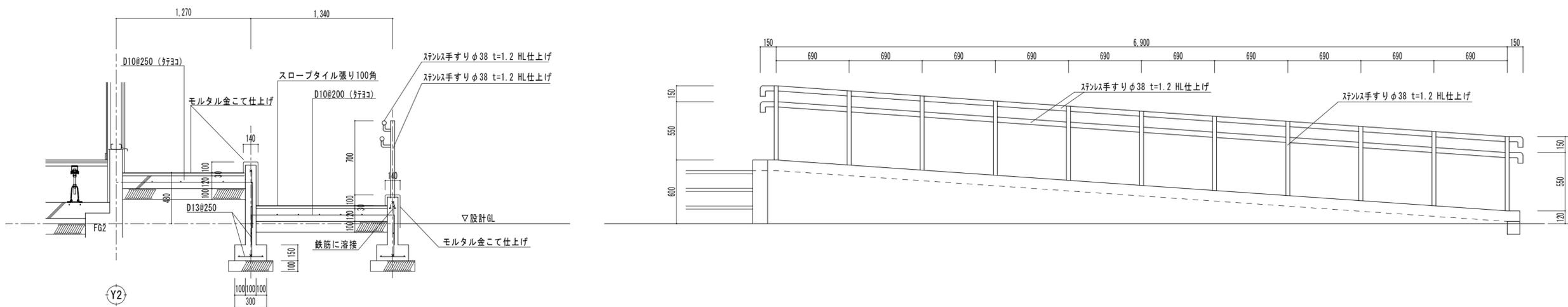
ハ部 詳細図 1/30



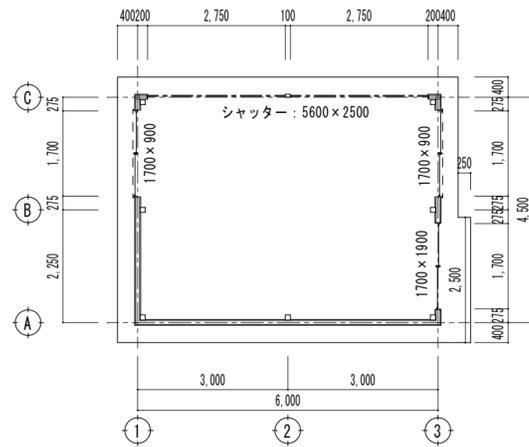
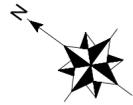
二部 詳細図 1/30



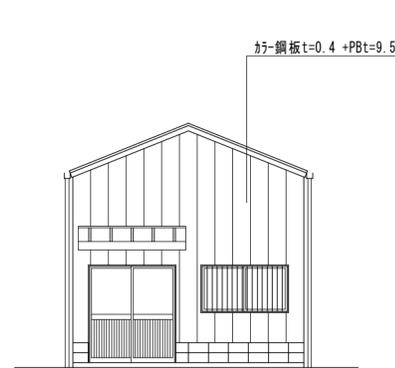
イ部 詳細図 1/30



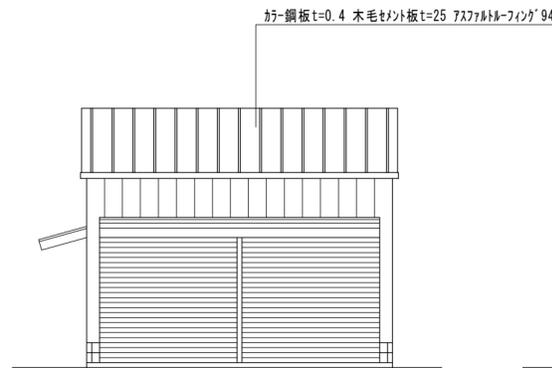
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事 外構図（3）	NO. A-25 原図：A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/100		
			一級建築士事務所		設計				
			登録番号(1)第2118号		一級建築士第248160号				



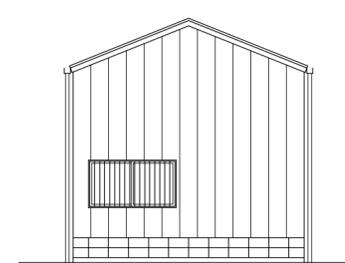
平面図 1/100



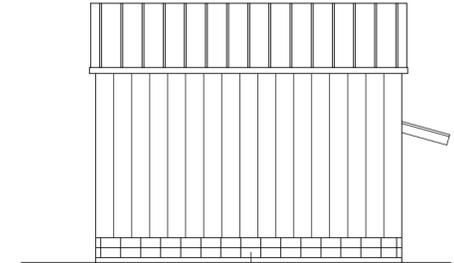
東立面図 1/100



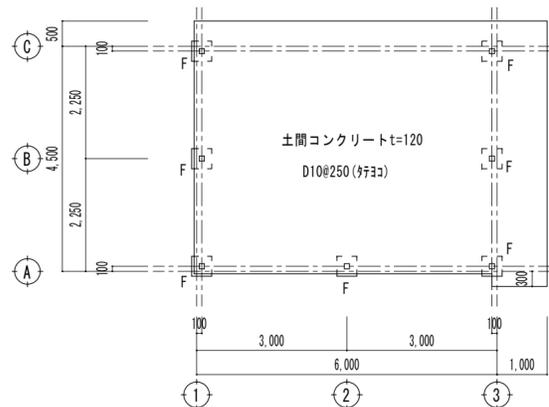
北立面図 1/100



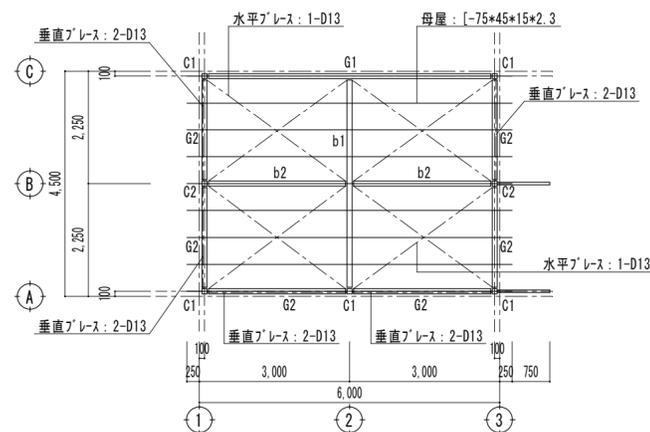
西立面図 1/100



南立面図 1/100

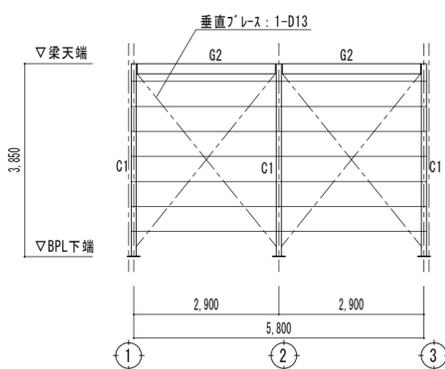


床伏図 1/100

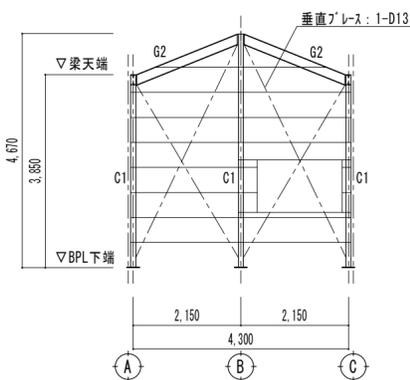


梁伏図 1/100

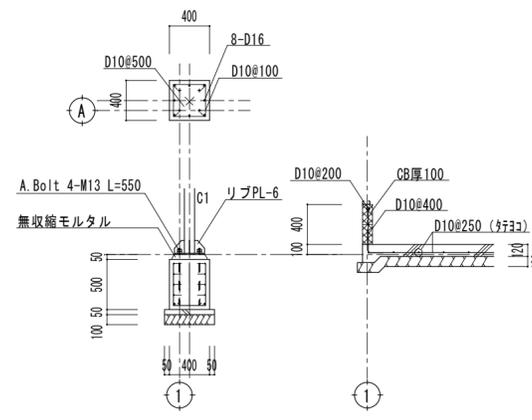
外部仕上				
屋根	カラー鋼板 t=0.4 縦ハゼ葺き 木毛セメント板 t=25 アスファルトルーフィング 940			
外壁	カラー鋼板 t=0.4 PB t=9.5 裏打ち			
樋	軒樋: 塩ビ製 W=120 縦樋: VU75φ			
建具	アルミサッシ、軽量シャッター			
内部仕上				
室名	床	壁	天井	備考
倉庫	土間コンクリート金こて仕上	腰: H=1975ﾌﾞﾗﾝｸ合板 t=12 その他: PB t=9 表わし	木毛セメント板 t=25 表わし	



A通り軸組図 1/100



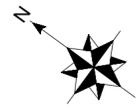
3通り軸組図 1/100



基礎詳細図 1/50

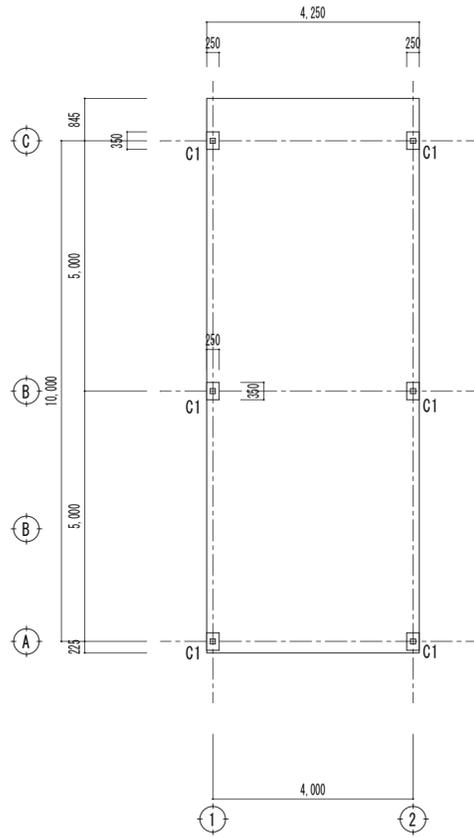
部材リスト

記号	材料	仕口
C1, 2	□ — 100×100×3.2	
G1	H — 200×100×5.5×8	GPL-6 2-M16
G2	H — 200×100×3.2×4.5	△
b1	△	△
b2	△	△
CG1	C — 100×50×20×3.2	溶接
母屋	C — 75×45×15×2.3	
胴縁	△	
ネコ	L — 75×75×6	
ブレース	13φ GPL-6 1-M16	

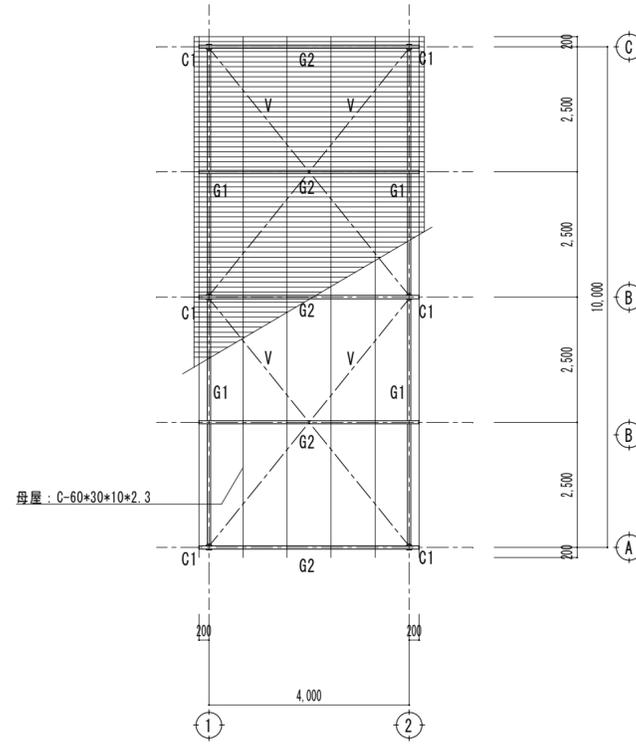


部材リスト

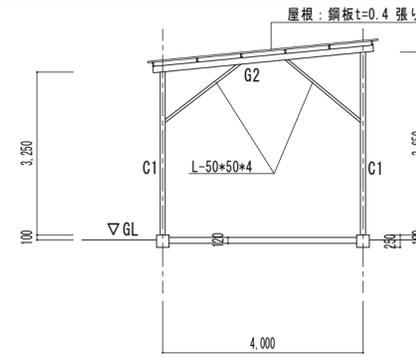
記号	材料
C1	□ - 100×100×3.2
G1	□ - 75×125×3.2
G2	□ - 75×75×3.2
母屋	C - 60×30×10×2.3
V	ブレース 1-13φ タンパ付



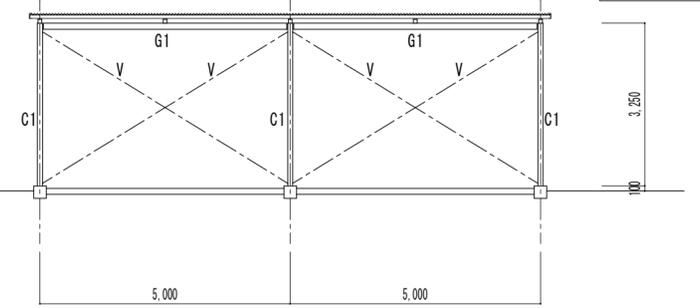
平面図 1/100



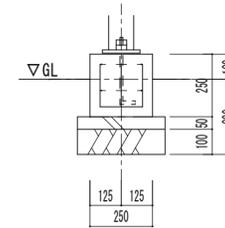
梁伏図 1/100



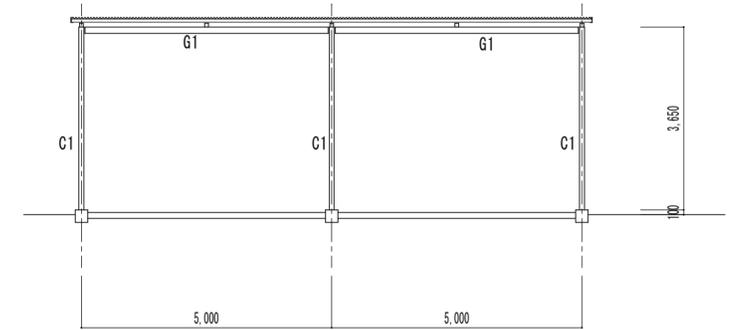
A, C 通り 軸組図 1/100



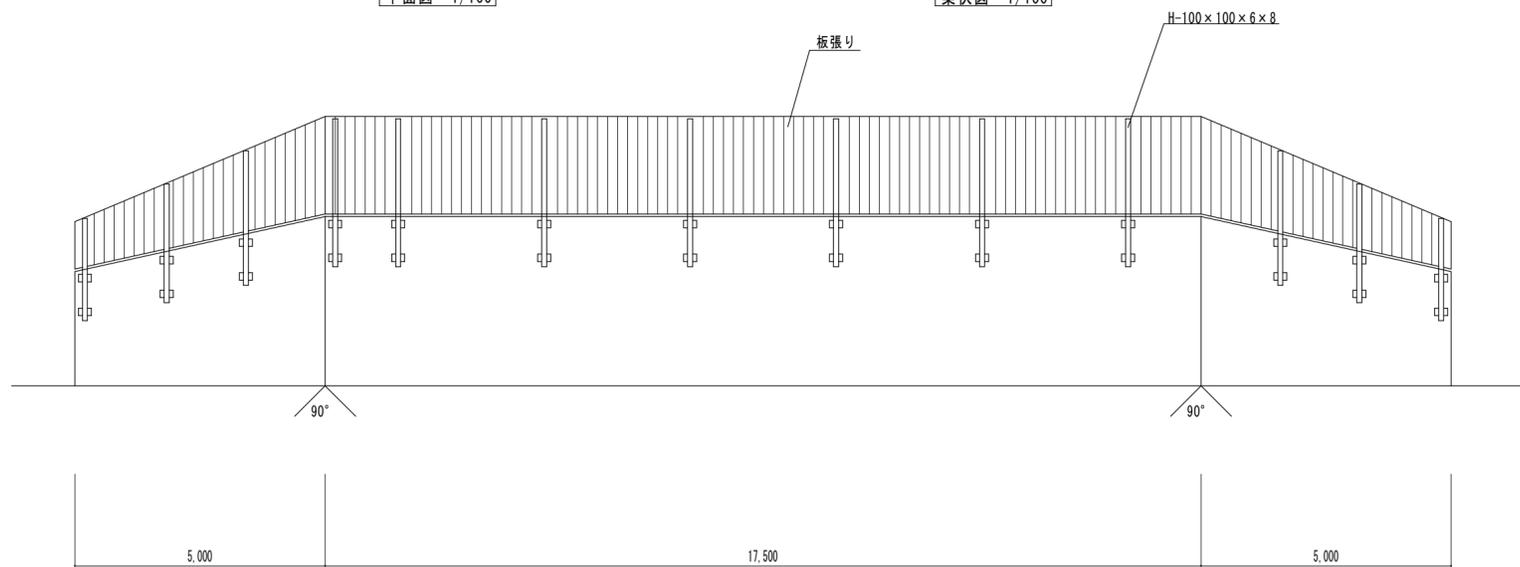
① 通り 軸組図 1/100



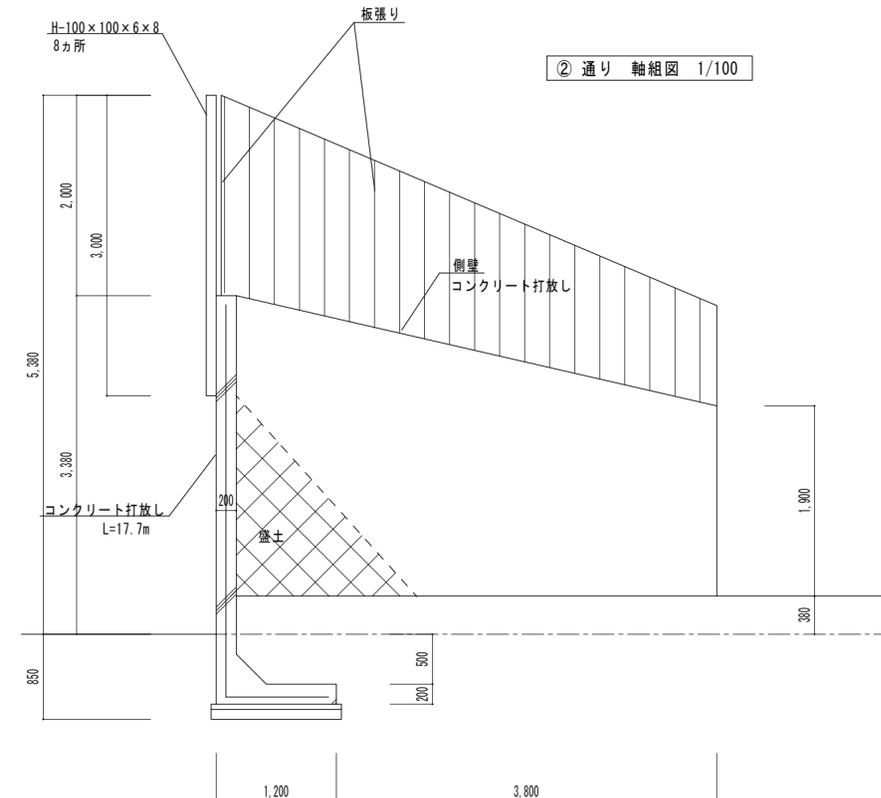
柱脚詳細図 1/20



② 通り 軸組図 1/100



的場 矢止め塀 展開図 1/100



的場 矢止め塀 断面図 1/50

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事 既設射場解体 平面図・構造図 既設的場矢止め塀解体 断面図	NO. A-29 原図: A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/50		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		1/100		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

構造設計概要

印は適用事項を示す。
 印は採用項目を示す。

1. 建物概要

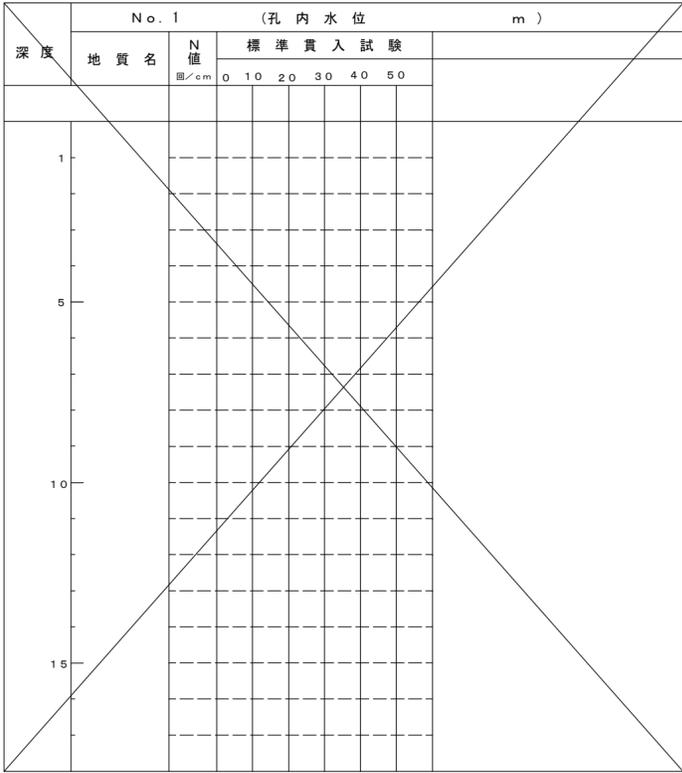
- (1) 工事種別
 新築 増築 増改築 改築
- (2) 構造種別
 鉄筋コンクリート造 (RC)
 鉄骨造 (S)
 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)
 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
 木造 (W)
- (3) 階数
地下 階 地上 1 階 塔屋 階
- (4) 屋上付属物
 広告塔 高架水槽 kN キュービクル kN
 太陽光パネル
- (5) 増築計画
 有 無
- (6) 付帯工事
 擁壁 門・扉 立体駐車場
- (7) 特殊荷重
 エレベーター (ロープ式 油圧式)
 受水槽 kN ホイストクレーン (吊荷 ton × 基)
 ダムウェーター
- (8) 設計ルート
X方向 ルート 2 Y方向 ルート 2

3. 適用図書

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築工事 共通仕様書
- 日本建築学会 各工事技術指針 (鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説)
- 日本建築センター 各設計施工指針

4. 地盤調査

- (1) 地盤調査資料
 有 (敷地内 近隣)
 ボーリング調査 静的貫入試験 標準貫入試験
 水平地盤反力係数の測定 土質試験 物理探査 平板載荷試験
 無
- (2) 地盤調査計画 (調査資料がある場合の再調査を含む)
 有 (敷地内 近隣)
 ボーリング調査 静的貫入試験 標準貫入試験
 水平地盤反力係数の測定 土質試験 物理探査 平板載荷試験
調査計画内容 (本工事に 含む 含まない)
調査深度 m 調査数 ヶ所
 無



5. 地業工事

(1) 基礎及びスラブ下地業 (単位mm)

場所	捨てコンクリート厚さ	※ (1)		厚さ					
		A : 砕石	B : 割栗石						
基礎	独立, 布	⊙*50	●60	●100	⊙*A	●B	*60	⊙100	●150
	ベタ	*50	●60	●100	*A	●B	*60	●100	●150
地中梁		⊙*50	●60	●100	⊙*A	●B	*60	⊙100	●150
構造スラブ		*50	●60	●100	*A	●B	*60	●100	●150
土間スラブ	屋内	*50	●60	●100	⊙*A	●B	*60	⊙100	●150
	屋外	●50	●60	●100	*A	●B	●60	*100	●150

- (2) 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭
- 1) 杭種 拡翼付鋼管杭
- PHC杭
 - ST杭
 - SC杭 t mm
 - PRC杭
 - 節杭
- 2) 工法 拡翼付鋼管杭回転工法
- 打撃工法
 - 埋込み工法
 - 油圧ハンマー
 - ディーゼルハンマー
 - プレボーリングセメントミルク注入工法
 - プレボーリング拡大根固め工法(認定工法)
 - 杭周固定液 *あり
 - なし
 - 中掘拡大根固め工法(認定工法)
 - 回転埋設根固め工法(認定工法)

(3) 杭径、設計耐力、本数表

杭径(底部)mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備考
190.7 ()	188	376	564	14	
()					

(4) 杭の構成は設計図による。

- (5) 杭頭補強
- かご筋
 - スタッド溶接
 - 杭外周溶接

6. 主な試験、検査

(下記の結果は、後日工事監理者に報告する事。)

業	項目	備考
地	平板載荷試験	
	くい載荷試験(鉛直)	
業	試掘	
	ためし練り試験	レミコンの標準品は行わない
コンクリート	<input type="checkbox"/> 圧縮強度試験	供試体による
	<input type="checkbox"/> 打込み直前における品質検査(スランプ、空気量、温度、単位容積重量、強度推定のための圧縮強度)	
鉄	材料試験	
	ガス圧接工技量確認試験	
筋	ガス圧接部引張試験	
	<input type="checkbox"/> ガス圧接部超音波探傷検査	
鉄	材料試験	
	工場溶接工技量確認試験	
骨	高力ボルトのすべり係数試験	
	<input type="checkbox"/> 工場溶接部の超音波探傷検査	
骨	工場溶接工技量確認試験	
	工場溶接部の超音波探傷検査	

鉄骨溶接部の超音波探傷試験について
検査機関 第三者 A0QL 4.0% 第6水準
 社内 100%

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者、工事施工者が受け入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社を言う。
現場溶接部については、原則として全数検査を行う。

7. 鉄筋コンクリート工事

- コンクリートはJIS認定工場製の製品とし、施工に関してはJASS5による。(最新版)
- コンクリートの品質基準強度は、設計基準強度もしくは耐久設計基準強度のうち、大きい方の値とする。
- セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
- 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得る事。
- 鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。
- 鉄筋継手のガス圧接は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- 施工(コンクリート、鉄筋、型枠等)はJASS5及び建築工事監理指針に準拠すること。

8. 鉄骨工事

- 鉄骨工事は、日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」による。
- 工事監理者の承認を必要とするもの
 - 製作工場
 - 建設省告示第1103号による認定工場は R グレード以上とすること。
 - 製作要領書
 - 工作図
 - 施工計画書
 - 溶接工事作業計画書
 - 材料規格証明書
 -
- 工事監理者が行う検査(監理者の承認の上、省略可)
 - 現寸検査
 - 組立・開先検査
 - 製品検査
 - 建方検査
 -
- 錆止め塗装
 - JIS K5674、2回塗りとする。
 - JIS H8641 溶融亜鉛めっき(部位は意匠図参照)

9. 令129条の2の4の事項

- 建築物に設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
- 建築設備(昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
 - 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
 - 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支柱を設けたものを除き、90cm以下とすること。
 - 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
- 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
- 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
 - 建築物の部分を通って配管する場合には、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等の有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずる恐れがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の振動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
 - 給湯設備(満水時の質量が15kgを超えるもの)については平12建設第1388号第5の規定を満たすこと。

- 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

10. その他

- 諸官庁への届出書類は遅延なく提出すること。
- 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事	NO.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所		一級建築士第248160号	設計		構造特記仕様書	S-01
			登録番号(1) 2118号		内田 貴之				

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
 (2) 記号
 d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
 @...間隔 r...半径 C...中心線 l...部材の内寸法距離 h...部材の内法高さ
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S.HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180	135	90
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上			

※折角90°ベスラフ、鉄筋の末端部またはスラブと同時に打ち込む際および別製のカップタイにのみ用いる。
 ※折角スラブ、上階部の先端

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折り曲げ角度90°以下

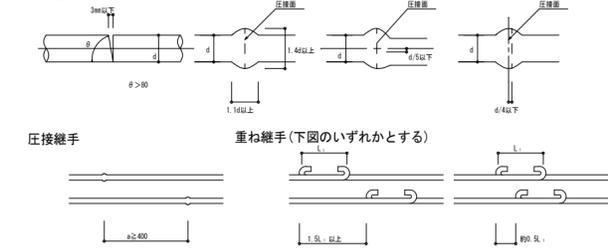
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内の寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ以下 D16 19φ以上 D19	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ以下 19φ~25φ D19~D25 28φ~32φ D29~D38	6d以上 8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L ₁)
		一般(L ₁)		
		小梁	スラブ	
SD295A SD295B	21以下	40d または 30d フックつき	20d または 10d フックつき	45d または 35d フックつき
	24.27	35d または 25d フックつき	10d かつ 15cm以上	40d または 30d フックつき
SD345	21以下	45d または 30d フックつき	20d または 10d フックつき	50d または 35d フックつき
	24.27	40d または 30d フックつき	10d かつ 15cm以上	45d または 35d フックつき

継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない



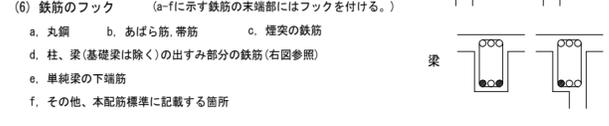
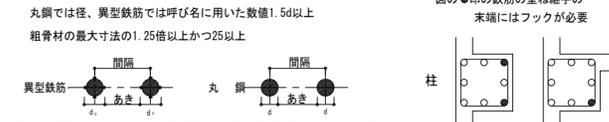
(4) かぶり厚さ (単位: mm)

ひびわれ防止、目地部など鉄筋のかぶり厚さが不足する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

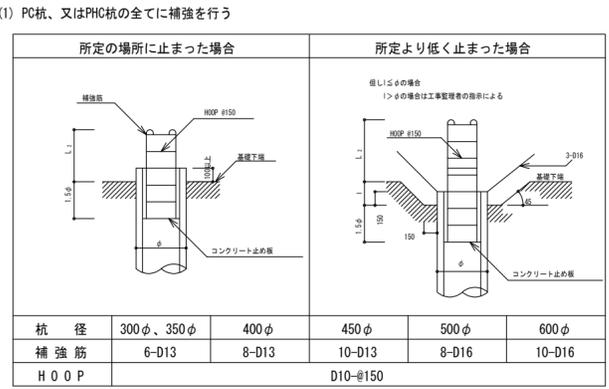
部位	設計かぶり厚さ (mm)		最小かぶり厚さ (mm)	
	設計	最小	設計	最小
土に接しない部分	屋根スラブ	30	30	30
	床スラブ	40	40	30(20)
	壁	40	40	30
	柱	50	40	30
土に接する部分	柱・梁・スラブ・耐力壁	50	40	40
	基礎	70	60	60
	壁	50	40	40
	基礎	70	60	60

(注) (1) 耐久性向上のための場合、工事監督者の承認を受けて30mmとすることができる。
 (2) 耐久性向上のための場合、工事監督者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (3) コーティングの処理は、施工方法に準じ、工事監督者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しとする。
 (5) 1階以上の場合は、10mm増しとする。
 (6) 土に接する部分のかぶりは確保する厚さを行増しとする。

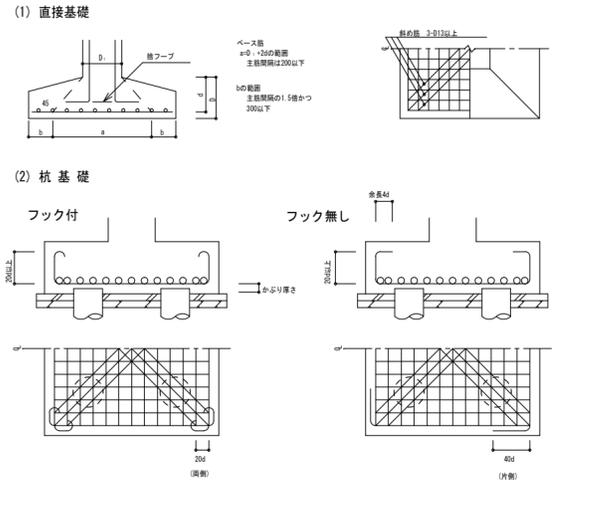
(5) 鉄筋のあき



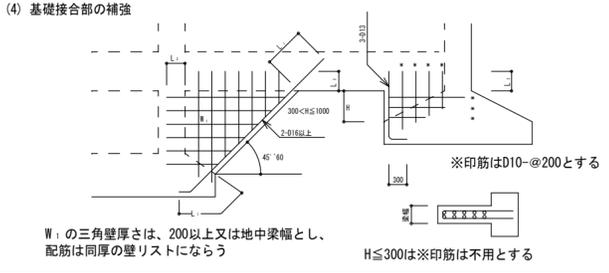
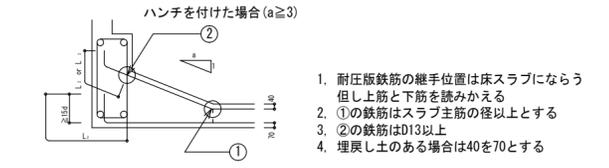
3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)



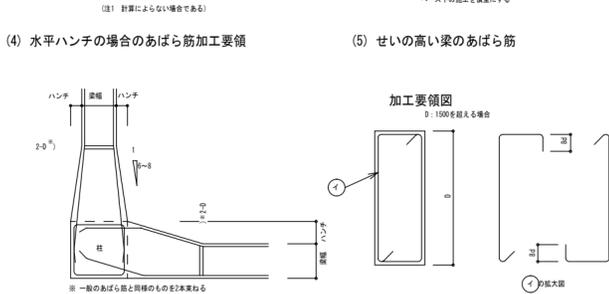
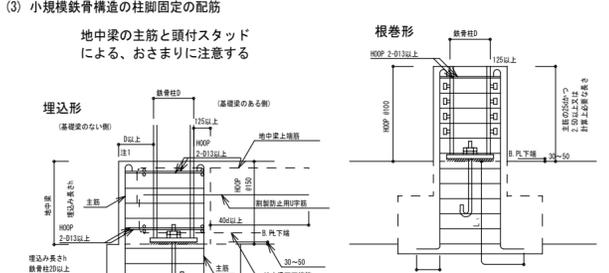
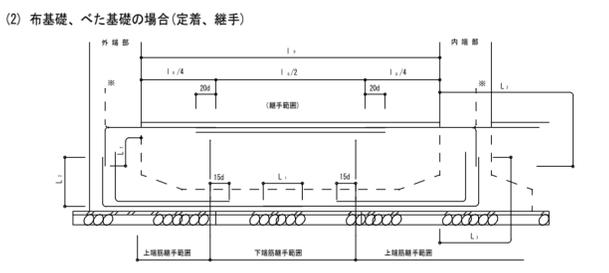
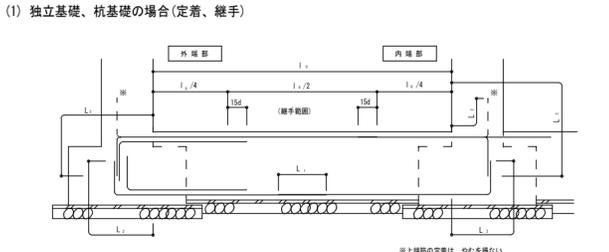
4. 基礎



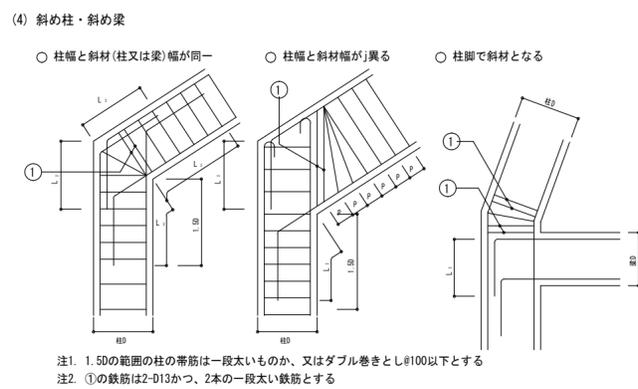
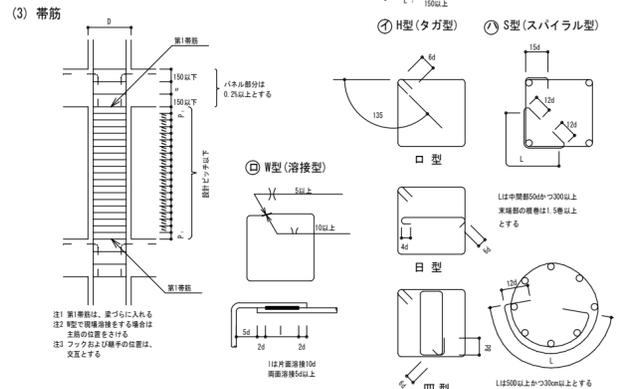
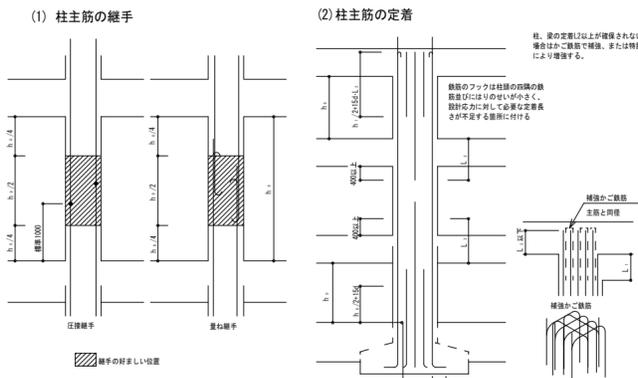
(3) ベタ基礎



5. 地中梁



6. 柱

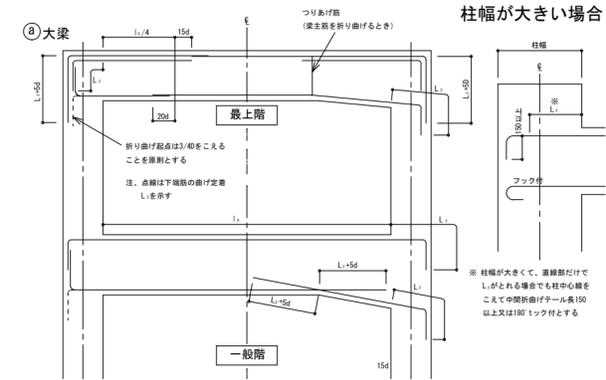


鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

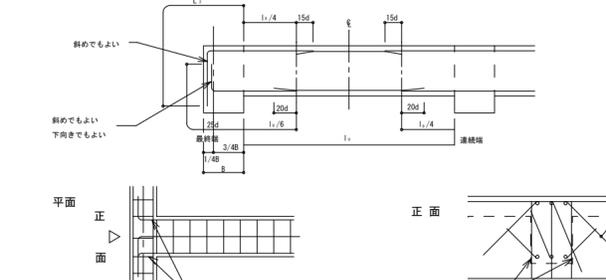
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

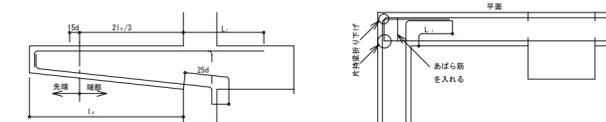
(1) 定着



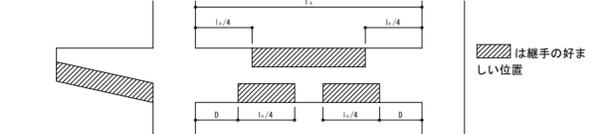
(2) 小梁の定着



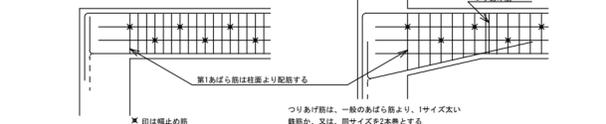
(3) 片持梁の定着



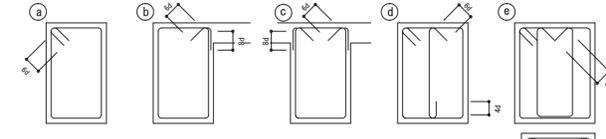
(2) 大梁主筋の継手



(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



(4) あばら筋の型 (注: 床板がない場合は135°以上のフックとする)

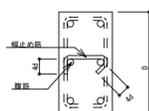


(イ) 原則として(a)のフック先曲げとする。片側床板付(L型)梁で(b)、両側床板付(T型)梁で(c)又は(d)とすることができる。

(ロ) フックの位置は(a)にあつては交互、(b)にあつてはスラブ側とする。

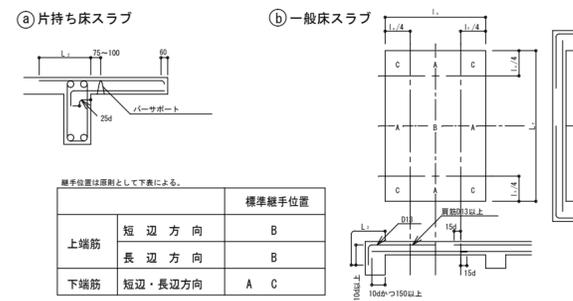
(5) 幅止め筋の本数、加工

腹筋	D<600 不要 600≦D<900 2-D10(9φ) 1段 900≦D<1200 4-D10(9φ) 2段 1200≦D D10(9φ) #300以内
幅止め筋	D10(9φ) #1000位内で割り付ける

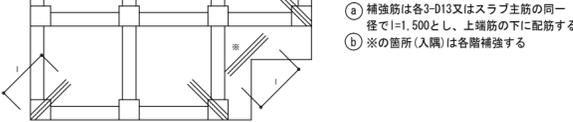


8. 床板

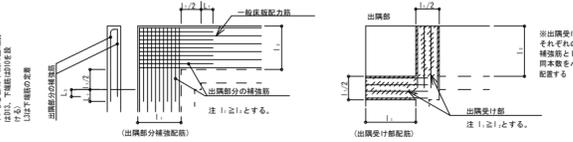
(1) 定着および継手



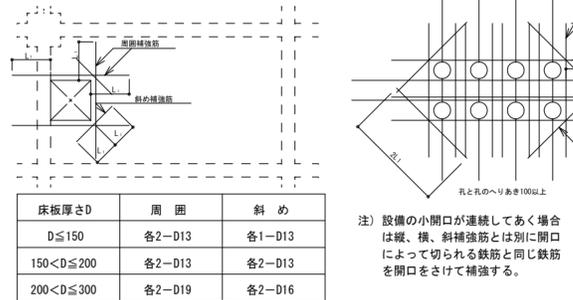
(2) 屋根スラブの補強



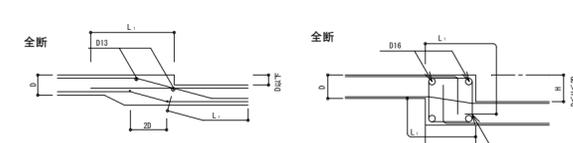
(3) 片持ちスラブ出隅部補強



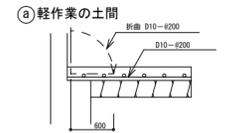
(4) 床板開口部の補強(開口の径500程度の場合)



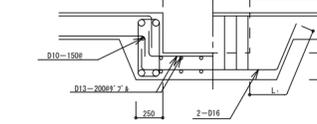
(5) 床板段差



(6) 土間コンクリート



(7) 釜場

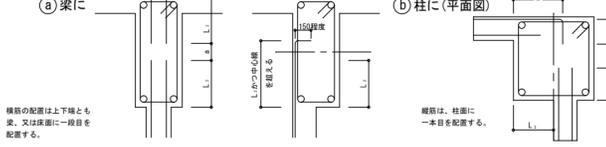


(8) 打継ぎ補強(ダマ穴打継面について)

・設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L以上
 ・無筋部分D10-#200 長さ800以上

9. 壁

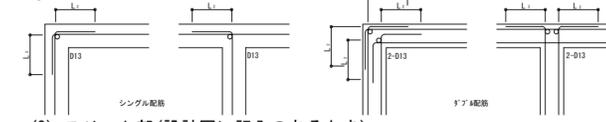
(1) 定着



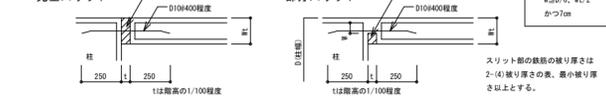
(2) 床に



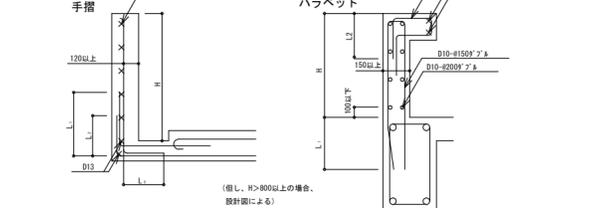
(3) 壁と壁(平面図)



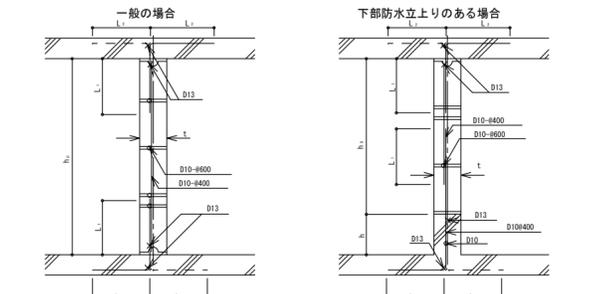
(2) スリット部(設計図に記入のあるとき)



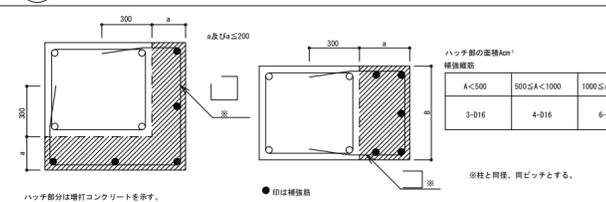
(3) 手摺、パラベット



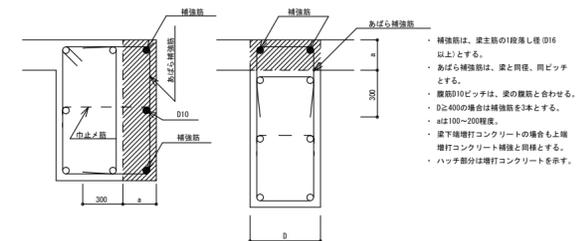
(4) コンクリートブロック帳壁



10. 柱、梁増打コンクリート補強 (増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打ち合わせのこと)



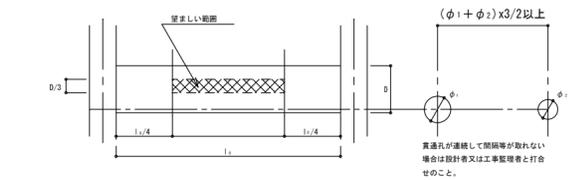
(2) 梁



11. 梁貫通孔補強

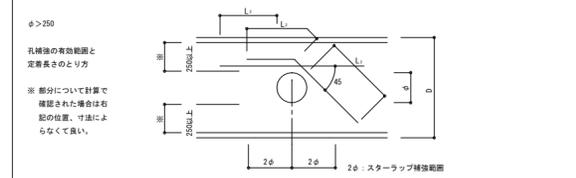
(1) 設置可能範囲

梁端部(スパン $l_0/10$ 以内かつ2D以内)は原則としてさける



(2) 鉄筋標準配筋 但し、φ≦D/3とする

80≦φ≦100 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST2-D13	100<φ≦150 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST2-D13-50# 横筋 2-(2-D13) 上・下 縦筋 ST2-D13-50#	150<φ≦250 斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST2-D13-50# 横筋 2-(2-D13) 上・下 縦筋 ST2-D13-50#
--	---	---



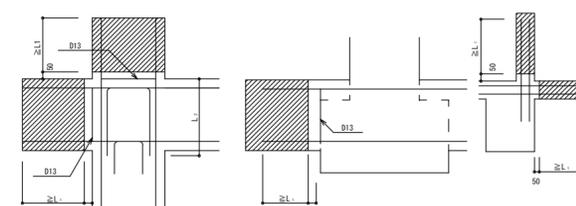
(3) 既製品 (使用するとき、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

ウェブレン、ダイヤレン 等 日本建築センター評価取得品とする。施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

リング型 パイプ型 金網型 プレート型

12. 増築予定 (将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する)

(1) 柱、梁 (2) 地中梁 (3) 床版、壁



鉄骨構造工作標準図

§ 1. 一般事項

・使用材料はすべて規格品とする。

H形鋼 S S 4 0 0 角形鋼管 S T K R 4 0 0 軽量形鋼 S S C 4 0 0 柱ダイヤフラム S S 4 0 0
一般構造用鋼管 S T K 4 0 0
高力ボルト S - 1 0 T トルシャープ型

丸鋼ブレース J I S 規格品

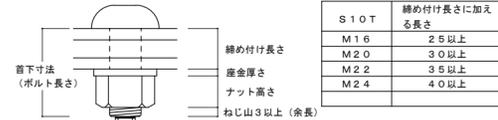
本図に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。

・設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
・本標準図における単位はすべてmmとする。
・精度に関しては、J A S 6 の付則 6 「鉄骨精度検査基準」による。

§ 2. 共通事項

- ・ A B アンカーボルト
- ・ B R ベースプレート
- ・ C R カバープレート
- ・ F R フラジプレート
- ・ H T B 高力ボルト
- ・ T B タンバック
- ・ W 1 - s 溶接記号 (§ 4 参照)
- ・ B H 組立てH形鋼
- ・ C H R チェッカープレート
- ・ F B フラットバー
- ・ G R ガセットプレート
- ・ S R スプラインプレート
- ・ W R ウェブプレート

§ 3. ボルト接合

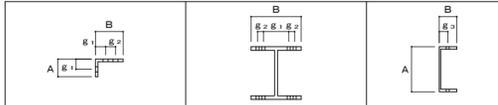


・ H T B はすべて S 1 0 T (トルシャープ高力ボルト) を使用し、スベリ係数は 0.45 とする。
・ ボルト接合面の処理
締め付け摩擦面は母材に於いては平グラインダー掛け、スプラインプレートに於いてはショット掛けを行い、黒皮を除去し一様に赤錆を生じさせる。



呼び径	M16	M20	M22	M24
孔径	18.0	22.0	24.0	26.0
標準ピッチ	60	60	60	70
最小ピッチ	40	50	55	60
はしあき	40(40)	40(50)	40(55)	45(60)
へりあき	25	30	35	40

・ () 内はボルトが応力方向に3本以上並べない場合をしめす。



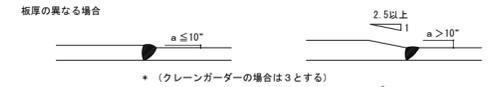
A or B	g ₁	g ₂	最大軸径	B	g ₁	g ₂	最大軸径	B	g ₁	g ₂	最大軸径
● 50	30	16	● 100	60	16	● 50	30	16	60	16	● 100
60	35	16	125	75	16	65	35	20	65	35	20
65	35	20	150	90	22	70	40	20	70	40	20
70	40	20	175	105	22	75	40	22	75	40	22
75	40	22	200	120	24	80	45	22	80	45	22
80	45	22	250	150	24	90	50	24	90	50	24
90	50	24	● 300	150	40	24	100	55	24	100	55
100	55	24	350	140	70	24					
125	50	35	24	400	140	90	24				
130	50	40	24								
150	55	55	24								
175	60	70	24								
200	60	90	24								

・ B = 300 は平鳥打ちとする。
・ *印の欄の g および最大軸径の値は強度上支障がないとき最小規格値の規定にかかわらず用いることができる。

§ 4. 溶接接合



4-2 突合せ溶接



エンドタブ
両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
その長さ l は 35 以上かつ薄い方の板厚の2倍以上とする。
代替タブを採用する場合は溶接仕様付加試験に合格した溶接工によること。

スカールップ (改良スカールップ)
R1=35, R2=10 を標準とする。
継手円は滑らかに仕上ること。

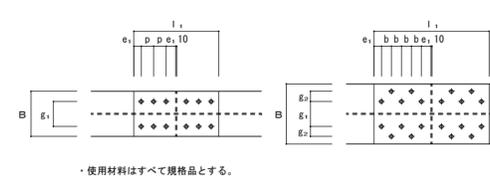
4-3 開先形状

記号	形状	適用板厚	寸法
W ₂ (MC-B-L-B1)		6 < t ≤ 12	g 7 ± 0.5 r 2 ± 0.5 α ₁ 45° - 5° r 9 ± 0.5
		12 < t ≤ 32	g 9 ± 0.5 r 2 ± 0.5 α ₁ 35° - 5° r 0 ± 0.5
W ₃ (MC-B-L-2)		6 < t ≤ 19	g 7 ± 0.5 r 2 ± 0.5 α ₁ 45° - 5°
		19 < t ≤ 32	g 9 ± 0.5 r 2 ± 0.5 α ₁ 45° - 5° α ₂ 60° - 5° g T - 2
W ₄ (MC-B-K-2)		6 < t ≤ 12	g 7 ± 0.5 r 2 ± 0.5 α ₁ 45° - 5° α ₂ 60° - 5° g T - 2
		12 < t ≤ 32	g 9 ± 0.5 r 2 ± 0.5 α ₁ 35° - 5° α ₂ 60° - 5° g T - 2
W ₅ (MC-B1-B1)		6 < t ≤ 12	g 7 ± 0.5 r 2 ± 0.5 α ₁ 45° - 5° α ₂ 60° - 5° g T - 2
		12 < t ≤ 32	g 9 ± 0.5 r 2 ± 0.5 α ₁ 35° - 5° α ₂ 60° - 5° g T - 2

・ 上図は手溶接の隅肉又は完全溶込みグループ溶接の場合を示す。
但し、半自動溶接および自動溶接にて施工する場合は別途指示とする。

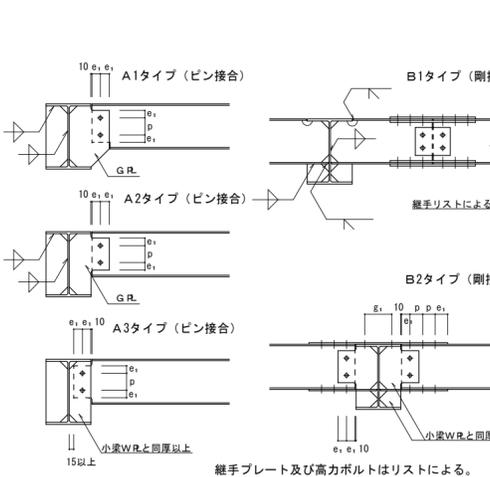
5-1 継手リスト

継手・仕口のボルト本数は別図参照。

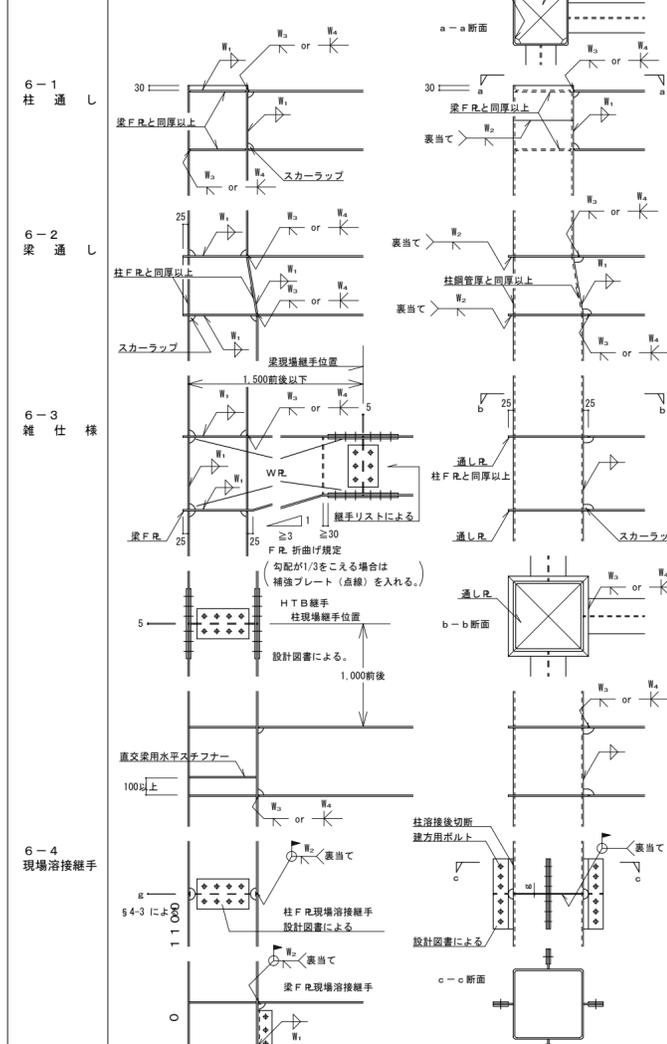


5-2 仕口リスト

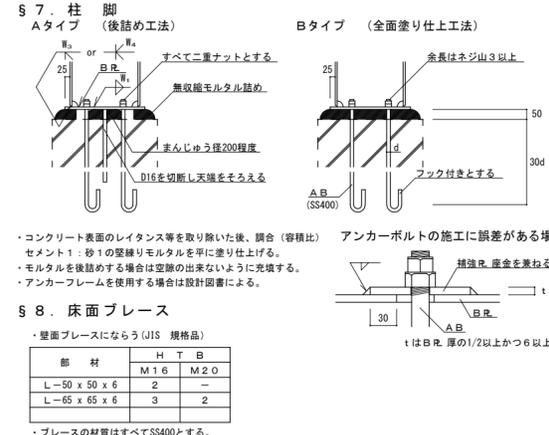
本図に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。
ファイアープレート
F R, W R 面で段差が 1 をこえる場合は、ファイアープレートを入れる。



§ 6. 柱梁接合部および継手



7-1 柱脚ピン



9-1 丸鋼

J I S 規格品標準

タイプ	部材	羽子板	溶接
A	M12	F B - 4.5 x 40 x 135	1-M12 6 6 40 6 55
	M16	F B - 6 x 52 x 170	1-M16 9 7 55 6 75
A	M20	F B - 9 x 67 x 205	1-M20 9 8 75 8 80
	M22	F B - 9 x 77 x 230	1-M22 9 9 85 8 90
B	M24	F B - 9 x 77 x 270	2-M20 12 10 85 10 105

P = 5.0

9-2 山形鋼

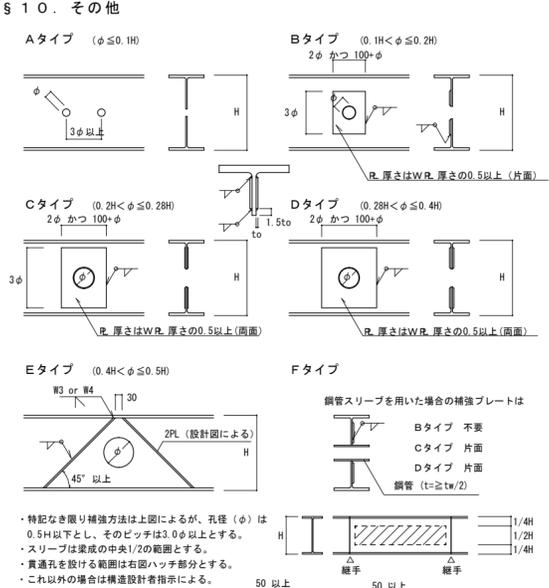
(注) 9-2 の点線は第1ボルトから軸線より30°の範囲を示す。

部材	H	T	B	溶接
L-65 x 65 x 6	6	16	4	140
L-75 x 75 x 6	6	16	4	160
L-75 x 75 x 9	6	16	5	220
L-90 x 90 x 7	9	20	4	190
L-90 x 90 x 10	9	20	5	260
L-100 x 100 x 10	9	20	5	290
L-100 x 100 x 10	12	20	5	540

(注) ・サイズ S : G R - 6 の場合 S = 6, G R - 9 以上の場合 S = 7

・ブレースの材質はすべてSS400とする。

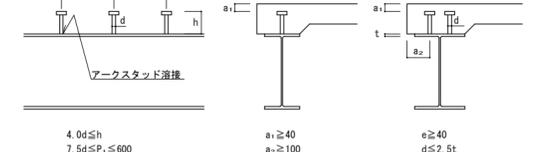
10-1 貫通補強



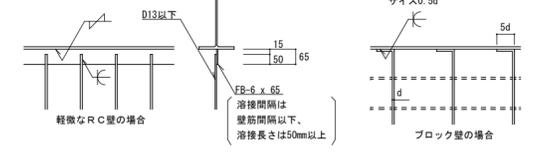
10-2 ティッププレート



10-3 スタッドナット

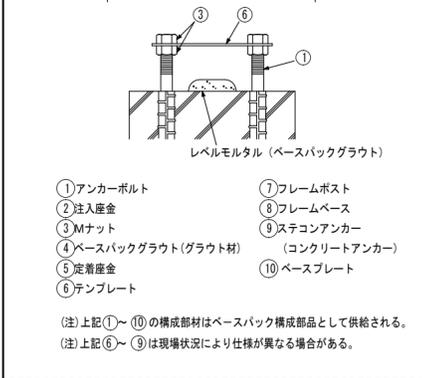
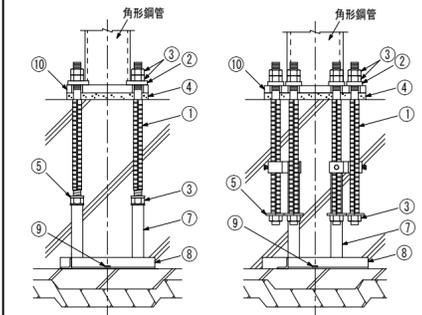


10-4 壁筋の溶接

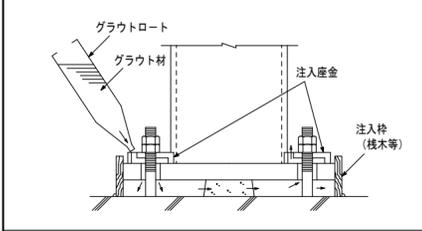


1. 工法概要

1.1 構成部材



1.2 柱脚の定着方法概要

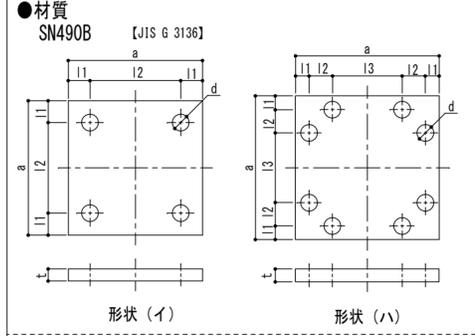


2. 柱

F値(N/mm ²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	○

3. 構成部材・寸法

3.1 ベースプレート



3.3 Mナット

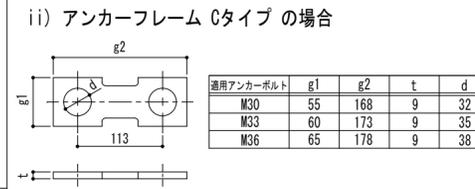
【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

3.4 定着座金



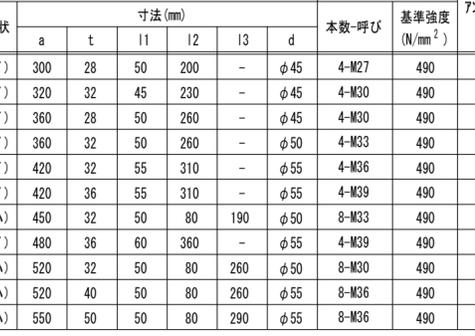
3.5 注入座金



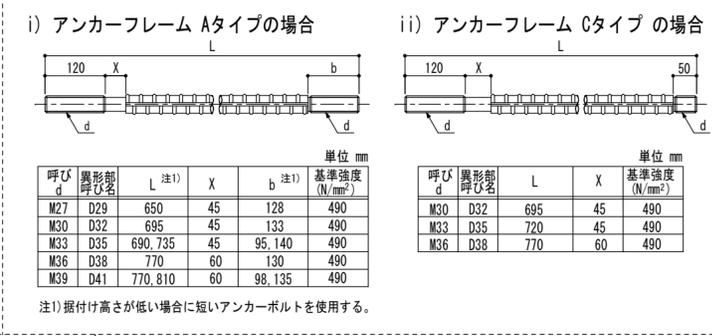
3.6 フレームベース



3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法



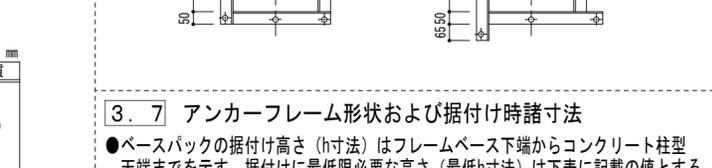
3.2 アンカーボルト (Mアンカーボルト) 【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】



3.8 鉄筋

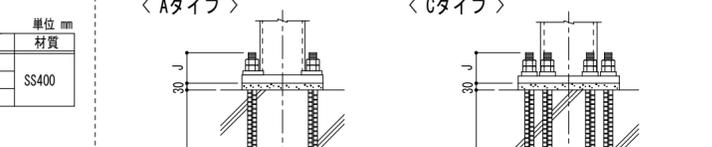
●鉄筋 SD295 (D13, D16) SD345 (D19, D22)

3.9 基礎上がり

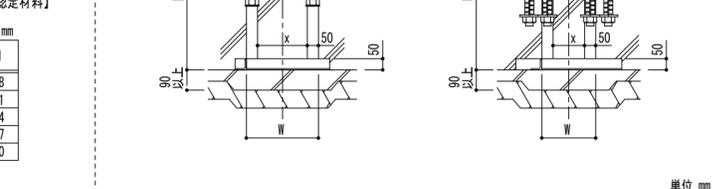


4. コンクリート柱型

4.1 形状・材質



4.2 配筋



4.3 基礎上がり



5. 工場製作 (溶接)

■組立

●ベースプレートの中心線(がき線)に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法 (完全溶込み溶接)

●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の開先標準 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より)

図	溶接方法	溶接板厚 T (mm)	ルート間隔 G (mm)		ルート面 R (mm)		開先角度 α1 (°)		溶接姿勢
			標準値	許容差	標準値	許容差	標準値	許容差	
被覆アーク溶接	ガスマシナードアーク溶接	6~	7	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 45	-2.5,+0 (-5,+0)	下向き
			9	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 35	-2.5,+0 (-5,+0)	下向き
被覆アーク溶接	ガスマシナードアーク溶接	6~	6	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 45	-2.5,+0 (-5,+0)	下向き
			7	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 35	-2.5,+0 (-5,+0)	下向き

許容差・記号+0は制限無しを示す。
2段階書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差(上段:管理許容差、下段括弧内:限界許容差)を示す。

■ベースプレートの予熱

●気温(鋼材表面温度)が5℃以上のベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm)		
		t<32	32≤t<40	40≤t≤50
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	予熱なし	50℃	50℃
	SN490B	予熱なし	予熱なし	予熱なし

●検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

●施工管理: 7. 本工法の施工及び施工管理参照。

6. 工事場施工

6.1 基礎工事

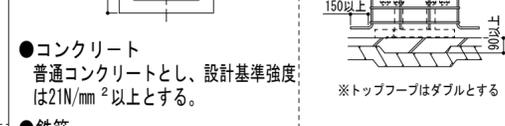
●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

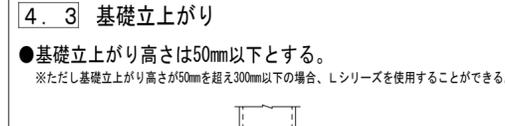
●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



6.3 配筋およびコンクリート打設

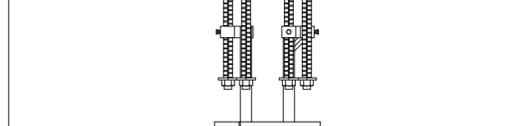
●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。



6.4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト(グラウト材)を使用し大きさは右図による。



6.5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6.6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0~1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

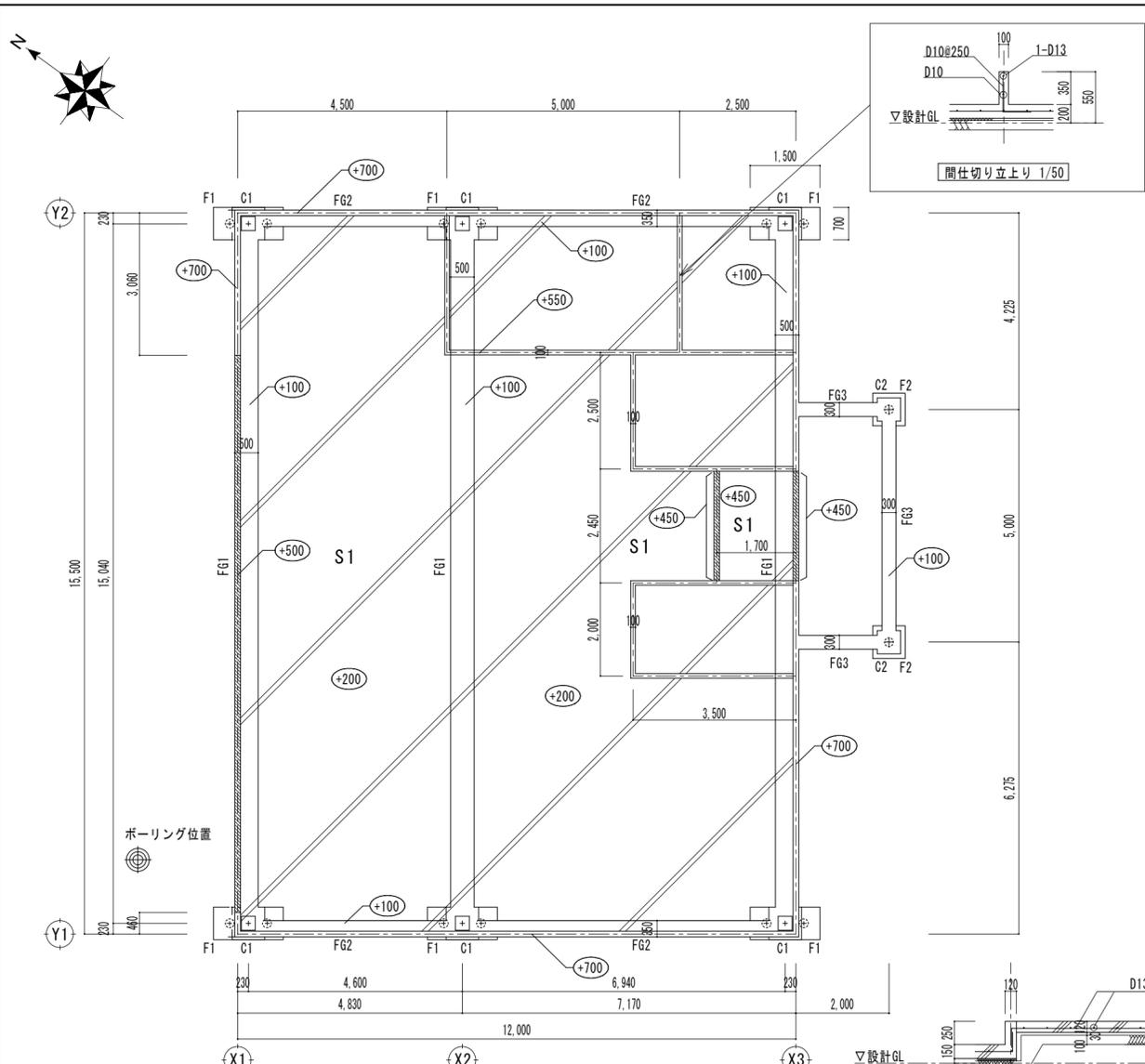
●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6.2アンカーボルト据付け及び6.6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースパック施工管理技術者・施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。



基礎伏図 1/100 (***): 設計GLよりの高さを示す
 ⊕: 鋼管杭を示す。
 ⊙: 一本目を試験杭とする。

地中梁リスト 1/50

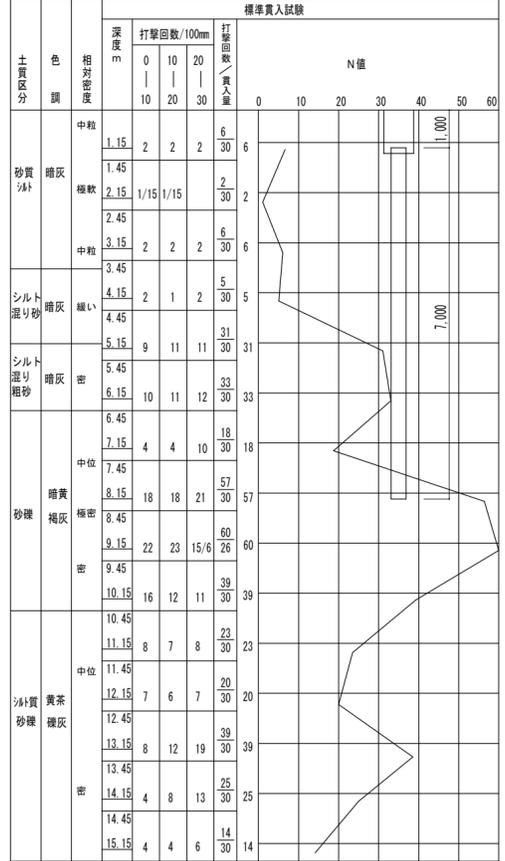
符号	FG1	FG2	FG3
位置	全断面	全断面	全断面
断面			
上端筋	7-D22	3-D22	3-D16
下端筋	7-D22	3-D22	3-D16
S T P	D-13@200	D-13@200	D-10@200
腹筋	4-D13	2-D13	
巾止筋		D10@1000以内	

柱脚リスト

符号	C1	C2
位置	全断面	全断面
断面		
上端筋	12-D22	8-D19
HOOP	D13@100	D10@100
柱アンカー	ベースバック 30-12V	
		BPL-25 リブPL-9 H=150 A. Bolt 4-M16 L=500 (ABR400 JIS B 1220) 定着板 50×50 t=9 (4カ所)

※ S1: 土間コンクリート t=150 D13@250 (ﾀﾞｲﾚｸﾄ S)

No. 2



※ コンクリート施工方法等は
 公共建築工事標準仕様書による
 ※ 設計コンクリート強度 $F_c=21N/mm^2$
 ※ 鉄筋 SD295A D16以下
 鉄筋 SD345 D19以上

拡翼付鋼管杭回転工法特記仕様書

1. 工事概要
 本工法は拡翼付鋼管杭を回転貫入させ、所定の支持地盤にて支持力を発現させる工法である。
2. 特記概要
 1. 本工事の施工業者は、拡翼付鋼管杭回転工法の施工技術に精通したものとす。
 2. 軸径、拡翼径、貫入深度、本数、配置等は設計図による。
 3. 鋼管材料はSTK400 (同等以上) とする。
 4. 施工は拡翼の回転時に発生する推進力と、必要に応じて圧入力を加えて貫入させる事。
 5. 打止めは地盤調査結果を照合し、回転トルクを確認した後、打止めとする。
 6. 施工機械は、施工データを記録できる装置 (施工管理計測器) を装備したもので、自走式とする。

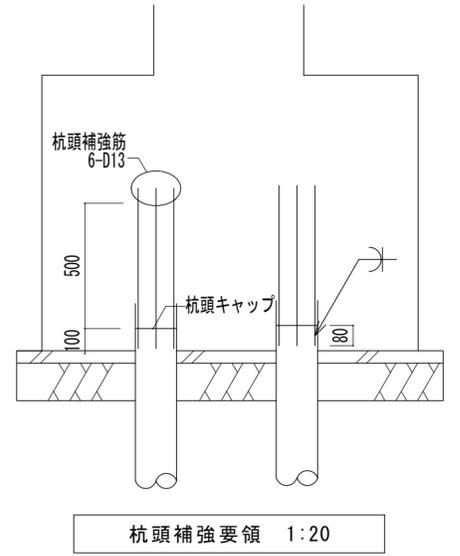
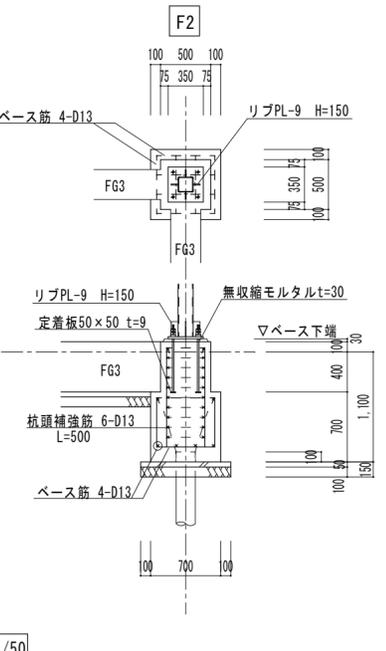
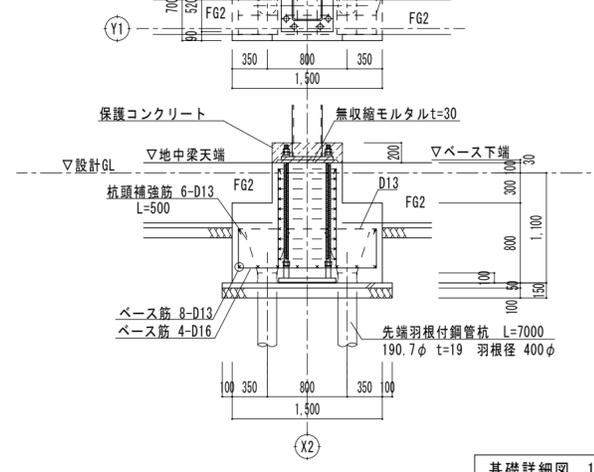
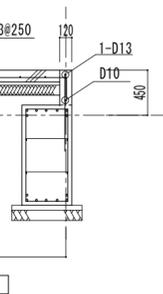
3. 一般事項

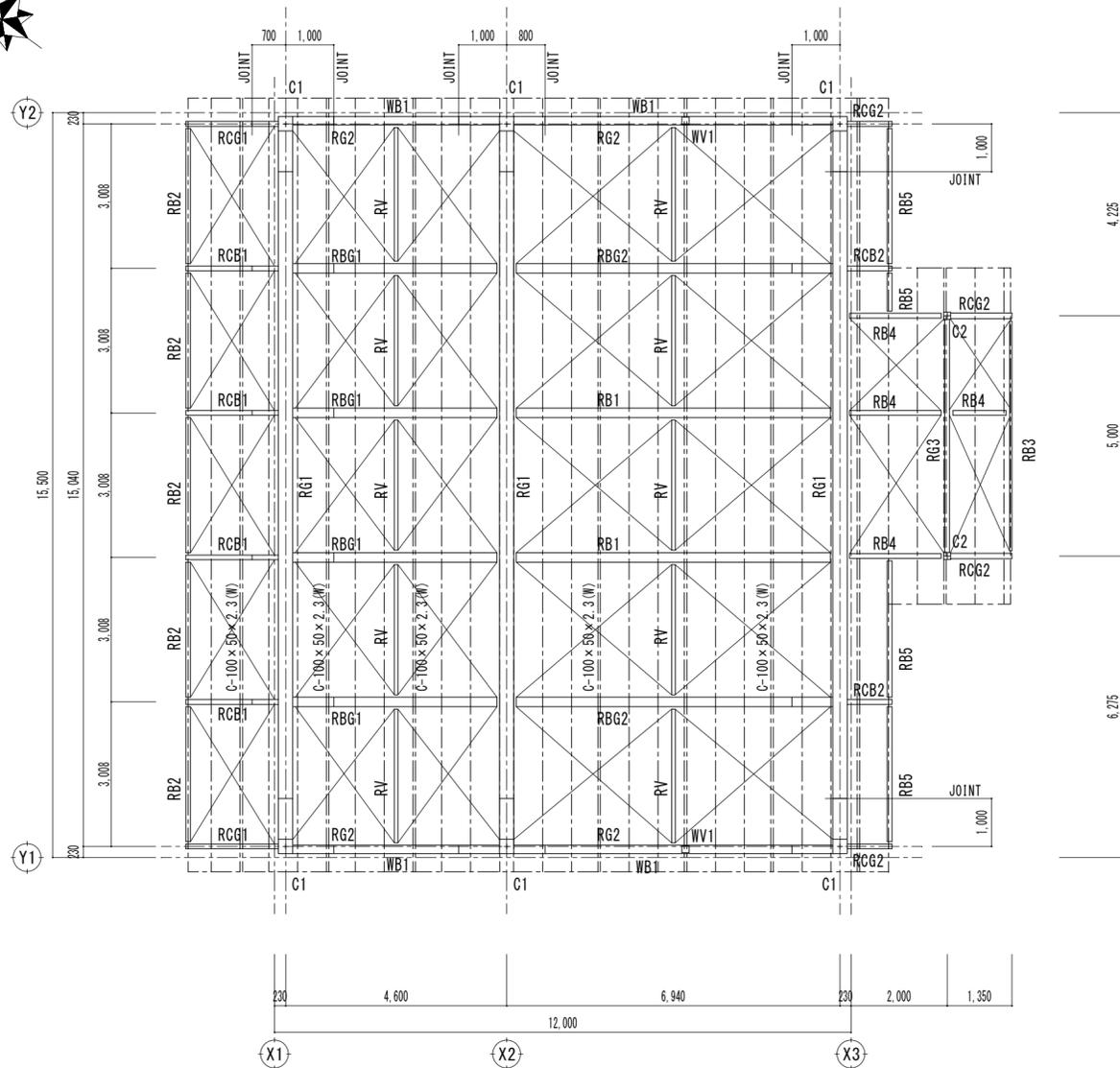
1. 拡翼付鋼管杭数量表

鋼管杭径 (mm)	鋼管杭厚さ (mm)	拡翼径 (mm)	拡翼厚さ (mm)	施工長 (m)	セット
190.7	19.0	400	25	7.0	14

2. 工事に先立ち、「基礎杭施工計画書」を監督員に提出する。
 施工計画書は以下の項目について詳細に記載し、杭全数の施工記録を整備保管する。
- ①杭、その他使用する材料の規格・品質確認の方法
 - ②材料の現地搬入時における規格・品質・納入数量の確認方法
 - ③工法の名称、概要、使用材料、適合条件、杭の支持力算定式を示した関連書類
 - ④地盤の概要や設計支持力に関する事項
 - ⑤施工の概要、手順、及び施工順序に関する事項
 - ⑥仕様する機械設備に関する事項、および当該機械の性能の仕様に関する事項
 - ⑦機械設備等の配置平面図、側面図
 - ⑧試験杭等の目的、場所、時期、及び試験結果の反映方法等に関する事項
 - ⑨杭打設における施工管理方法に関する事項
 掘削速度、杭芯ずれ、鉛直度、杭頭高さ (打止め高さ)、所定深度への到達、支持層管理、トルク値の確認方法、その他、各段階における必要な施工管理項目
 - ⑩継手の施工管理方法に関する事項
 溶接前の溶接面の有害物除去状況、溶接時の天候、その他必要な施工管理項目
 - ⑪施工及び施工管理に関して、技術者及びその他作業人員の配置、役割、チェック体制及び責任の所在
 - ⑫取得すべき施工記録が取得できる状態で施工を実施する事。
 - ⑬上記のほか必要な事項

4. 報告
 杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ翌週以内に監督員に工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受ける。
 また、トルク値が記録されたチャート紙等原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受ける。
 工事完了後、次の事項について報告書をまとめ、2部を監督員にすみやかに提出する。
- ①施工伏図及び施工番号
 - ②施工日
 - ③貫入深度及び高止まり量
 - ④最終トルク値
 - ⑤施工データ
 - ⑥工事写真





梁伏図 1/100

継手リスト 1:30

(SCSS-H97)

特記なき限り ボルトは高力ボルトとする

RG1	H-488×300×11×18	RG2	H-350×175×7×11	RG3 RBG1.2	H-250×125×6×9	RCG1, RCB1	H-200×100×5.5×8
フランジ	HTB 32-M20 L=70 外 2PL-12×300×440 内 4PL-12×110×440	フランジ	HTB 16-M20 L=60 外 2PL-9×175×290 内 4PL-9×70×290	フランジ	HTB 24-M16 L=45 外 2PL-12×125×410	フランジ	HTB 16-M16 L=50 外 2PL-16×100×290
ウェブ	HTB 16-M20 L=65 2PL-12×350×290	ウェブ	HTB 6-M20 L=50 2PL-6×260×170	ウェブ	HTB 8-M16 L=45 2PL-6×170×290	ウェブ	HTB 4-M16 L=45 2PL-6×140×170

柱リスト

特記なき限り ボルトは高力ボルトとする

圧縮材有効細長比 C1:λ=60.2 C2:λ=71.9

符号	部材	ボルト	プレート	使用材料	備考
C1	□-300×300×12		柱脚リスト参照	BCR295	
C2	□-150×150×6		柱脚リスト参照	STKR400	

大梁リスト

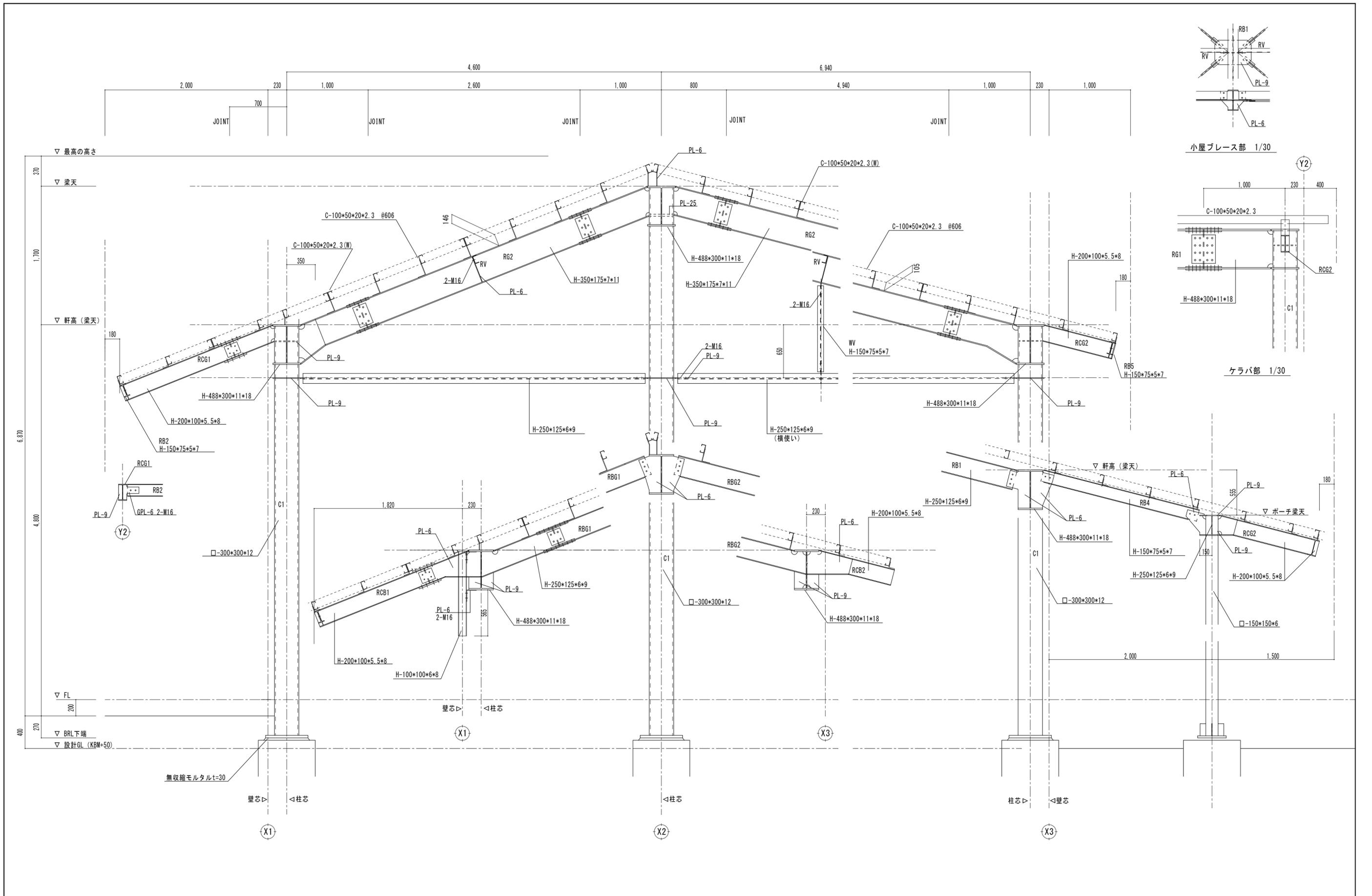
特記なき限り ボルトは高力ボルトとする

符号	部材	ボルト	プレート	使用材料	備考
RG1	H-488×300×11×18		継手リスト参照	SN400B	
RG2	H-350×175×7×11		継手リスト参照	SN400B	
RG3	H-250×125×6×9		継手リスト参照	SN400B	

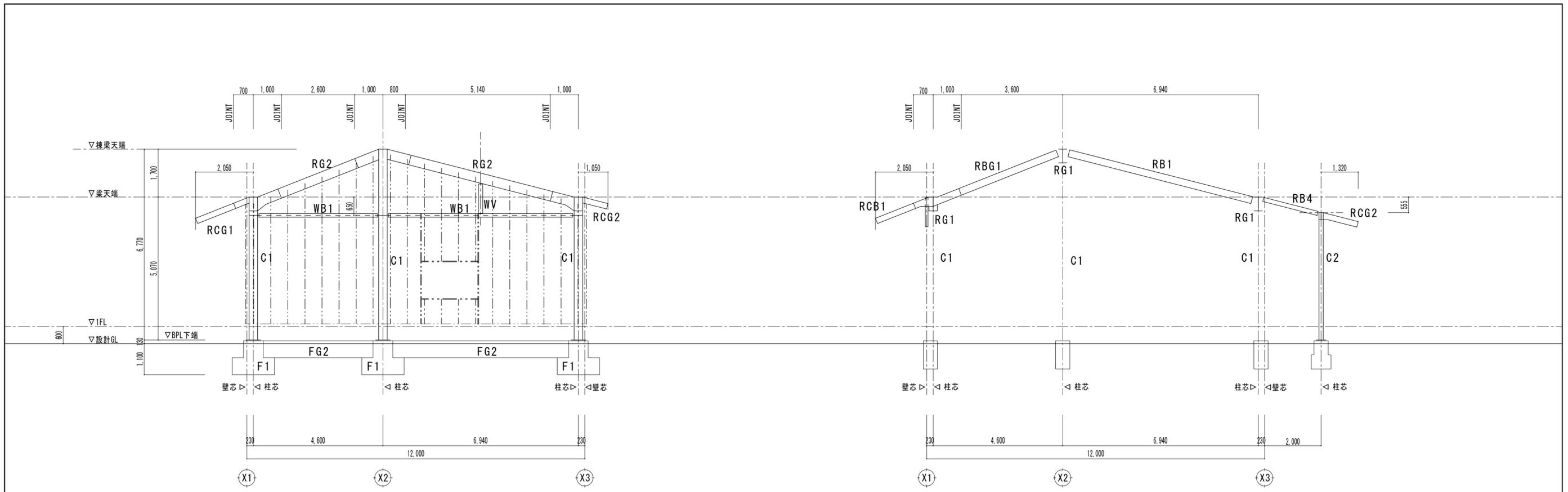
部材リスト

特記なき限り ボルトは高力ボルトとする

符号	部材	ボルト	プレート	使用材料	備考
RCG1 RCB1	H-200×100×5.5×8		継手リスト参照	SS400	
RCG2 RCB2	H-200×100×5.5×8		継手リスト参照 溶接	SS400	溶接
RBG1.2	H-250×125×6×9	3-M16	GPL-6	SS400	継手リスト参照(X1,3)
RB1	H-250×125×6×9	3-M16	GPL-6	SS400	
RB2 RB3 RB4 WB WV	H-150×75×5×7	2-M16	GPL-6	SS400	
RB3	H-200×100×5.5×8	2-M16	GPL-6	SS400	
RV	[-100×50×5	2-M16	GPL-6	SS400	
WB1	H-250×125×6×9	3-M16	GPL-6	SS400	横使い
胴縁	C-100×50×20×2.3	普通ボルト 2-M12	PL-6	SSC400	@606、開口補強(好3共W)
母屋	C-100×50×20×2.3	普通ボルト 2-M12	PL-6	SSC400	@606
小屋ブレース	M16	1-M16	GPL-9		ターンバックル付

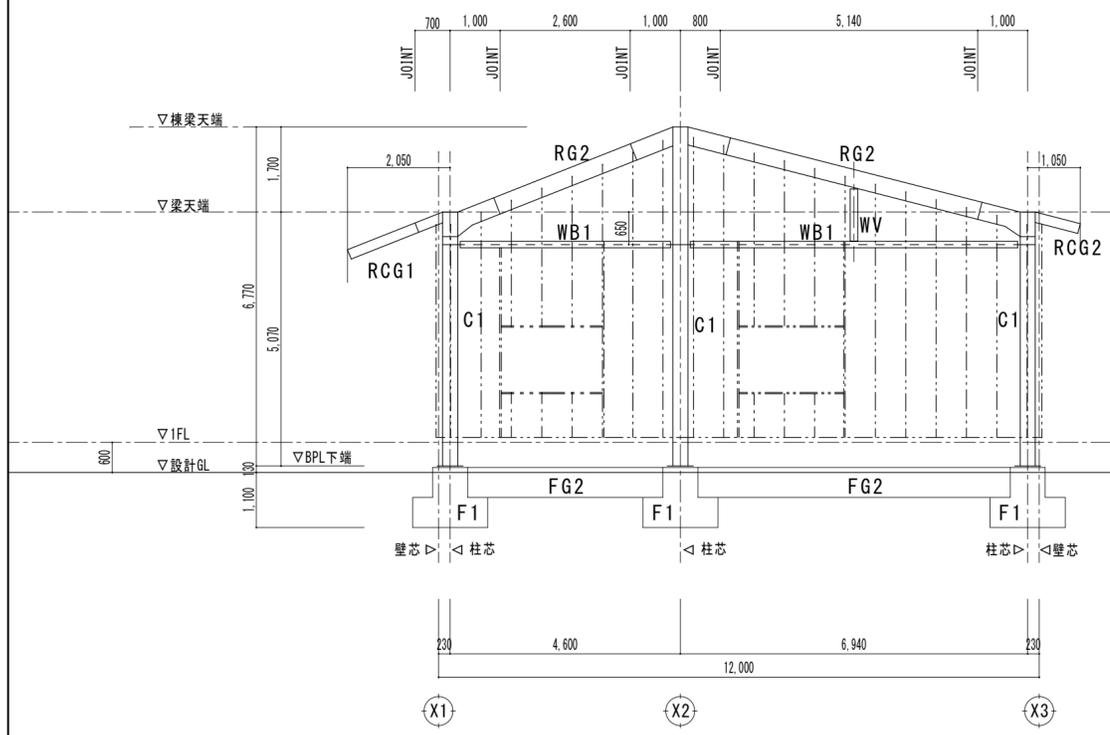


特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場 (遠的) 新築その他工事	NO.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計			1/30		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号					原図:A2
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					



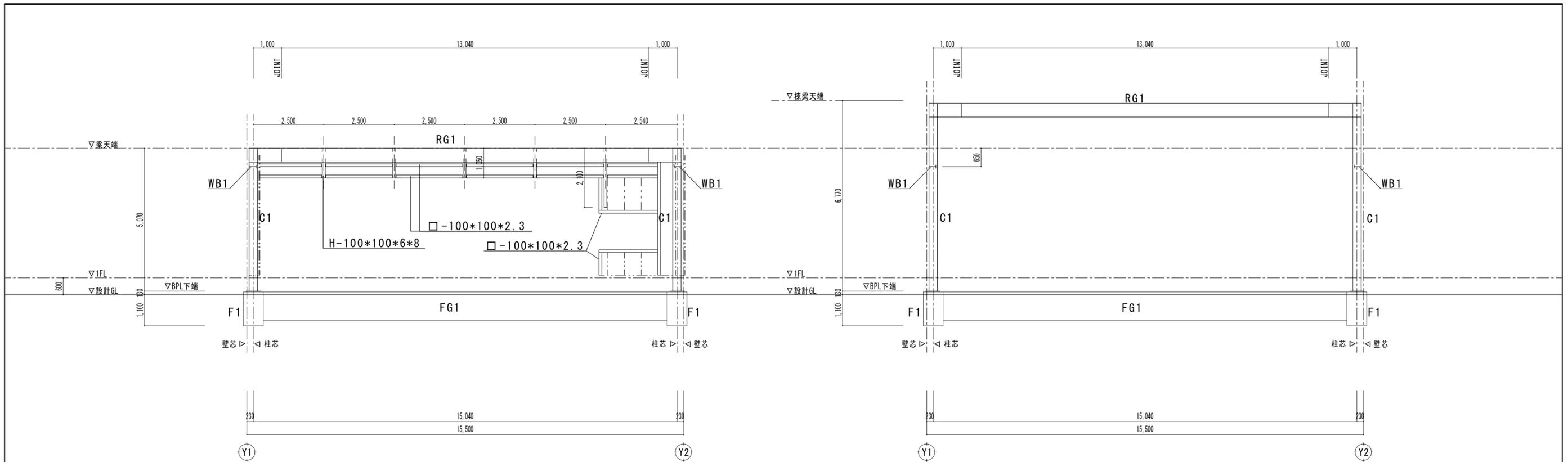
Y1通り軸組図 1/100

Y1-Y2間 軸組図 1/100



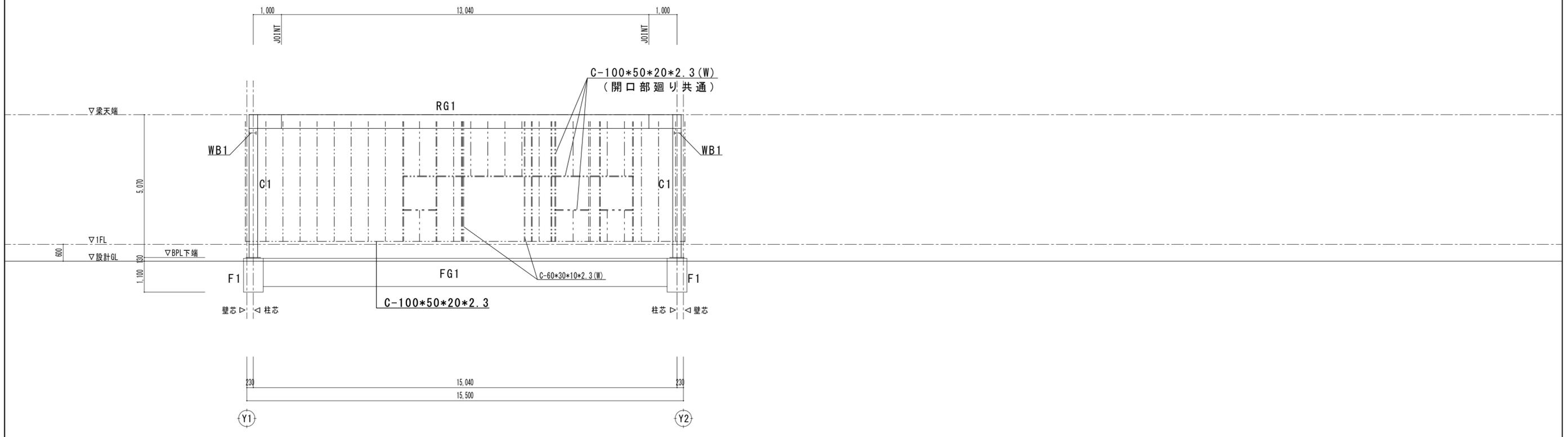
Y2通り軸組図 1/100

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事	NO. S-09
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/100		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					
								軸組図(1)	原図:A2



X1通り軸組図 1/100

X2通り軸組図 1/100



X3通り軸組図 1/100

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場（遠的）新築その他工事	NO. S-10
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/100		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					
								軸組図(2)	原図:A2

<p>20. 配線器具の設置</p> <p>(1) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (2) 電源の種類により色を区別する。 (3) 配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4) プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (5) カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を固定しない位置ボックスには閉鎖表示をすること。 (6) フロアプレートは、水平高低調整型(空転防止リング付)とする。</p> <p>21. 照明器具の設置</p> <p>(1) コードペンダント以外の放電灯及び水気のある場所の器具は接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してよい。(乾燥した場所のコンパクト形器具(2.7W以下)を除く。) (2) 接地線は電灯配線と同一太さのケーブルの1芯(緑色)を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mmの絶縁電線(緑線)を添えることもできる。 (3) 照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (4) 照明器具取付後、照度測定を行う。照度計は一般部A級とする。 (5) 天井下地材より支持する場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (6) バイブ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。</p> <p>22. 照明改修の際の測定</p> <p>対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所()回</p> <p>23. 分電盤、制御盤、キュービクル等</p> <p>(1) 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。 (2) 図面ホルダー内には、配線図をボックスに接続する場合は、カップリングを溶接等行い接続部から雨水等が浸入しない方法とする。ただし、既設ボックスに接続する場合はロックナットとボックスの間にゴムパッキン等を取付け、接続部からの雨水等が浸入しないようにする。</p> <p>24. 受変電設備、発電設備の設置場所</p> <p>(1) 保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2) 基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3) 電気室には水蒸気、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>25. 発電設備の燃料配管</p> <p>(1) フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に可燃物の消防等十分に打合せを行う。 (2) 配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>26. 電圧関係の計算及び測定</p> <p>(1) 計算書の提出 電圧測定結果による計算書提出 ・ 施工前 ・ 躯体上がり時 ・ その他() (2) 測定の実施 ① 項目 全変種チャンネルの電界強度、受像画像、等価C/N、ビット誤り率の測定及び映像写真の撮影を行う。 ② 測定時期 ・ 施工前 ・ 躯体上がり時 ・ 施工後 ・ その他() ③ 報告書提出部数 ・ 2部 ・ ()部</p> <p>27. 土工事</p> <p>(1) 埋戻しの材料及び工法 ・ B種(材料:根切り土中の良質土/工法:機器による締固め) ・ その他() ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2) 特記なき地中埋設配管の深さは、G_L-600mm以上とする。 (3) 根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (4) 機械掘りは根切り底を乱さないようにする。</p> <p>28. ハンドホール、マンホール</p> <p>1) 地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。 2) 地耐力 ① 地耐力は、建築基準法施行令第93条の短期地耐力とする。 ② 衝撃係数は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 3) 高さ900mmを超えるものについては、トラップ付とする。 なお、トラップの取付は450mm間隔以内とし、原則として接地を施すこと。</p> <p>29. 地中配線路の表示杭</p> <p>下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲箇所 ④ 道路横断箇所 ⑤ 直線部分では80m程度に1個</p>	<p>3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">【電力設備】</td> </tr> <tr> <td>1. 電灯設備</td> <td>(1) 既設等との取り合い ●無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ 電源供給 ・ その他()</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等 ●分電盤、制御盤等 ・ その他()</td> </tr> <tr> <td>(3) 一般照明器具</td> <td>1) 形式 ●公称型 ●一般型 2) 灯具 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ●HID灯 ●その他() 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ●防災用 4) 環境 ●普通地域 ●塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯時にグローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による異状により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 照明制御装置</td> <td>1) センサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ●調光スイッチ 2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF制御 ・ その他()</td> </tr> <tr> <td>(5) 外灯(単独設置)</td> <td>1) 照明用ポール ①材質 ●アルミニウム製 ●鋼製 ●溶融亜鉛メッキ ●その他(ポリエチレン樹脂粉末焼付塗装) ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 3) 灯具 ●水銀灯 ●ナトリウム灯 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ・ その他() 4) 安定器 ●一般形高力形(BH) ●低始動電流形 ●その他() 5) 電源 ●商用電源(50Hz)(200V/100V) ・ 単独電源(太陽電池式・風車式) ・ その他(点灯時間()時間、不日照保証日数()日)</td> </tr> <tr> <td>(6) 制御</td> <td>●Eモイッチ ●タイマ ●その他()</td> </tr> <tr> <td>7) 接地</td> <td>●単独接地(本工事・別途工事 ●既設利用) ●共用 ●その他()</td> </tr> <tr> <td>(6) コンセント等</td> <td>●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット(固定型・上下動型(アップ式を含む))</td> </tr> <tr> <td>(7) 分電盤、制御盤等</td> <td>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用端子は点検しやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業しやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。</td> </tr> <tr> <td>2. 動力設備</td> <td>(1) 既設との取り合い ●無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他()</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>●分電盤、制御盤等 ●その他()</td> </tr> <tr> <td>(3) 負荷設備</td> <td>●給水 ●排水 ●消火 ●空調 ●換気 ●排煙 ●昇降機 ・ その他()</td> </tr> <tr> <td>(4) 負荷設備への接続</td> <td>図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。</td> </tr> <tr> <td>(5) 電動機等の接地</td> <td>・ 専用接地 ・ 金属管接地(7.5kW以下)</td> </tr> <tr> <td>(6) 電動機等の力率の改善</td> <td>本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。</td> </tr> <tr> <td>(7) 保護継電器</td> <td>過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。</td> </tr> <tr> <td>(8) 分電盤、制御盤等</td> <td>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用端子は点検しやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業しやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。</td> </tr> <tr> <td>3. 雷保護設備</td> <td>1) 受雷部 ●突針 ●棟上導体 ●笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ●引下導線 ●建築構造体利用 3) 接地極 ●接地埋設 ●建築構造体利用 ●測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 ② 測定回数 ●3回 ●()回 5) 接地極埋設標を設置する。</td> </tr> <tr> <td>(2) 雷サージ保護</td> <td>1) 耐雷トランス ●設置(単相用・動力用) ●設置しない 2) SPD ●低圧用(クラスI・クラスII) ●通信用(カテゴリー2・カテゴリーD) 3) 低圧用SPDクラスIの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリーDの性能 別図による</td> </tr> <tr> <td>(3) 電源回路の保護</td> <td>1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 通信回線の保護</td> <td>電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。</td> </tr> <tr> <td>4. 接地設備</td> <td>(1) 接地工事 1) 種別 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種 2) 施工 ●各種単独 ●共有有り()</td> </tr> <tr> <td>(2) 接地抵抗の測定</td> <td>1) 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 2) 測定回数 ●3回 ●()回</td> </tr> <tr> <td>(3) 接地極埋設標</td> <td>接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【受変電設備】</td> </tr> <tr> <td>5. 受変電設備</td> <td>高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。</td> </tr> <tr> <td>(1) 既設との取り合い</td> <td>●無し ・ 改造(機器取替、追加を含む) ●増設 ●配線接続 ・ その他()</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>●盤類 ●交流遮断器 ●断路器 ●避雷器 ●負荷開閉器 ●変圧器 ●進相コンデンサ ●直列リアクトル ●配線用遮断器 ●電磁接触器 ●その他()</td> </tr> <tr> <td>(3) 盤類</td> <td>1) 形式 ●キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ・ 高圧スイッチギア(式1425)(C・CX・CW・PW・MW) ・ 開放形配電盤 2) 中通路 ●有 ●無 3) 特記事項()</td> </tr> <tr> <td>(4) 交流遮断器</td> <td>真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ●手動ばね操作 ●電動ばね操作 ●電磁操作 ② 引外し方式 ●電流引外し ●コンデンサ引外し ●直流電圧引外し</td> </tr> </tbody> </table>	項目	特記事項	【電力設備】		1. 電灯設備	(1) 既設等との取り合い ●無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ 電源供給 ・ その他()	(2) 機器類	●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等 ●分電盤、制御盤等 ・ その他()	(3) 一般照明器具	1) 形式 ●公称型 ●一般型 2) 灯具 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ●HID灯 ●その他() 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ●防災用 4) 環境 ●普通地域 ●塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯時にグローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による異状により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。	(4) 照明制御装置	1) センサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ●調光スイッチ 2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF制御 ・ その他()	(5) 外灯(単独設置)	1) 照明用ポール ①材質 ●アルミニウム製 ●鋼製 ●溶融亜鉛メッキ ●その他(ポリエチレン樹脂粉末焼付塗装) ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 3) 灯具 ●水銀灯 ●ナトリウム灯 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ・ その他() 4) 安定器 ●一般形高力形(BH) ●低始動電流形 ●その他() 5) 電源 ●商用電源(50Hz)(200V/100V) ・ 単独電源(太陽電池式・風車式) ・ その他(点灯時間()時間、不日照保証日数()日)	(6) 制御	●Eモイッチ ●タイマ ●その他()	7) 接地	●単独接地(本工事・別途工事 ●既設利用) ●共用 ●その他()	(6) コンセント等	●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット(固定型・上下動型(アップ式を含む))	(7) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用端子は点検しやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業しやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。	2. 動力設備	(1) 既設との取り合い ●無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他()	(2) 機器類	●分電盤、制御盤等 ●その他()	(3) 負荷設備	●給水 ●排水 ●消火 ●空調 ●換気 ●排煙 ●昇降機 ・ その他()	(4) 負荷設備への接続	図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。	(5) 電動機等の接地	・ 専用接地 ・ 金属管接地(7.5kW以下)	(6) 電動機等の力率の改善	本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。	(7) 保護継電器	過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。	(8) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用端子は点検しやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業しやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。	3. 雷保護設備	1) 受雷部 ●突針 ●棟上導体 ●笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ●引下導線 ●建築構造体利用 3) 接地極 ●接地埋設 ●建築構造体利用 ●測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 ② 測定回数 ●3回 ●()回 5) 接地極埋設標を設置する。	(2) 雷サージ保護	1) 耐雷トランス ●設置(単相用・動力用) ●設置しない 2) SPD ●低圧用(クラスI・クラスII) ●通信用(カテゴリー2・カテゴリーD) 3) 低圧用SPDクラスIの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリーDの性能 別図による	(3) 電源回路の保護	1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。	(4) 通信回線の保護	電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。	4. 接地設備	(1) 接地工事 1) 種別 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種 2) 施工 ●各種単独 ●共有有り()	(2) 接地抵抗の測定	1) 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 2) 測定回数 ●3回 ●()回	(3) 接地極埋設標	接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。	【受変電設備】		5. 受変電設備	高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。	(1) 既設との取り合い	●無し ・ 改造(機器取替、追加を含む) ●増設 ●配線接続 ・ その他()	(2) 機器類	●盤類 ●交流遮断器 ●断路器 ●避雷器 ●負荷開閉器 ●変圧器 ●進相コンデンサ ●直列リアクトル ●配線用遮断器 ●電磁接触器 ●その他()	(3) 盤類	1) 形式 ●キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ・ 高圧スイッチギア(式1425)(C・CX・CW・PW・MW) ・ 開放形配電盤 2) 中通路 ●有 ●無 3) 特記事項()	(4) 交流遮断器	真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ●手動ばね操作 ●電動ばね操作 ●電磁操作 ② 引外し方式 ●電流引外し ●コンデンサ引外し ●直流電圧引外し	<p>(5) 断路器</p> <p>1) 形式 ●3極単投 ●単極単投(選定用に限る) 2) 操作方式 ●遠方手動操作 ●フック棒操作(選定用に限る)</p> <p>(6) 負荷開閉器</p> <p>1) 形式 ●配電盤用 ●引込柱用 ●地中引込用 2) 配電盤用 ①操作方式 ●フック棒操作 ●遠方手動操作 ●電動操作 ② 限流ヒューズ ●有(ストライカ付き) ●無 ③ 引外し装置 ●ストライカ引外し ●電圧引外し ●無 ④ 本工事 ●別途工事 ●ステンレス製 ●鋼製 2) 保護装置 ●過電流警報トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③ 避雷器 ●内蔵 ●無 4) 地中引込用 保護装置は、過電流警報トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする</p> <p>(7) 変圧器</p> <p>1) 形式 ●油入 ●モールド 2) 設置方式 ●屋外型 ●屋内型 3) ダイアル温度計 ●有(最大電圧指針 有 ●最大電圧指針 無) 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p> <p>(8) 進相コンデンサ</p> <p>1) 絶縁方式 ●油入 ●モールド ●ガス 2) その他 ①内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ② 放電装置を付属又は内蔵すること</p> <p>(9) 直列リアクトル</p> <p>1) 絶縁方式 ●油入 ●モールド 2) 容量 ●6% ●1.3% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること</p> <p>(10) 設備不平衡</p> <p>(11) キュービクル等</p> <p>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用端子は点検しやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業しやすい場所に設ける。</p> <p>(12) 基礎</p> <p>●本工事(2.1N/m²・1.8N/m²) ●別途工事 ●既設利用 ●その他()</p> <p>(13) 配線ピット及び蓋</p> <p>1) 施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 2) ピット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。</p> <p>(14) 設置場所</p> <p>●屋内 ●屋外(地上・屋上)</p> <p>【電力貯蔵設備】</p> <p>6. 直流電源設備</p> <p>(1) 用途 ()kVA (2) 容量 ()kVA (3) 整流装置 1) 出力電圧 直流(12V・24V・48V・()V) 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p> <p>(4) 蓄電池</p> <p>1) 種類 ●鉛蓄電池(・HS・MSE ●長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH・AMH) ・ その他() 2) 最低蓄電池温度 -5℃・15℃・25℃・-5℃・()℃</p> <p>7. 交流無停電電源設備</p> <p>(1) 用途 ()kVA (2) 容量 ()kVA (3) 給電方式 ・ 常時インバータ給電方式 ●ラインインタラクティブ方式 ●常時商用給電方式 ・ その他()</p> <p>整流装置、インバータ装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。</p> <p>(4) 蓄電池</p> <p>1) 種類 ●鉛蓄電池(・HS・MSE ●長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH・AMH) ・ その他() 2) 最低蓄電池温度 -5℃・15℃・25℃・-5℃・()℃</p> <p>停電補償時間()</p> <p>8. 電力平準化用蓄電設備</p> <p>(1) 用途 () (2) 機能 ●ピークシフト機能 ●ピークカット機能 ●商用停電時のバックアップ機能 (3) 種類 ●リチウム二次電池 ●鉛蓄電池 ●ニッケル水素蓄電池 (4) 容量 () (5) 期待寿命 () (6) 充放電回数 () (7) 補償額 ●製造者標準 ●その他()</p> <p>(4) 性能</p> <p>1) 交流入出力電気方式 ●三相3線式(200V・()V) ・ 単相3線式(200/100V) ・ 単相2線式(200V・100V・()V) 2) 自立運転 ●する ●しない 3) 系統連系 ●する ●しない 4) 遠方監視用接点 ●設けない ●設ける(詳細は別図による) (5) 状態・警報表示 移相用の遠方監視用接点の搭載を必須とする。</p> <p>9. 分散電源</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>【発電設備】</p> <p>10. 燃料式発電設備</p> <p>(1) 用途 (2) 区分 ●常用 ●非常用 ●屋内 ●屋外(普通地域 ●塩害地域) ●発電装置 ●燃料槽 ●給油ボックス ●燃料移送ポンプ ・ その他()</p> <p>(4) 発電装置</p> <p>1) 種類 ●ディーゼル発電装置 ●ガスエンジン発電装置 ●ガスタービン発電装置 2) 形式 ●箱形 ●オープン式 ●キュービクル式(85dB(A)/1m・75dB(A)/1m) 3) 始動時間(停電後) ●1.0秒以内 ●4.0秒以内 ●()秒以内 4) 連続運転時間 ●2時間以上 ●10時間以上 ●24時間以上 ●72時間以上 ・ その他() 5) 発電機 ①電気方式 ●三相3線式(6.6kV・200V・()V) ・ 単相3線式(200/100V) ・ 単相2線式(200V・100V・()V) ② 定格周波数 60Hz ③ 定格出力 ()kVA 6) 原動機 ①定格出力 ()kW以上 ()ps以上 ② 冷却方式 ●ラジエーター方式 ●冷却水循環式 ●その他()</p> <p>(5) 燃料</p> <p>1) 種類 ●軽油 ●灯油 ●A重油 ●その他() 2) 引渡時燃料 ●満タン ●指定なし ●その他()</p> <p>(6) 燃料槽</p> <p>1) 形式及び容量 ●パッケージ搭載タンク()リットル ●燃料小出槽()リットル ●主燃料槽()リットル ●屋外型(ステンレス製 ●鋼製) ●屋内型(ステンレス製 ●鋼製) 3) 主燃料槽 ① 設置場所 ●屋内 ●屋外(地上) ●地下埋設(タンク室内埋設 ●直埋設) ② 形式 ●二重殻タンク ●単殻タンク ③ 設置工事 ●本工事 ●別途工事 ●その他() ④ タンク室工事 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他()</p> <p>(7) 給油ボックス</p> <p>1) 材質 ●ステンレス製 ●鋼製 ●その他() 2) 油量指示計 ●有 ●無</p> <p>(8) 燃料移送ポンプ</p> <p>1) 電動ポンプ ●歯車ポンプ ●油中ポンプ 2) 手動ポンプ(ウイングポンプ) ●有 ●無 3) 電動ポンプ水没防止カバー ●有 ●無</p> <p>(9) 基礎</p> <p>●本工事(2.1N/m²・1.8N/m²) ●別途工事 ●既設利用 ●その他()</p>	<p>11. 太陽光発電設備</p> <p>(1) 機器 ・ 太陽電池アレイ ●パワーコンディショナ ●系統連系保護装置 ●接続箱 ・ 情報処理装置 ●その他()</p> <p>(2) 太陽電池アレイ 1) 発電能力 公称出力()kW 2) 架台は、JIS C 8955「太陽電池アレイ用支持設計標準」による。 (3) パワーコンディショナ 1) 出力電気方式 ●三相3線式(200V・()V) ・ 単相3線式(200/100V) ・ 単相2線式(200V・100V・()V) 2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ●屋内 ●屋外 ●その他() 4) 設置方式 ●壁掛型 ●自立型 ●その他() 5) 機能 ●系統連系(高圧連系 ●みみし低圧連系 ●低圧連系) ●自立運転 ●その他()</p> <p>(4) 情報処理装置</p> <p>1) 装置 ●データ処理装置 ●データ表示装置 ●気温計 ●日射計 2) 記録作成 ●日報 ●月報 ●年報 ・ その他()</p> <p>(5) 仕様詳細</p> <p>仕様詳細は「太陽光発電設備特記仕様書」による。</p> <p>12. 風力発電設備</p> <p>(1) 機器 ●風車発電装置 ●制御装置 ●系統連系保護装置 ●支持構造物 ●情報処理装置 ・ その他()</p> <p>(2) 風車発電装置</p> <p>発電能力 定格出力()kW</p> <p>(3) 制御盤</p> <p>1) 出力電気方式 ●三相3線式(200V・()V) ・ 単相3線式(200/100V) ・ 単相2線式(200V・100V・()V) 2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ●屋内 ●その他() 4) 設置方式 ●壁掛型 ●自立型 ●その他() 5) 機能 ●系統連系(高圧連系 ●みみし低圧連系 ●低圧連系) ●自立運転 ●その他()</p> <p>(4) 支持構造物</p> <p>自重、積載荷重、積雪、振動、衝撃等に対し、安全が確保されたものとする。</p> <p>(5) 情報処理装置</p> <p>1) 装置 ●データ処理装置 ●データ表示装置 ●風速計 ●風向計 ●気温計 ・ その他() 2) 記録作成 ●日報 ●月報 ●年報 ・ その他()</p> <p>(6) 仕様詳細</p> <p>仕様詳細は「風力発電設備特記仕様書」による。</p> <p>13. その他発電設備 ()の仕様詳細は別図による。</p> <p>【通信・情報設備】</p> <p>14. 構内情報通信設備</p> <p>(1) インターフェース</p> <p>1) LAN ●1000BASE-T ●無線LAN() ・ その他() 2) WAN ()</p> <p>(2) 機器</p> <p>●スイッチ ●ルータ ●メディアコンバータ ●ファイアウォール ●時刻同期装置 ●ネットワーク管理装置 ●機器収納ラック ●アウトレット ・ その他() 各機器の仕様詳細は別図による。</p> <p>(3) ケーブル</p> <p>1) 幹線系 ●UTP ●光ファイバ ●その他() 2) 支線系 ●UTP ●光ファイバ ●その他() 3) フロア系 ●UTP ●その他()</p> <p>(4) アウトレット</p> <p>●ローテーションアウトレット(固定型・上下動型(アップ式を含む)) ●壁コンセント ・ その他()</p> <p>15. 構内交換設備</p> <p>(1) 機器 ●交換装置 ●電話機 ●端子盤類 ●アウトレット ・ その他()</p> <p>(2) 交換装置</p> <p>1) 種別 ●構内交換装置(デジタルPBX ●IP-PBX ●VoIPサーバ) ・ その他() ●ボταν電話装置 ・ その他() 2) 局線応答方式 ●局線中継台方式 ●分散中継台方式 ●ダイヤルイン方式 ●ダイレクトインダイヤル方式 ●ダイレクトインライン方式 ・ その他() 3) 保安用接地 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 4) 本配電盤(MDF) ●自立フレーム(片面形 ●両面形) ●交換機一体型 ●壁掛型 ・ その他()</p> <p>5) 電源装置 ①形式 ●別置型 ●一体形 ●その他()以上 ② 停電補償時間 ●30分以上 ●()</p> <p>(3) 電話機</p> <p>●一般電話機 ●多機能電話機 ●IP電話機 ●デジタルコードレス電話機(PHS方式) ●IPコードレス電話機(無線LAN方式) ・ その他()</p> <p>(4) 端子盤類</p> <p>1) 端子盤 ●中継端子盤(IDF) ●室内端子盤 2) 中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子スペースを確保する。</p> <p>(5) アウトレット</p> <p>●ローテーションアウトレット(固定型・上下動型(アップ式を含む)) ●壁コンセント ・ その他()</p> <p>16. 情報表示設備</p> <p>(1) 設備 ●マルチサイン装置 ●出退表示装置 ●時刻表示装置 ●警報等表示装置</p> <p>(2) マルチサイン装置</p> <p>1) 機器 ●操作制御部 ●情報表示機 ●その他() 2) 通信方式 ●TCP/IP ●その他() 3) 操作制御部 イメージスキャナ ●有 ●無 4) 情報表示機 ●発光ダイオード式 ●液晶式 ●その他()</p> <p>(3) 出退表示装置</p> <p>1) 機器 ●制御装置 ●出退表示機 ●その他() 2) 出退表示機 ●発光ダイオード式 ●液晶式 ●その他()</p> <p>(4) 時刻表示装置</p> <p>1) 機器 ●観時計 ●子時計 ●電源装置 ●単独時計 ●その他() 2) 観時計 ①形式 ●壁掛型 ●自立型 ●ラックマウント型(ラック架設) ② 時刻補正機能 ●FM放送受信 ●アンテナ設置 ●既設利用 ●長波標準電波受信 ●アンテナ設置 ●既設利用 ③ 回線数 ()回線 ④ 機能 ●電子チャイム ()曲 ●時報 ●プログラムタイム(引渡し時は機器の説明及びプログラムの入力を行うこと。)</p> <p>3) 子時計 ①方式 ●アナログ式 ●デジタル式 ② 設置場所 ●屋内 ●屋外 ●その他() ③ 運転可能時間(10時間以上) ●()時間</p> <p>4) 単独時計 ①方式 ●アナログ式 ●デジタル式 ② 設置場所 ●屋内 ●屋外 ●その他() ③ 時刻補正機能 ●有 ●無</p> <p>(5) 警報等表示装置</p> <p>1) 機器 ●表示盤 ●検出装置 ●その他() 2) 表示盤 ①表示方式 ●表示窓式 ●その他() ② 施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 3) 検出装置 ●電線 ●電磁 ●電圧検出 ●その他() ② 施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他()</p> <p>4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。</p>
項目	特記事項																																																																		
【電力設備】																																																																			
1. 電灯設備	(1) 既設等との取り合い ●無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ 電源供給 ・ その他()																																																																		
(2) 機器類	●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等 ●分電盤、制御盤等 ・ その他()																																																																		
(3) 一般照明器具	1) 形式 ●公称型 ●一般型 2) 灯具 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ●HID灯 ●その他() 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ●防災用 4) 環境 ●普通地域 ●塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯時にグローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による異状により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。																																																																		
(4) 照明制御装置	1) センサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ●調光スイッチ 2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF制御 ・ その他()																																																																		
(5) 外灯(単独設置)	1) 照明用ポール ①材質 ●アルミニウム製 ●鋼製 ●溶融亜鉛メッキ ●その他(ポリエチレン樹脂粉末焼付塗装) ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 3) 灯具 ●水銀灯 ●ナトリウム灯 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ・ その他() 4) 安定器 ●一般形高力形(BH) ●低始動電流形 ●その他() 5) 電源 ●商用電源(50Hz)(200V/100V) ・ 単独電源(太陽電池式・風車式) ・ その他(点灯時間()時間、不日照保証日数()日)																																																																		
(6) 制御	●Eモイッチ ●タイマ ●その他()																																																																		
7) 接地	●単独接地(本工事・別途工事 ●既設利用) ●共用 ●その他()																																																																		
(6) コンセント等	●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット(固定型・上下動型(アップ式を含む))																																																																		
(7) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用端子は点検しやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業しやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。																																																																		
2. 動力設備	(1) 既設との取り合い ●無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他()																																																																		
(2) 機器類	●分電盤、制御盤等 ●その他()																																																																		
(3) 負荷設備	●給水 ●排水 ●消火 ●空調 ●換気 ●排煙 ●昇降機 ・ その他()																																																																		
(4) 負荷設備への接続	図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。																																																																		
(5) 電動機等の接地	・ 専用接地 ・ 金属管接地(7.5kW以下)																																																																		
(6) 電動機等の力率の改善	本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。																																																																		
(7) 保護継電器	過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。																																																																		
(8) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用端子は点検しやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業しやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。																																																																		
3. 雷保護設備	1) 受雷部 ●突針 ●棟上導体 ●笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ●引下導線 ●建築構造体利用 3) 接地極 ●接地埋設 ●建築構造体利用 ●測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 ② 測定回数 ●3回 ●()回 5) 接地極埋設標を設置する。																																																																		
(2) 雷サージ保護	1) 耐雷トランス ●設置(単相用・動力用) ●設置しない 2) SPD ●低圧用(クラスI・クラスII) ●通信用(カテゴリー2・カテゴリーD) 3) 低圧用SPDクラスIの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリーDの性能 別図による																																																																		
(3) 電源回路の保護	1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。																																																																		
(4) 通信回線の保護	電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。																																																																		
4. 接地設備	(1) 接地工事 1) 種別 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種 2) 施工 ●各種単独 ●共有有り()																																																																		
(2) 接地抵抗の測定	1) 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 2) 測定回数 ●3回 ●()回																																																																		
(3) 接地極埋設標	接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。																																																																		
【受変電設備】																																																																			
5. 受変電設備	高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。																																																																		
(1) 既設との取り合い	●無し ・ 改造(機器取替、追加を含む) ●増設 ●配線接続 ・ その他()																																																																		
(2) 機器類	●盤類 ●交流遮断器 ●断路器 ●避雷器 ●負荷開閉器 ●変圧器 ●進相コンデンサ ●直列リアクトル ●配線用遮断器 ●電磁接触器 ●その他()																																																																		
(3) 盤類	1) 形式 ●キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ・ 高圧スイッチギア(式1425)(C・CX・CW・PW・MW) ・ 開放形配電盤 2) 中通路 ●有 ●無 3) 特記事項()																																																																		
(4) 交流遮断器	真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ●手動ばね操作 ●電動ばね操作 ●電磁操作 ② 引外し方式 ●電流引外し ●コンデンサ引外し ●直流電圧引外し																																																																		
<p>特記</p>	<table border="1"> <tr> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	月	日							<p>U 建築設計</p> <p>三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897</p> <p>設計</p> <p>登録番号(1)第2118号 内 田 貴 之</p>	<p>設計番号</p> <p>年 月 日</p> <p>縮尺</p> <p>NS</p> <p>三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事</p> <p>電気設備工事特記仕様書2</p> <p>N0.</p> <p>E-02</p> <p>原因:A2</p>																																																								
月	日																																																																		

17. 映像・音響設備	<p>(1) 映像機器</p> <p>(2) 映像機器</p> <p>(3) 音響機器</p> <p>(4) 操作装置</p> <p>18. 拡声設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 増幅器</p> <p>(3) 付属機器</p> <p>(4) 操作装置</p> <p>(5) スピーカ</p> <p>19. 誘導支援設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 音声誘導装置</p> <p>(3) インターホン</p> <p>(4) トイレ等呼出装置</p> <p>20. テレビ共同受信設備</p> <p>(1) 受信放送</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>21. テレビ電波障害防除設備</p> <p>(1) 対象戸数</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>22. 監視カメラ設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 伝送方式</p> <p>(3) カメラ</p> <p>(4) モニタ装置</p> <p>(5) 録画装置</p>
23. 駐車場管理設備	<p>(1) 機器</p> <p>(2) 管制盤</p> <p>(3) 検知器</p> <p>(4) 信号灯・警報灯</p> <p>(5) 発券機</p> <p>(6) カーゲート</p> <p>24. 防犯・入退室管理設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 防犯装置</p> <p>(3) 入退室管理装置</p> <p>25. 自動火災報知設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機 (表示装置)</p> <p>(4) 中継器</p> <p>(5) 発信機</p> <p>(6) 感知器</p> <p>26. 自動閉鎖設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 運動制御器</p> <p>(3) 感知器</p> <p>(4) 自動閉鎖装置</p> <p>(5) 自動閉鎖装置</p> <p>27. 非常警報設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 非常放送装置</p> <p>28. ガス漏れ火災警報設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機</p> <p>(4) 検知器</p>

【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1) 監視制御対象設備</p> <p>(2) 既設との取り合い</p> <p>(3) 機器</p> <p>(4) 機能</p> <p>(5) 監視操作装置</p> <p>(6) 信号処理装置</p> <p>(7) 記録装置</p> <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1) 形式</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1) 配線方式</p> <p>(2) 建柱</p> <p>(3) 装柱機器</p> <p>(4) 装柱機器</p> <p>(5) ハンドホール、マンホール</p> <p>(6) 錆蝕差</p> <p>(7) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【構内通信線路】</p> <p>33. 構内通信線路</p> <p>(1) 用途</p> <p>(2) 配線方式</p> <p>(3) 建柱</p> <p>(4) ハンドホール、マンホール</p> <p>(5) 錆蝕差</p> <p>(6) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【その他】</p> <p>34. 消火器</p>																																																																																																																																																																								
III. 機器標準取付高さ	<p>標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(〇印はバリアフリー対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>側点</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力</td> <td>接地端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心</td> <td>1,800～2,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>引込開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800～2,000</td> </tr> <tr> <td>電灯</td> <td>分電盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端 1,900mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300 ○1,000mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>300 ○400mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (台上)</td> <td>床下～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (WP)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (地下)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (土間)</td> <td>床下～中心</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ブラケット (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,100～2,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ブラケット (鏡上)</td> <td>鏡上端～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ブラケット (処理場)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>動力</td> <td>壁掛型制御盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端 1,900mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>手元開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保安器盤</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>時計・拡声</td> <td>壁掛型時計</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端 1,900mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子時計</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁掛型スピーカ</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300 2,500mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アッテネータ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>表示</td> <td>表示器</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁付発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベル・ブザー・チャイム</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>インターホン</td> <td>壁付インターホン</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子機 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>呼出しボタン (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>800～950 便座先端から後方へ100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表示灯 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>テレビ</td> <td>機器収納箱</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>直列ユニット</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>直列ユニット (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>火災報知</td> <td>受信機・副受信機</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表示灯</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベル</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針 (最終改正 平成21年国交省告示第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等 (平成25年4月 三重県)</p>	名称	側点	取付高さ (mm)	備考	電力	接地端子盤	床下～下端			取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000		引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000	電灯	分電盤	床下～中心	1,500 上端 1,900mm		スイッチ	床下～中心	1,300 ○1,000mm		コンセント (一般)	床下～中心	300 ○400mm		コンセント (和室)	床下～中心	200		コンセント (台上)	床下～中心	150		コンセント (WP)	床下～中心	1,000		コンセント (地下)	床下～中心	1,000		コンセント (土間)	床下～中心	500		ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300		ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150		ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500	動力	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500 上端 1,900mm		手元開閉器	床下～中心	1,500		操作スイッチ	床下～中心	1,300	電話	端子盤	床下～下端	300		保安器盤	床下～中心	2,000		壁位置ボックス	床下～中心	300		壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200	時計・拡声	壁掛型時計	床下～中心	1,500 上端 1,900mm		子時計	床下～中心	2,300		壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300 2,500mm		アッテネータ	床下～中心	1,300	表示	表示器	床下～中心	2,300		壁付発信器	床下～中心	1,300		ベル・ブザー・チャイム	床下～中心	2,300	インターホン	壁付インターホン	床下～中心	1,300		壁位置ボックス	床下～中心	300		壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200		子機 (身障者用)	床下～中心	1,100		呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950 便座先端から後方へ100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)		表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800	テレビ	機器収納箱	床下～中心	2,000		直列ユニット	床下～中心	300		直列ユニット (和室)	床下～中心	200	火災報知	受信機・副受信機	床下～中心	1,500		発信器	床下～中心	1,300		表示灯	床下～中心	1,800		ベル	床下～中心	2,300
名称	側点	取付高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																						
電力	接地端子盤	床下～下端																																																																																																																																																																							
	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																						
	引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																						
電灯	分電盤	床下～中心	1,500 上端 1,900mm																																																																																																																																																																						
	スイッチ	床下～中心	1,300 ○1,000mm																																																																																																																																																																						
	コンセント (一般)	床下～中心	300 ○400mm																																																																																																																																																																						
	コンセント (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																						
	コンセント (台上)	床下～中心	150																																																																																																																																																																						
	コンセント (WP)	床下～中心	1,000																																																																																																																																																																						
	コンセント (地下)	床下～中心	1,000																																																																																																																																																																						
	コンセント (土間)	床下～中心	500																																																																																																																																																																						
	ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300																																																																																																																																																																						
	ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150																																																																																																																																																																						
	ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500																																																																																																																																																																						
動力	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500 上端 1,900mm																																																																																																																																																																						
	手元開閉器	床下～中心	1,500																																																																																																																																																																						
	操作スイッチ	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																						
電話	端子盤	床下～下端	300																																																																																																																																																																						
	保安器盤	床下～中心	2,000																																																																																																																																																																						
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																																																																						
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																						
時計・拡声	壁掛型時計	床下～中心	1,500 上端 1,900mm																																																																																																																																																																						
	子時計	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																						
	壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300 2,500mm																																																																																																																																																																						
	アッテネータ	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																						
表示	表示器	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																						
	壁付発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																						
	ベル・ブザー・チャイム	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																						
インターホン	壁付インターホン	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																						
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																																																																						
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																						
	子機 (身障者用)	床下～中心	1,100																																																																																																																																																																						
	呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950 便座先端から後方へ100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)																																																																																																																																																																						
	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800																																																																																																																																																																						
テレビ	機器収納箱	床下～中心	2,000																																																																																																																																																																						
	直列ユニット	床下～中心	300																																																																																																																																																																						
	直列ユニット (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																						
火災報知	受信機・副受信機	床下～中心	1,500																																																																																																																																																																						
	発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																						
	表示灯	床下～中心	1,800																																																																																																																																																																						
	ベル	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																						

特記

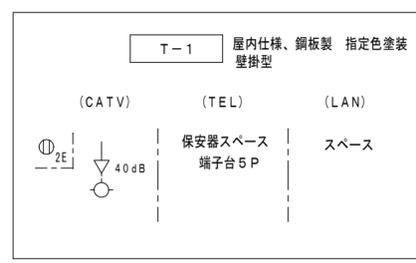
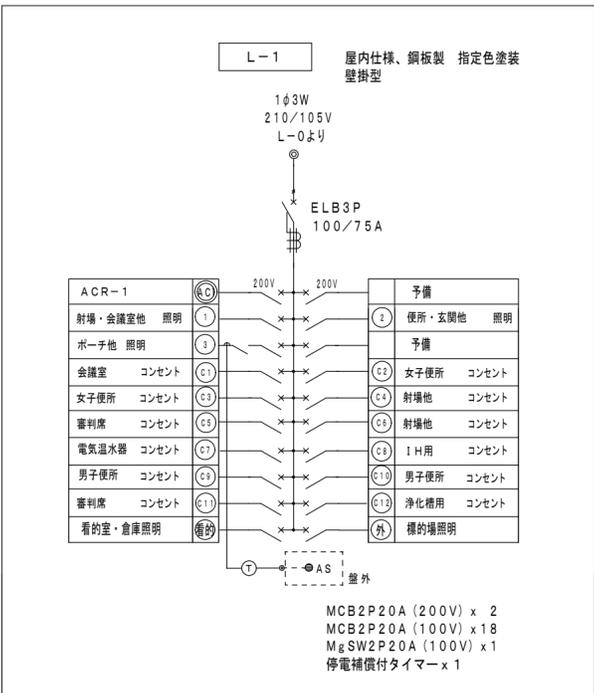
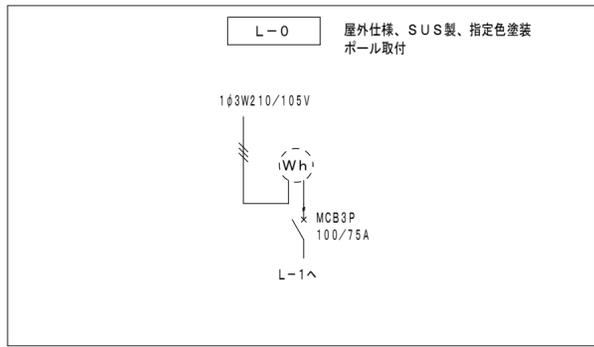
月	日

U 建築設計	
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	
一級建築士事務所	一級建築士第248160号
登録番号 (1) 第2118号	内田 貴之

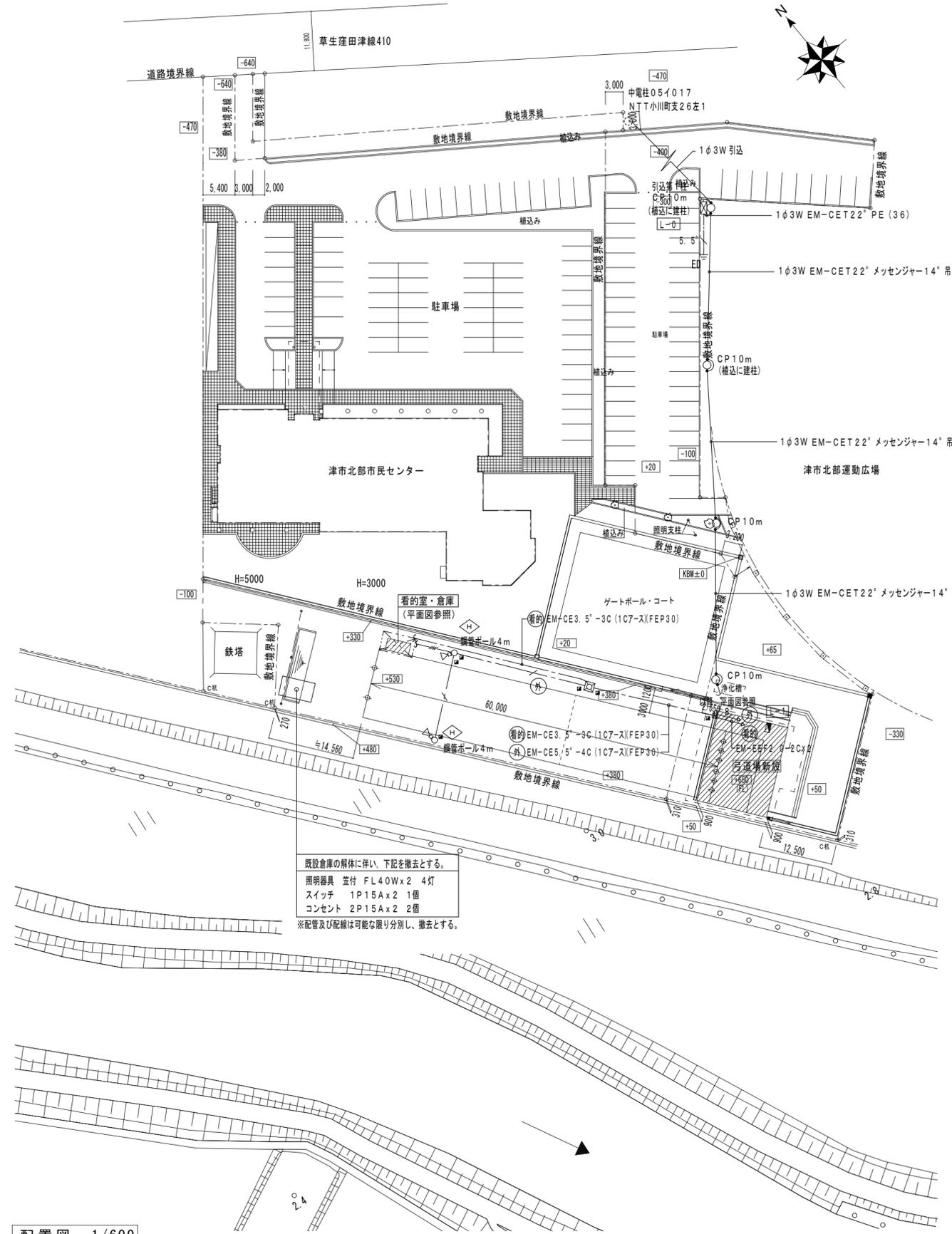
設計番号	年月日	縮尺
		NS

三重武道館弓道場 (遠的) 新築その他工事
電気設備工事特記仕様書 3

N0.
E-03
原因: A2



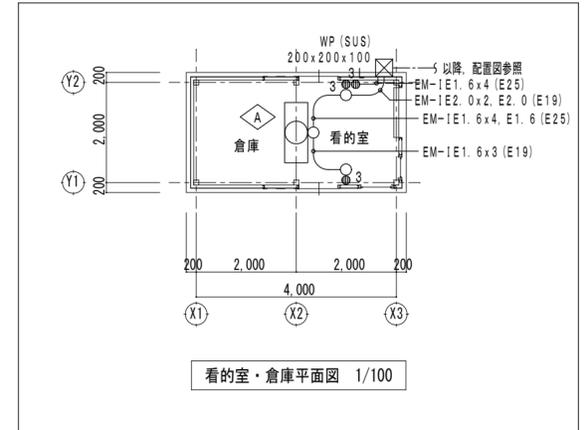
◇A	LED一体形ベースライト Hf32Wx2 高出力タイプ	◇B	LED埋込型下面開放型 Hf32Wx2 高出力タイプ	◇C	LEDダウンライト
	公共型番: LSS9-6800LM		公共型番: LRS6-6600LM		公共型番: LRS1-1700LM
◇D	LEDダウンライト	◇E	LEDダウンライト	◇F	LEDミラーライト W620
	公共型番: LRS1-1300LM-1		公共型番: LRS1-850LM		参考型番: LEDB83003
◇G	LEDウォールライト 防湿・防雨型	◇H	LED投光器 マルチハロゲン灯Lタイプ400形相当		
	公共型番: LBF3MP/RP-1300LM-2		参考型番: LEDS-23901NW-LJ2		



既設倉庫の解体に伴い、下記を撤去とする。
 照明器具 笠付 FL40Wx2 4灯
 スイッチ 1P15A x 2 1個
 コンセント 2P15A x 2 2個
 ※配管及び配線は可能な限り分別し、撤去とする。

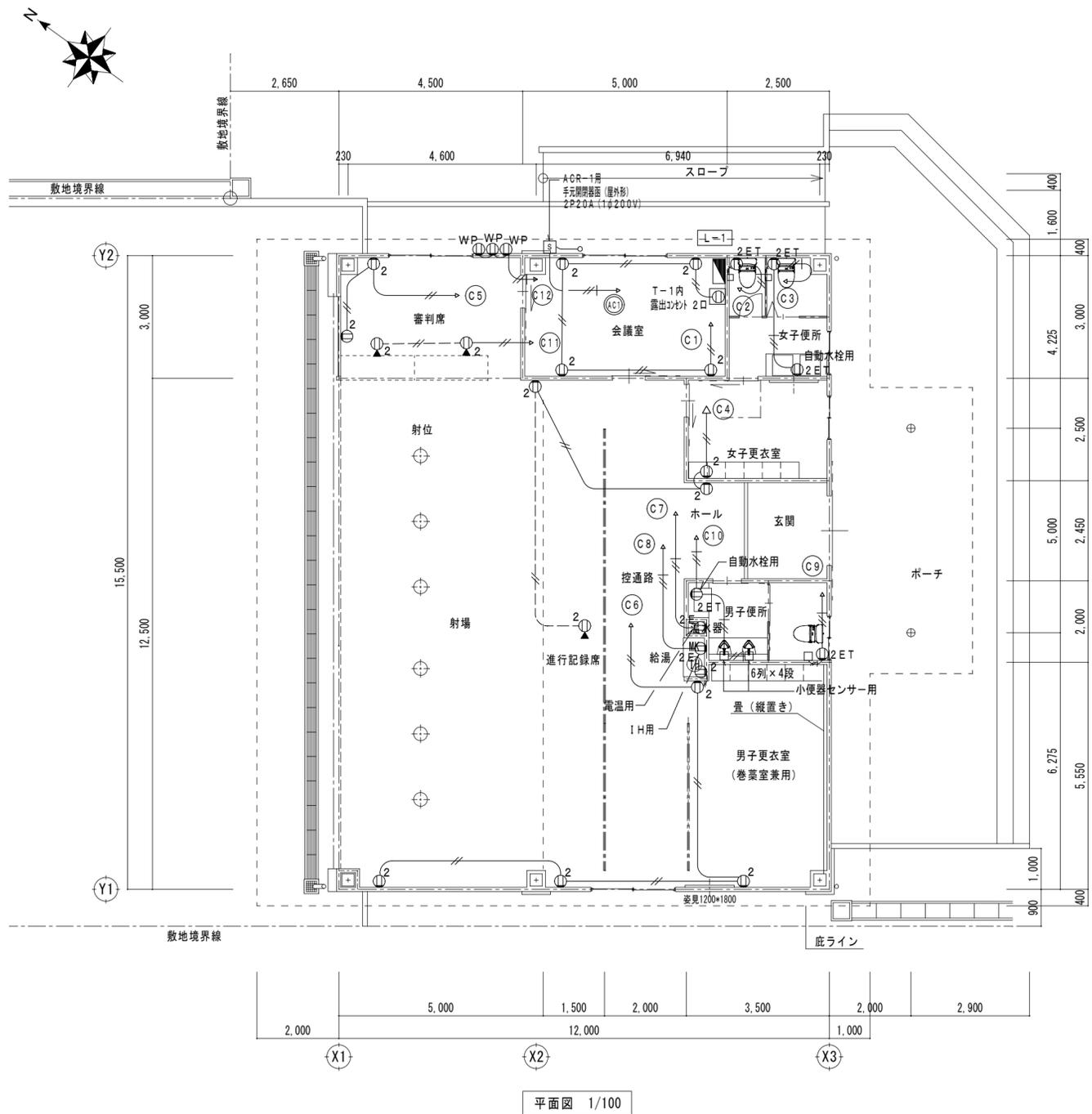
配置図 1/600

- 特記事項
- 配入なき配管配線は下記とする。
 - EM-CE5. 5'-3C (1C7-ス) FEP (30)
 - EM-CE8'-3C (1C7-ス) PF (28)
 - EM-EEF1. 6-3C PF (16)
 - EM-EEF1. 6-2C x 2 FEP (30)
 - EM-IE5. 5 FEP (30)
 - 二重天井内はケーブルころしとする。
 - 凡例
 - : ハンドホール 600x600x900 S2K600φ
 - : 防水ブルボックスSUS製 200x200x200
 - : 3路スイッチ 3W15A x 1
 - L : ON点灯3路スイッチ 3W15A x 1
 - : 埋設標準杭 コンクリート製
 - : コンクリート柱 10-19-3. 5
 - ≡ : 接地工事 D種 接地極埋設標準
 - 埋設部分に、埋設表示テープ (ダブル) を敷設とする。



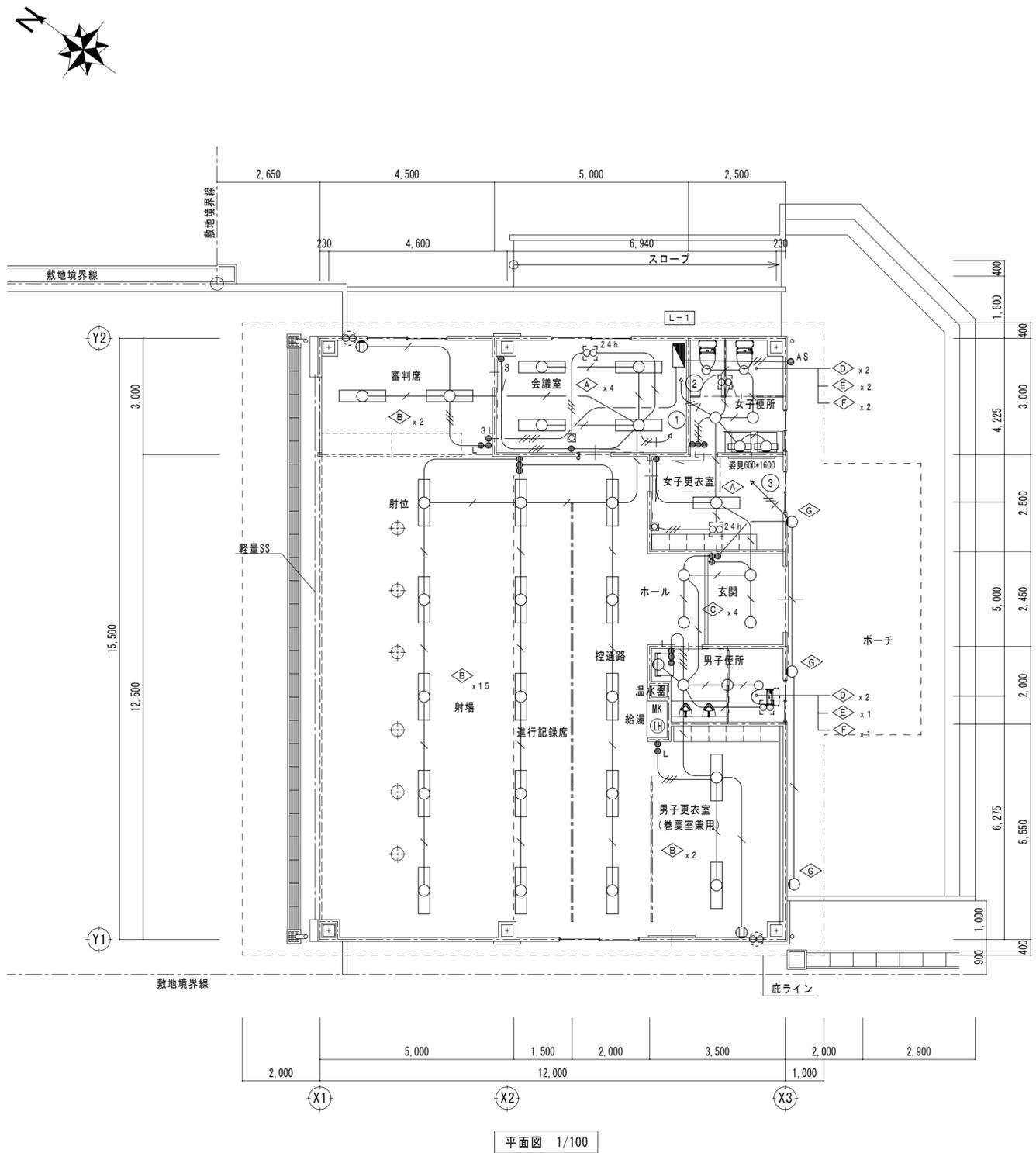
看的室・倉庫平面図 1/100

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場 (遠的) 新築その他工事	NO.	
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/600			E-05
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計					
			登録番号 (1) 第2118号	内田 貴之			配置図、看的室・倉庫平面図	原図: A2		



- == 特記事項 ==
- 配入なき配管配線は下記とする。
 - EM-EEF2.0-2C PF(22)
 - EM-EEF2.0-3C(1C7-ス)PF(22)
 - EM-EEF2.0-2C PF(22)床隠ぺい
 ※ 二重天井内はケーブルこしがしとする。
 - 凡例
 - ⊕₂ : 埋込コンセント 2P15A×2 新金属プレート
 - ⊕_{2E} : 埋込コンセント 接地極付2P15A×2 新金属プレート
 - ⊕_{2ET} : 埋込コンセント 接地端子付2P15A×2 新金属プレート
 - ⊕₂ : フロアコンセント 接地極付2P15A×2
 - ⊕_{WP} : 防水コンセント 接地極付2P15A×1

特記	月 日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事	No.
		三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
		一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		1/100	コンセント設備 平面図	E-07
		登録番号(1)第2118号	内田 貴之					原図:A2



- 特記事項
- 1、記入なき配管配線は下記とする。
- EM-EFF2. 0-3C (107-ス) PF (22)
 - EM-EFF1. 6-3C (107-ス) PF (22)
 - EM-EFF1. 6-2C PF (16)
 - EM-EFF1. 6-3C PF (22)
 - EM-EFF1. 6-2C x2 PF (22)
- ※ 二重天井内はケーブルころがしとする。
- 2、凡例
- : 埋込スイッチ 1P15A x1 新金属プレート
 - 3 : 埋込3路スイッチ 3W15A x1 新金属プレート
 - L : 埋込ON点灯スイッチ 1P15A x1 新金属プレート
 - 3L : 埋込ON点灯スイッチ 3W15A x1 新金属プレート
 - AS : 自動点滅器 埋込 プラグイン式
 - ☒ : 24h換気コントロールSW (設備より支給品)
 - ⊖ : 埋込コンセント (換気用) 2P15A x1 新金属プレート

平面図 1/100

特記		月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事 電灯設備 平面図	NO. E-08 原図:A2
							1/100		

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	— —	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	— —	1m 以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鍍鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鍍鉄管			
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC, S60CA) 鍍金付着Z18以上
 - ステンレス鋼板 JIS G4305
- 工法
- アングルフランジ工法
 - 共板フランジ工法
 - スライドオンフランジ工法
- 形鋼補強
- 山形鋼 JIS G 3101
 - SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト
- スパイラルダクト
 - 下水通利用サイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面内に明記すること。
- グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K
(屋内一般等) 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K
- 給水管 排水管 給湯管 温水管
 蒸気管 冷水・冷温水管 冷媒管 冷媒管
(屋外等)
- 給湯管 温水管 蒸気管 冷水・冷温水管
 冷媒管 冷媒管 冷媒管 冷媒管
- ロックウール保温材 保温板、保温帯、ブラケット
(防火区画貫通部等) 1号JIS A 9504
- 給水管 排水管 給湯管 温水管
 蒸気管 冷水・冷温水管 冷媒管 消火管

- ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号
(屋内一般等) 保温板 JIS A 9511 3号
- 給水管 排水管 冷水・冷温水管 冷水管 (2~4℃)
 プライン管 消火管 消火管
- (屋外等)
- 給水管 排水管 給湯管 冷水・冷温水管
 プライン管 消火管 消火管
- 鋼合ベント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂鋼合ベント) 1種
(露出)
- 給水管 排水管 通気管 ドレン管
 ガス管 消火管 油管 冷却水管

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯 膨張・温水・消火管	~80A	100~150A	-	200A~	-
蒸気管	~25A	-	32~50A	65A~	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部(ロックウール)	
75mm	煙導(ロックウール)	

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P・S内	保温筒	鉄線	アルミガラスクロス粘着テープ	
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内(ピット内)の仕様を防水テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法: 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出は保温を行う。

空調設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー		
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上	
天井内・P・S内	保温筒	鉄線	アルミガラスクロス仕上		
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	着色アルミガラスクロス仕上		
屋外露出	保温筒	鉄線	SUS鋼板仕上		

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上 □ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク 鋼板製タンク	鉄	保温板	ポリエチレン フィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)
冷水・冷温水ヘッダ 温水・膨張・還水 貯湯タンク 温水・蒸気ヘッダ 熱交換器	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)	

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板	カラー鉄板
	機械室		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
屋内隠蔽、D・S内	屋内露出、多湿箇所	鉄	保温板	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内露出、多湿箇所	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温筒	鉄線	カラー鉄板
	機械室		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ	
屋内隠蔽、多湿箇所	屋内露出、多湿箇所	鉄	保温板	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内露出、多湿箇所	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
サブライチャンパー	鉄	保温板	ガラスクロス	鋼亀甲金網	
消音チャンパー、エルボ	鉄	保温板	ガラスクロス		
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト 円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
煙道	ブラケット	鉄線	カラー鉄板		

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道ブラケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目16線径0.55
による防錆処理を施した平ラズ0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 鋼亀甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	鋼合ベイント	1	1	1	下塗りはさび止めベイント
黒管	露出	鋼合ベイント	2	1	1	下塗りはさび止めベイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めベイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

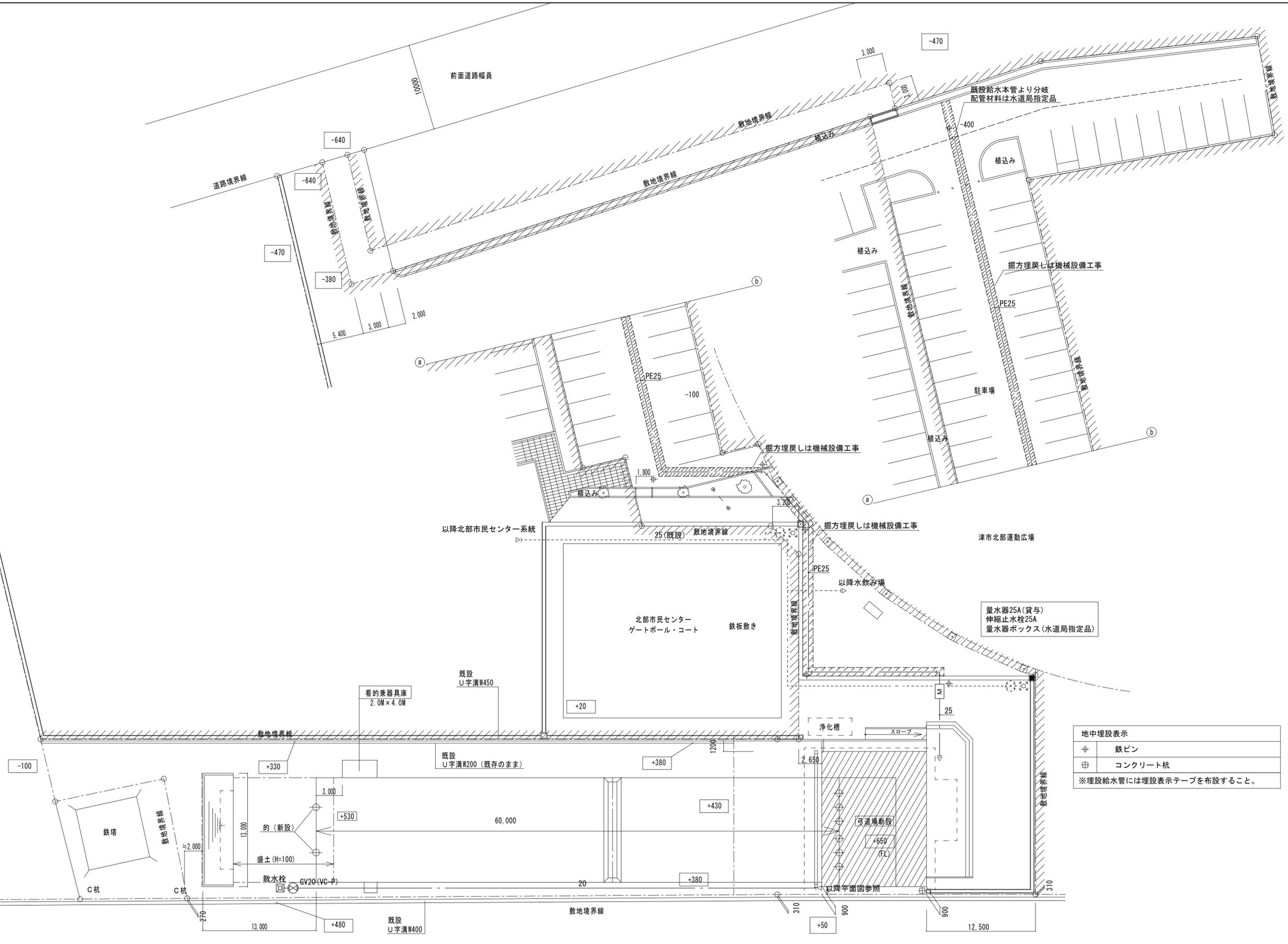
1. SA
 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
2. EA
 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
3. RA
 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
4. OA
 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
- チャンパー内貼施工
 内貼あり (mm) 内貼なし 図面による その他 ()

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径(保温されるものは、保温厚さを含む)より40mm程度大(=2サイズUP)なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(突管ダクト)とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機(エアハン含む)の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所(機械室、P・S内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり部に取り付け付るガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管(給水、消火、ガス)には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
 - ・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をとせる。
 - ・ 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護する。
 - ・ 土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - ・ 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 屋外露出及び多湿箇所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 建設発生土は場外自由処分とすること。

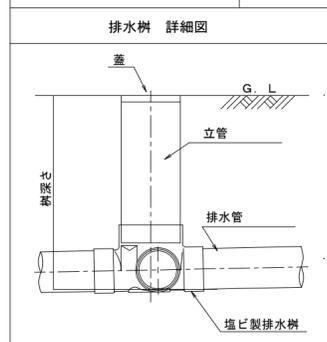
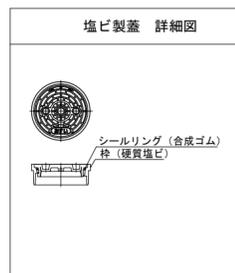


地中埋設表示	
⊕	鉄ピン
⊞	コンクリート杭
※埋設給水管には埋設表示テープを布設すること。	

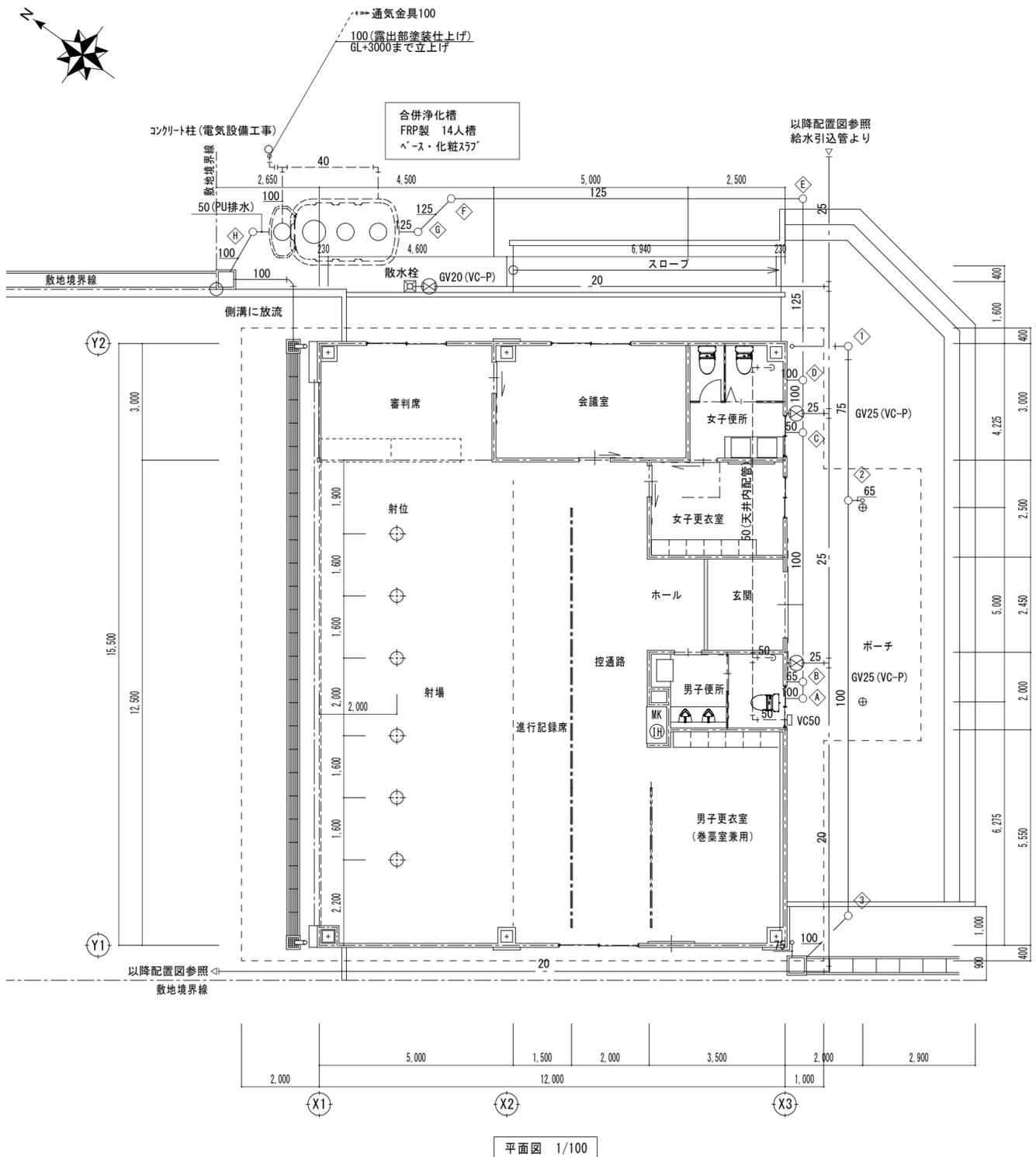
特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事 給排水設備 配置図	NO. M-03 原図:A2
				設計		1/300		

名称	仕様		設置場所			合計
	(LIXIL参考型番)	(TOTO参考型番)	通路	男子便所	女子便所 屋外	
洋風大便器	BC-P20HM, DT-PA250HCH LT式(手元洗浄ホコリ・AC100V)、床給水・床排水、フタ有、洗浄便座	CS597, SH596BAYR LT式(手元洗浄ホコリ・AC100V)、床給水・床排水、フタ有、洗浄便座(AC100V)		1	2	3
二連紙巻器	CF-63HST 棚付	YH702 棚付		1	2	3
自動洗浄小便器	U-A51AP AC100V 低リップ壁掛型 節水タイプ	UFS900R AC100V 低リップ壁掛型 節水タイプ		2		2
カンター式楕円洗面器	L2260, AM-200CV1 台付自動水栓, 壁給水, 壁排水	L530, TEN77G1 台付自動水栓, 壁給水, 壁排水		1	2	3
カンター	MB-600SS 770L, 500D 1面エプロン, 下部前面ハコ無し 洗面器1個設置	ML50 770L, 500D 1面エプロン, 下部前面ハコ無し 洗面器1個設置		1		1
カンター	MB-600SL 1370L, 500D 2面エプロン, 下部前面ハコ無し 洗面器2個設置	ML50 1370L, 500D 2面エプロン, 下部前面ハコ無し 洗面器2個設置			1	1
化粧鏡	KF-4060 350×600H	YM3560A 350×600H		1	2	3
散水栓(箱共)	LF-33-13-CV B-3	T28UNH13 B-3			2	2
跳ね上げ手すり	該当品無し	T112HPL/RS, 固定金具共			1	1
L型手すり	KF-920AE70D12	T112CL10		1		1
シングルレバー混合水栓	SF-WL435SY	TKGG30E	1			1
ミニキッチン(建築工事)	換気扇は建築工事とする		(1)			(1)

記号	名称	設置場所	機器仕様	台数	備考・参考型番
EWH-1	電気温水器	控室	貯湯量 12L 電源 AC100V 消費電力 1.1kW その他 ウォータータイマー 自動給排水 開放式排水 シングル止水栓 水栓接続用フレキチューブ×2本	1	REW12A1BH



特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事	NO.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計	NS		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					原図:A2



平面図 1/100

※ ウォーターハンマー防止の対策は、流速が1.5~2.0m/s以下なるように給水管の口径を決定する。
排水管の勾配は屋内1/50、屋外1/100以下を標準とする。

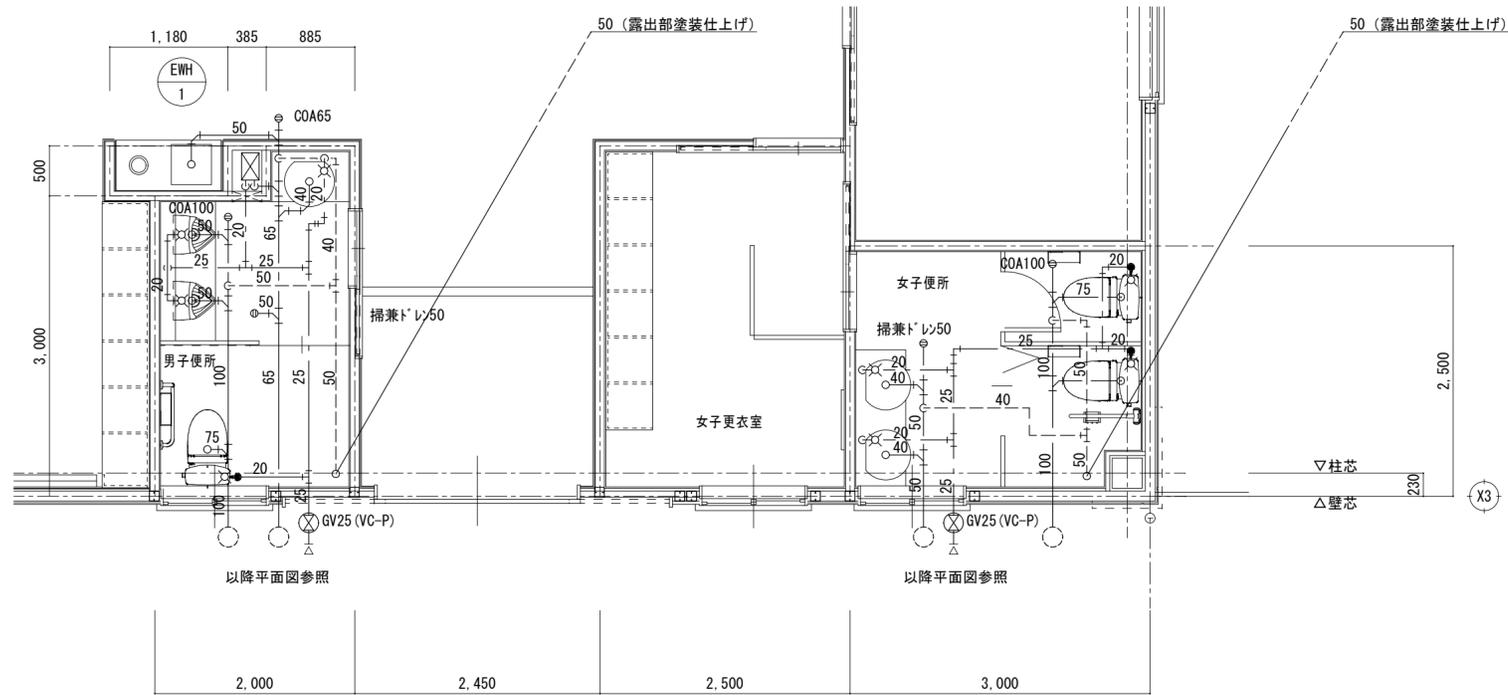
排水管径と許容最大器具は井水負荷単位数

管径 (mm)	許容最大器具排水負荷単位数					排水横主管及び敷地排水管				
	排水横枝管 *1 (A)	3階建又は プランチ間 隔3を有す る1立て管 (B)	3階建を超える場合		排水横主管及び敷地排水管					
			1立て管 の合計 (C)	1階分又は 1プランチ 間隔の合計 (D)	こう配					
					1/192 (E)	1/96 (F)	1/83 (G)	1/67 (H)	1/48 (I)	
30	1	2	2	1	--	--			--	
40	3	4	8	2	--	--			--	
50	6	10	24	6	--	--			21	
65	12	20	42	9	--	--			24	
75	20*2	30*3	60	16	--	20			27	
100	160	240	500	90	--	180			216	
125	360	540	1,000	200	--	390			480	
150	620	960	1,900	350	--	700	738	784	840	

- *1 排水横枝管とは、器具排水管からの排水を、排水立て管又は排水横主管へ導くあらゆる横走管をいう。
- *2 大便器2個以内とする。
- *3 大便器6個以内とする。

器具	排水負荷単位	敷地排水管	
		数	計
大便器 (洗浄缶による場合)	4	3	12
小便器	4	2	8
洗面器	1	3	3
流し	3	1	3
排水負荷単位合計		26	
設計口径		125	
決定口径		125	

樹リスト ※管底は参考						
記号	名称	寸法	蓋仕様	管底(基準GL)	地盤高さ	備考
A	塩ビ製汚水樹	φ200	塩ビ蓋	-450	建築図参照	90L
B	塩ビ製汚水樹	φ200	塩ビ蓋	-480	建築図参照	45Y
C	塩ビ製汚水樹	φ200	塩ビ蓋	-560	建築図参照	45Y
D	塩ビ製汚水樹	φ200	塩ビ蓋	-600	建築図参照	45Y
E	塩ビ製汚水樹	φ200	塩ビ蓋	-640	建築図参照	90L
F	塩ビ製汚水樹	φ200	塩ビ蓋	-750	建築図参照	45L
G	塩ビ製汚水樹	φ200	塩ビ蓋	-780	建築図参照	45L
H	塩ビ製汚水樹	φ200	塩ビ蓋	-465	建築図参照	45L
1	塩ビ製溜め樹	φ200	塩ビ蓋	-280	建築図参照	90L
2	塩ビ製溜め樹	φ200	塩ビ蓋	-300	建築図参照	90Y
3	塩ビ製溜め樹	φ200	塩ビ蓋	-350	建築図参照	45L



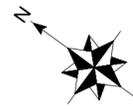
<p>「建築基準法施行令第129条の2の5第2項第二号」に規定する吐水口空間</p> <p>給水管の内径と吐水口空間の目安</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">給水管の内径 (mm)</th> <th colspan="2">吐水口空間</th> </tr> <tr> <th>吐水口周辺近くに壁のない場合</th> <th>吐水口周辺近くに壁のある場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13以下</td> <td>25</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>19以下</td> <td>40</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>25以下</td> <td>50</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>25超</td> <td>有効開口径の2倍</td> <td>有効開口径の3倍</td> </tr> </tbody> </table>	給水管の内径 (mm)	吐水口空間		吐水口周辺近くに壁のない場合	吐水口周辺近くに壁のある場合	13以下	25	40	19以下	40	55	25以下	50	75	25超	有効開口径の2倍	有効開口径の3倍	<p>(b) 流し台の場合</p> <p>流し排水トラップ規格 JICW202</p>	<p>(a) 貫通部において保温が必要な配管</p>
給水管の内径 (mm)		吐水口空間																	
	吐水口周辺近くに壁のない場合	吐水口周辺近くに壁のある場合																	
13以下	25	40																	
19以下	40	55																	
25以下	50	75																	
25超	有効開口径の2倍	有効開口径の3倍																	
<p>吐水口空間要領図</p> <p>「建築基準法施行令第129条の2の3第3項」に規定する排水トラップ、通気等を設置する等衛生上必要な措置について</p> <p>(a) 洗面器、手洗器の場合</p>	<p>排水トラップの措置について</p> <p>「建築基準法施行令第129条の2の2第3項」に規定する排水トラップ、通気等を設置する等衛生上必要な措置について</p> <p>(c) 掃除流しの場合</p>	<p>(b) 貫通部において保温が不要な配管</p> <p>構造の防火区画との隙間を埋める材料の種類 ・給水管、配電管その他の管が防火区画等を貫通する部分の構造</p>																	

凡 例		
図示記号	名 称	配管材料・保温塗装仕様
R	冷媒管	メーカー指定品 屋外露出：ポリスチレン保温材成形+SUS鋼板ラッキング
D	ドレン管	断熱ドレンホース
	ダクト	鋼板製ダクト

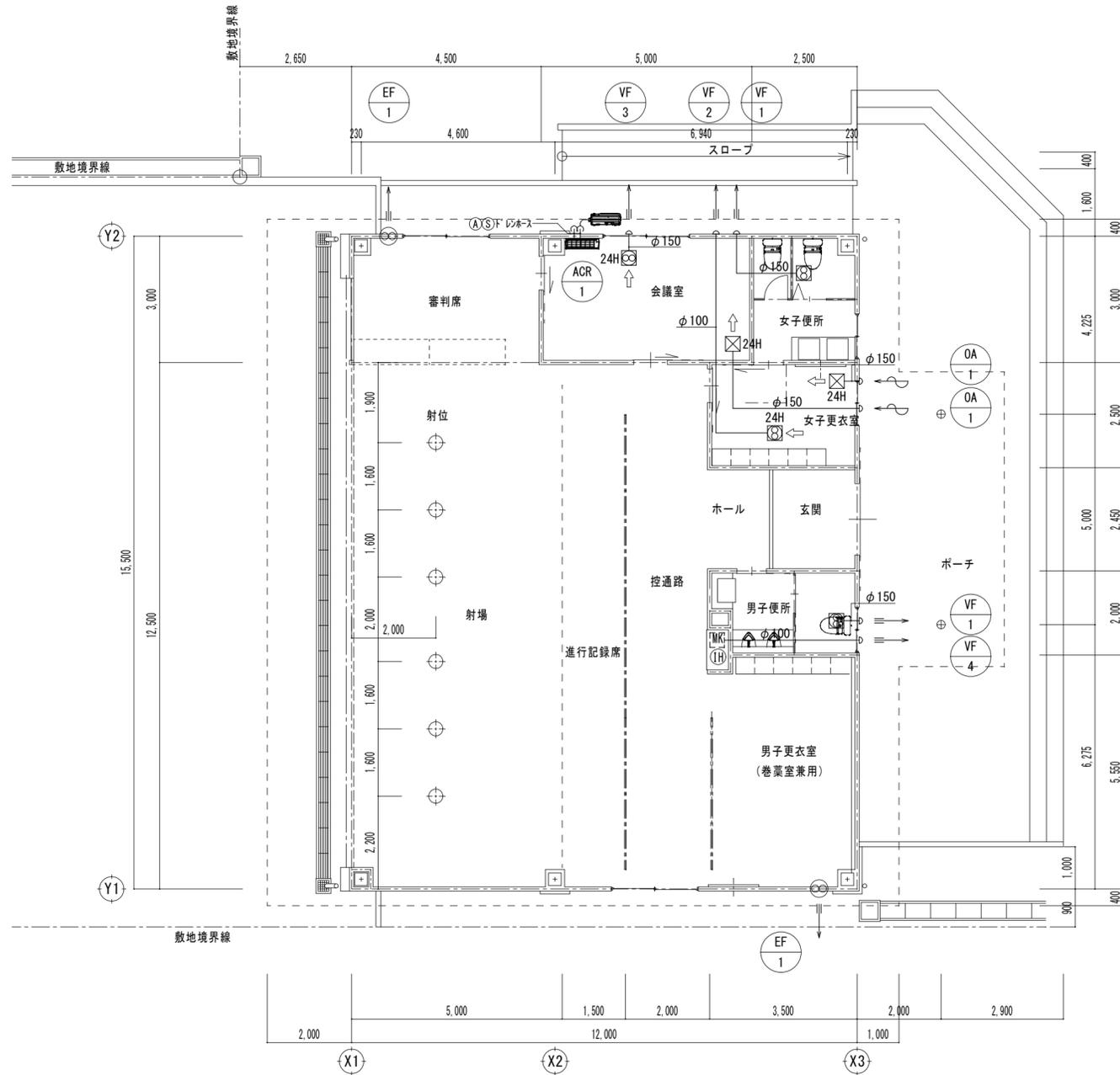
冷暖房機器仕様											
記号	形式	冷房能力 KW	暖房能力 KW	圧縮機出力 KW	電源 60Hz	定格消費電力 (KW)		冷媒配管 液管/ガス管	室内外連絡線	備考・参考型番	数量
						冷房時	暖房時				
ACR-1	壁掛けエアコン 標準ペア	4.0 (0.6~4.5)	5.0 (0.6~7.5)	1.1	単相 200V	1.25	1.33	6.35/9.52	VVF2.0-3C	ワイヤレスリモコン リモコンホルダー	1
特記事項 1、冷暖房能力は、外気温度、室内温度、湿度ともJIS条件とする。 2、屋内一屋外機器間電源、リモコン共本工事とする。 3、インバーター能力、消費電力は参考値とする。 4、グリーン購入法適合品とする。 5、転倒防止金具を取付けること。 6、機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。											

機 器 表								
記号	形式	風量 CMH	機外静圧 Pa	電源	消費電力 kW	付属品	参考型番	数量
EF-1	壁付換気扇 木調格子タイプ 電気式シャッター	450		単相100V	0.016	カバー・カバー(SUS) 取付枠 防鳥網(SUS)	EX-25EX6	2
VF-1	天井換気扇 低騒音形	200	40	単相100V	0.0295	ﾊﾞｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ φ150(SUS, 深形) ガラリ付	VD-18ZC10	2
VF-2	天井換気扇 低騒音形 24時間(弱運転)	120 (弱:20)	60 (弱:20)	単相100V	0.023	ﾊﾞｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ φ100(SUS, 深形) ガラリ付 コントロールスイッチ	VD-15ZLPC10-S	1
VF-3	天井換気扇 低騒音形 24時間(弱運転)	200 (弱:50)	60 (弱:20)	単相100V	0.048	ﾊﾞｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ φ150(SUS, 深形) ガラリ付 コントロールスイッチ	VD-20ZLC10	1
VF-4	ミニキッチン付属ファン 本体別途					ﾊﾞｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ (SUS, 深形)		1
OA-1	給気グリル フィルター内蔵					ﾊﾞｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ φ150(SUS, 深形) 防虫網付	P-18GSF3	2
特記事項 1、消費電力は参考値とする。								

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年 月 日	縮尺	三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事	NO.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計		NS	空調・換気設備 機器表		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号					
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				M-07	

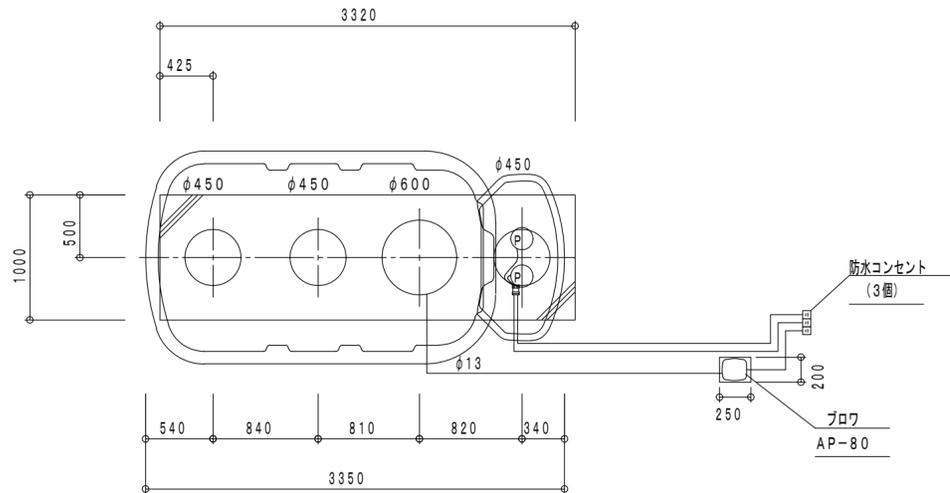


換気量計算書 居室（建築基準法に基づく24時間換気）														
部屋名	面積 (㎡)	天井高 (m)	容積 (m ³)	24時間換気		換気種類	EA換気量 (m ³ /h)	E A機種名	台数	24時間換気判定				備考
				換気回数 (回/h)	必要換気量 (m ³ /h)					換気量 (m ³ /h)	容積 (m ³)	換気回数 (回/h)	判定	
会議室	15.0	2.60	39.0	0.3	11.70	第3種	200	VF-3	1	50	39.0	1.2	○	24時間対応：弱運転(50m ³ /h)
女子更衣室	8.75	2.60	22.75	0.3	6.83	第3種	120	VF-2	1	20	22.75	0.8	○	24時間対応：弱運転(20m ³ /h)

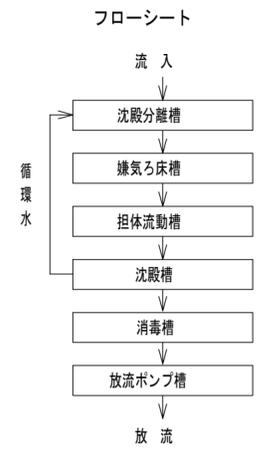


平面図 1/100

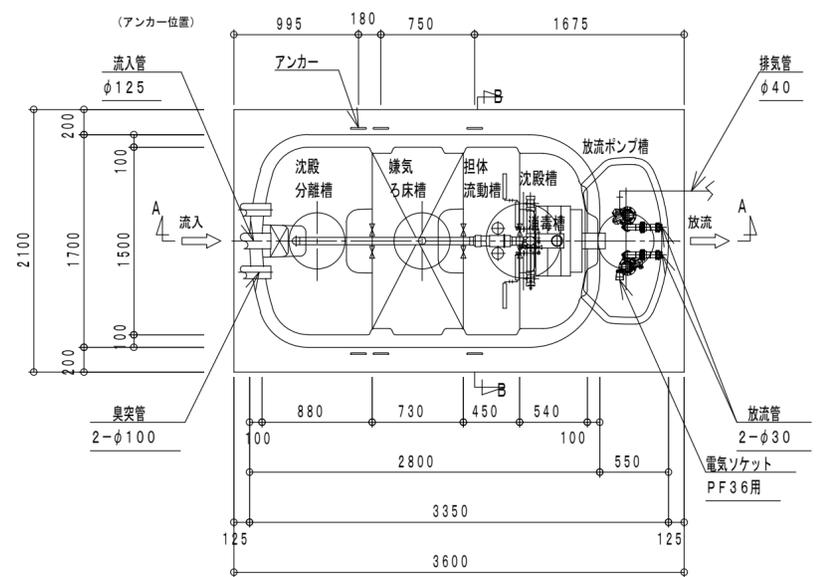
特記		月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	三重武道館弓道場(遠的)新築その他工事 空調・換気設備 平面図	NO. M-08 原図:A2
					設計		1/100		



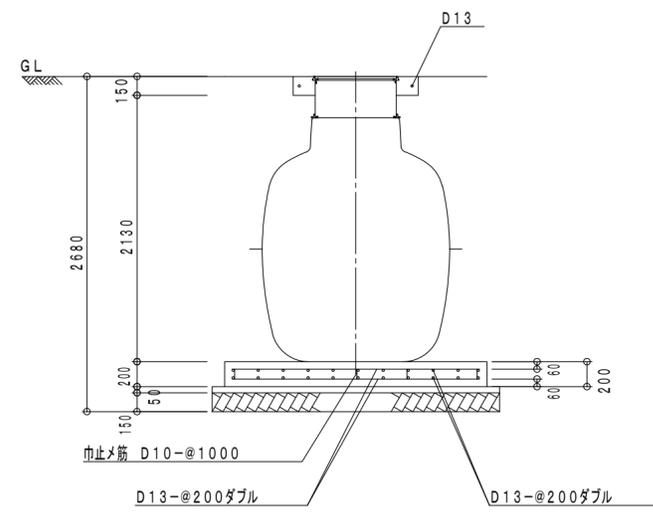
上部平面図 1:40



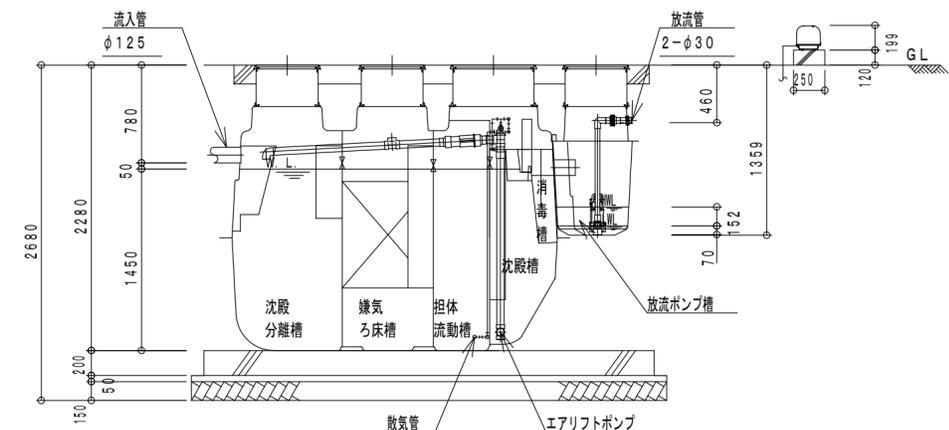
フローシート



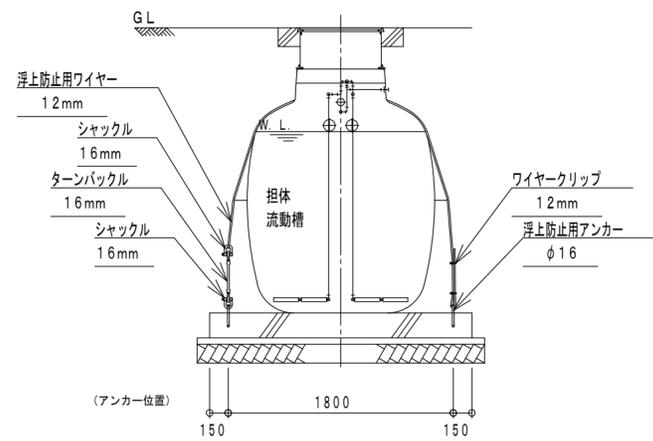
内部平面図 1:40



断面配筋図 1:40



A-A 断面図 1:40



B-B 断面図 1:40

建築基準法第68条の26第1項の規定に基づき、同法施行令第35条第1項の大臣認定による分離嫌気ろ床担体流動方式	
処理対象人員	14人
日平均汚水量	2.8 m ³ /日
流入水質	BOD200mg/L COD100mg/L SS160mg/L T-N45mg/L
放流水質	BOD 20mg/L COD 30mg/L SS 20mg/L T-N20mg/L

容量表	
項目	設計容量
沈殿分離槽	1.635 m ³
嫌気ろ床槽	1.519 m ³
担体流動槽	0.936 m ³
沈殿槽	0.729 m ³
消毒槽	0.044 m ³
総容量	4.863 m ³
放流ポンプ槽	0.074 m ³

機器仕様表 (単相・100V)				
機器名	口径	入力 (50/60Hz)	吐出量 (50/60Hz)	台数
ブロワ	φ13	0.051kw	0.08 m ³ /min	1台
放流ポンプ	32A	0.13 kw	0.08 m ³ /min	2台

一般事項	
コンクリート	設計基準強度 FC=21N/mm ²
鉄筋	異形棒鋼 SD295A
定着及継手	40d d:鉄筋径

放流ポンプ槽排気管について

下記の処理を怠ると、浄化槽内で発生する塩素ガス等が浄化槽内および電線管の接続先付近に設置している機器類を腐食させて、機器の破損、故障を生ずる恐れがあります。

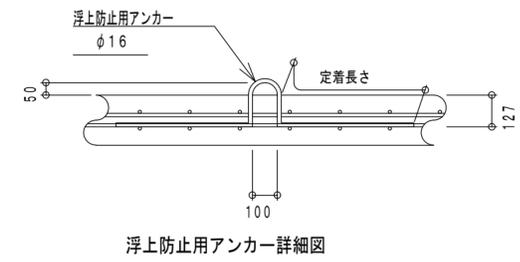
注1) 放流ポンプ槽の排気管は必ず接続して下さい。

注2) 排気管の放出先は、側溝の最大水位より上に設置して下さい。設置位置の目安は側溝の最大水位より100mm以上、上部とします。

注3) 排気管は途中で水たまりが出来ないように、適切な勾配で配管して下さい。V字配管で、配管内が水たまりで水封されると排気管の設置効果がなくなります。

注4) 電線管の両端は、シリコンまたはパテ等でコーキング処理を必ず行って下さい。

- ※管理用水栓は10m以内に設置すること(浄化槽工事範囲外)
- ※アンカーは土木工事に含む(材工共)
- ※全高にはかさ上げ300H含む
- ※無荷重



浮上防止用アンカー詳細図